令和７年度

原子力発電所周辺
環境放射能測定結果

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所

福島第二原子力発電所

令 和 7 年 度

福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所での
環境モニタリングに係るイベントについて

福　島　第　一　原　子　力　発　電　所			
令和7年4月10日	～	4月28日	ALPS処理水海洋放出　（令和7年度　1回目）
4月15日	～	4月23日	2号機燃料デブリ試験的取り出し作業（2回目）
令和7年7月14日	～	8月3日	ALPS処理水海洋放出　（令和7年度　2回目）
8月7日	～	8月25日	ALPS処理水海洋放出　（令和7年度　3回目）
9月11日	～	9月29日	ALPS処理水海洋放出　（令和7年度　4回目）
令和7年10月30日	～	11月17日	ALPS処理水海洋放出　（令和7年度　5回目）
12月4日	～	12月22日	ALPS処理水海洋放出　（令和7年度　6回目）
3月4日	～	3月24日	ALPS処理水海洋放出　（令和7年度　7回目）

福　島　第　二　原　子　力　発　電　所
令和７年度第１四半期測定分より土壌採取地点を富岡町下郡山から富岡町小浜中央に変更

目　　次

第１　測定結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

第２　東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所測定分・・・・・・　3
２－１　測定項目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
２－１－１　空間放射線
（１）空間線量率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
（２）空間積算線量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
２－１－２　環境試料
（１）環境試料中の全アルファ放射能，全ベータ放射能及び核種濃度・・　3
２－２　測定方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
２－３　測定結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
２－３－１　空間放射線
（１）空間線量率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
（２）空間積算線量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
２－３－２　環境試料
（１）大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能・・・・・・・・・・　12
（２）環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種及びトリチウム）・・・　14
（３）環境試料中の放射性ストロンチウム濃度・・・・・・・・・・・・・　15
（４）環境試料中のプルトニウム放射能濃度・・・・・・・・・・・・・・　15
（５）環境試料中のアメリシウム放射能濃度・・・・・・・・・・・・・・　16
（６）環境試料中のキュリウム放射能濃度・・・・・・・・・・・・・・・　16
２－４　原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表・・・・・・・・・・・・・　17
２－４－１　空間放射線
（１）空間線量率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17
（２）空間積算線量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18
２－４－２　環境試料
（１）大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能・・・・・・・・・・　19
（２）大気浮遊じんの核種濃度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20
（３）環境試料中の核種濃度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　21

第３　東京電力ホールディングス（株）福島第二原子力発電所測定分・・・・・・　22
３－１　測定項目
３－１－１　空間放射線
（１）空間線量率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22
（２）空間積算線量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　22
３－１－２　環境試料
（１）環境試料中の全アルファ放射能，全ベータ放射能及び核種濃度・・　22
３－２　測定方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　24
３－３　測定結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　25
３－３－１　空間放射線
（１）空間線量率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　25
（２）空間積算線量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　28
３－３－２　環境試料
（１）大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能・・・・・・・・・・　30
（２）環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種及びトリチウム）・・・　32
（３）環境試料中の放射性ストロンチウム濃度・・・・・・・・・・・・・　33
（４）環境試料中のプルトニウム放射能濃度・・・・・・・・・・・・・・　33
（５）環境試料中のアメリシウム放射能濃度・・・・・・・・・・・・・・　34
（６）環境試料中のキュリウム放射能濃度・・・・・・・・・・・・・・・　34

３－４　原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表
３－４－１　空間放射線
（１）空間線量率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
（２）空間積算線量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
３－４－２　環境試料
（１）大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能・・・・・・・・・・ 37
（２）大気浮遊じんの核種濃度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
（３）環境試料中の核種濃度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

第４　参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
４－１　放射性気体廃棄物及び液体廃棄物の放出状況・・・・・・・・・・・・ 41
４－２　試料採取時の付帯データ集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
（１）東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所測定分・・ 47
ア　環境試料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
イ　気象測定結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
（２）東京電力ホールディングス（株）福島第二原子力発電所測定分・・ 49
ア　環境試料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
イ　気象測定結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
４－３　環境試料測定日・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
４－３－１　東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所測定分・・・ 51
４－３－２　東京電力ホールディングス（株）福島第二原子力発電所測定分・・・ 52
４－４　環境試料の核種濃度の検出限界について・・・・・・・・・・・・・・ 53
４－４－１　東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所測定分・・・ 53
４－４－２　東京電力ホールディングス（株）福島第二原子力発電所測定分・・・ 54
４－５　空間線量率等の変動グラフ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
〈参考〉地下水バイパス及びサブドレン他浄化設備の処理済水の評価・・・・・・・ 76
〈参考〉モニタリングポスト周辺環境改善対策について・・・・・・・・・・・・・ 98

この報告書は，令和８年１０月１日に開催された「環境モニタリング評価部会」において，令和７年度年報の測定結果について報告し，検討されたものをとりまとめたものです。

第　1　　測　定　結　果　の　概　要

令和７年度に東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所が実施した原子力発電所周辺の環境放射能測定結果は以下に示すとおりであり，福島第一原子力発電所の事故の影響を受けた空間線量率については事故前の測定値の範囲を上回り，環境試料については一部を除いて事故前の測定値の範囲を上回っているが，年月の経過とともに減少傾向となっている。

１．空間放射線（6～11 ページ，25～29 ページ）

（１）空間線量率

福島第一原子力発電所８地点及び福島第二原子力発電所７地点でモニタリングポストにより発電所敷地境界付近の空間線量率を常時測定した。

各測定地点の年間平均値の範囲は 0.074μGy/h（74nGy/h:福島第二原子力発電所南側のＭＰ７）から，0.909μGy/h（909nGy/h:福島第一原子力発電所北西側のＭＰ４）であり，最大値の範囲は 0.097μGy/h（97nGy/h:福島第二原子力発電所南側のＭＰ７）から，0.973μGy/h（973nGy/h:福島第一原子力発電所北西側のＭＰ４）であり，共に全ての地点で事故前の測定値の範囲を大きく上回った。

なお，各地点の測定値は月間平均値の変化に見られるように，年月の経過とともに減少傾向にある。［令和６年度の年度平均値の範囲は 0.075μGy/h～0.945μGy/h（75nGy/h～945nGy/h)］

（２）空間積算線量

福島第一原子力発電所 21 地点及び福島第二原子力発電所 18 地点で蛍光ガラス線量計により発電所敷地境界付近及び発電所周辺の近隣町の空間積算線量を測定した。

年間相当値は 0.68mGy（浪江町棚塩安養院）から，25mGy（福島第一原子力発電所南側のＭＰ－８）であり，事故前から実施していた全ての地点で事故前の測定値の範囲を大きく上回った。

なお，四半期毎の各地点の測定値は，年月の経過とともに減少傾向にある。

［令和６年度の年間相当値の範囲は 0.67mGy～25mGy］

２．環境試料（12～16 ページ，30～34 ページ）

（１）大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能

福島第一原子力発電所が２地点（ＭＰ３及びＭＰ８）及び福島第二原子力発電所が２地点（ＭＰ１及びＭＰ７）でダストモニタにより発電所敷地境界付近の全アルファ放射能及び全ベータ放射能を連続測定した。

全アルファ放射能の年間平均値は 0.011Bq/m^3（福島第二原子力発電所のＭＰ１）から，0.015Bq/m^3（福島第一原子力発電所のＭＰ３），最大値は 0.084Bq/m^3（福島第二原子力発電所のＭＰ７）から，0.13Bq/m^3（福島第一原子力発電所のＭＰ３）であり，事故前の測定値の範囲を若干上回ったが，周辺土壌の一時的な舞い上がりの影響と思われる。

全ベータ放射能の年間平均値は0.035Bq/m³（福島第一原子力発電所のＭＰ８）から，0.052Bq/m³（福島第二原子力発電所のＭＰ７），最大値は0.18Bq/m³（福島第一原子力発電所のＭＰ８）から，0.28Bq/m³（福島第二原子力発電所のＭＰ１，７）であり，事故前の測定値の範囲を若干上回ったが，周辺土壌の一時的な舞い上がりの影響と思われる。

（２）環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種及びトリチウム）

大気浮遊じん，土壌，海水，海底土，指標植物（松葉），指標海洋生物（ほんだわら）について，福島第一原子力発電所で55試料，福島第二原子力発電所で55試料の核種分析（ガンマ線放出核種とトリチウム）の測定を実施した。

セシウム-137については，福島第二原子力発電所の大気浮遊じんと松葉の一部を除く全ての試料から事故前の測定値の範囲を上回る値が検出されたが，年月の経過とともに減少または横ばい傾向にある。

セシウム-134については，福島第一原子力発電所の松葉・ほんだわら・大気浮遊じんと海水の一部を除く試料及び福島第二原子力発電所の土壌と海底土の一部の試料から事故前の測定値の範囲を上回る値が検出されたが，年月の経過とともに減少する傾向にある。

また，福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所の海水の一部から過去の測定値の範囲と同程度のトリチウムが検出された。ALPS処理水の海洋放出による変動の可能性が考えられるが，WHOの飲料水ガイドラインレベル（10,000Bq/L）を下回っている。

（３）環境試料中の核種濃度（ストロンチウム-90，プルトニウム-238,239+240，アメリシウム-241，キュリウム-244）

福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所の土壌各4試料について，ストロンチウム・プルトニウム・アメリシウム・キュリウムの測定を実施した。

また，福島第一原子力発電所及び福島第二原子力発電所の海水各3試料，海底土各2試料について，ストロンチウムの測定を実施した。

ストロンチウムについては，福島第二原子力発電所の海水の一部及び海底土を除く全ての試料から，事故前の測定値を上回るストロンチウム-90が検出されたが，事故直後と比較すると概ね横ばいから減少傾向にある。

プルトニウム・アメリシウム・キュリウムについては，プルトニウム-239＋240及びアメリシウム-241が土壌8試料全てから検出され，プルトニウム-238及びキュリウム-244が福島第一原子力発電所の1試料から検出された。

なお，検出された核種については，事故直後と比較し測定値の変動はあるが，年月の経過とともに減少または横ばい傾向にある。これらの核種は，事故後から測定を開始している。

以上

第２　東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所測定分

２－１　測定項目

測定項目は，以下に示すとおりであり，測定及び採取地点については，図２．１に示す。

２－１－１　空間放射線

２－１－１－（１）　空間線量率

測定地点		測定頻度	実施機関
発電所敷地境界付近	８地点	連続	東京電力ホールディングス(株) 福島第一原子力発電所

２－１－１－（２）　空間積算線量

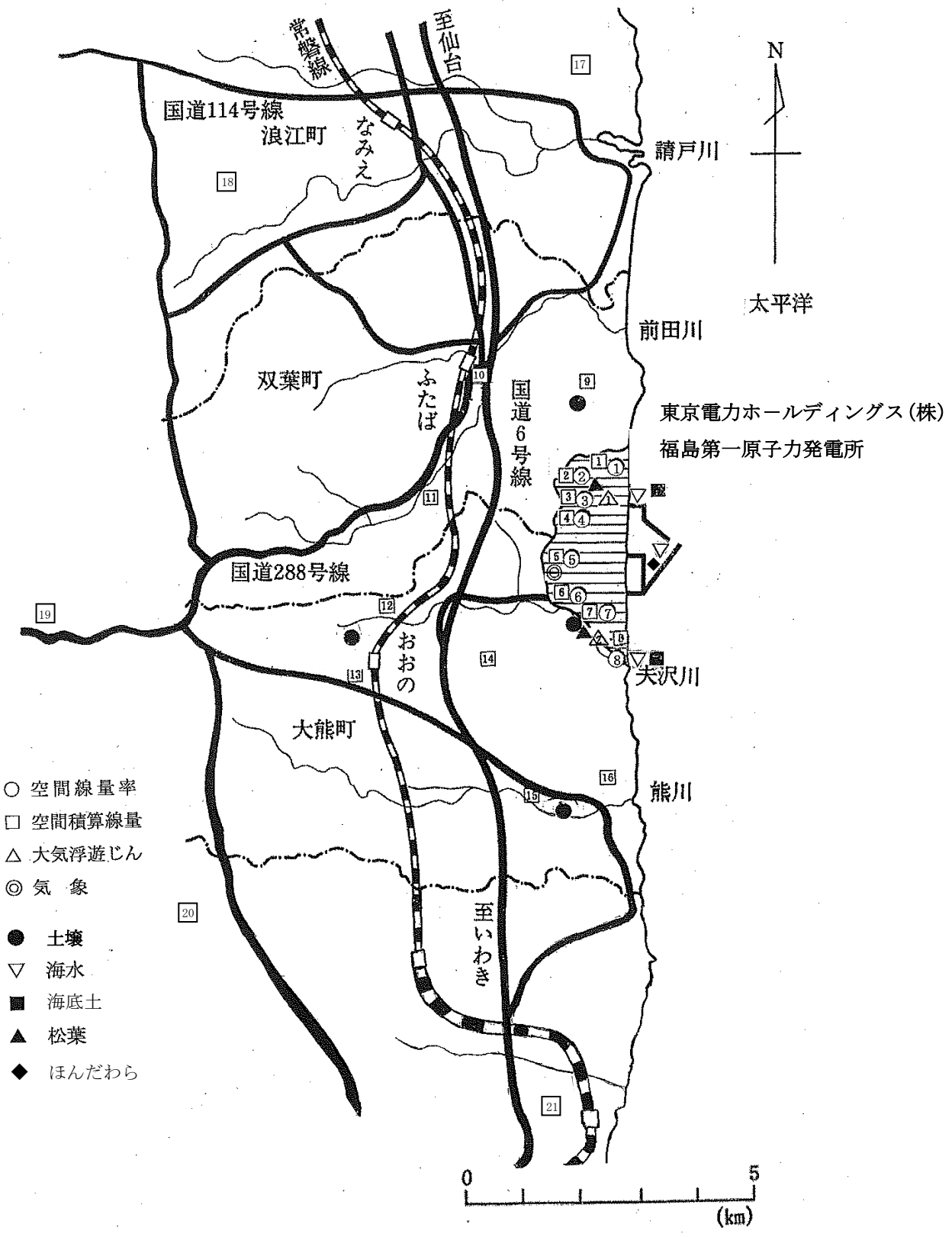
測定地点		測定頻度	実施機関
発電所敷地境界付近	８地点	３か月積算	東京電力ホールディングス(株) 福島第一原子力発電所
発電所敷地外	１３地点		

２－１－２　環境試料

２－１－２－（１）　環境試料中の全アルファ放射能，全ベータ放射能及び核種濃度

区分名	試料名（部位）	採取地点名	採取頻度	採取量	測定項目	実施機関
大気浮遊じん	大気浮遊じん （地表上約３ｍ）	発電所敷地境界付近	連続	約90m^3/6h	全アルファ放射能 全ベータ放射能	東京電力ホールディングス(株) 福島第一原子力発電所
			１２回／年	1ヵ月分の集じんろ紙	ガンマ線放出核種濃度	
土壌	土壌 （表土，0～5cm）	発電所敷地内	２回／年	１ｋｇ	ガンマ線放出核種濃度	
		大熊町下野上 大熊町熊川 双葉町郡山	１回／年	０．５ｋｇ	ストロンチウム-90 プルトニウム-238, 239+240 アメリシウム-241 キュリウム-244	
海水	海水 （表面水）	発電所取水口 発電所南放水口 発電所北放水口	４回／年	４０Ｌ	ガンマ線放出核種濃度	
				1Ｌ	トリチウム濃度	
			１回／年	４０Ｌ	ストロンチウム-90	
海底土	海底土 (海砂又は海底土)	発電所南放水口 発電所北放水口	４回／年	１ｋｇ	ガンマ線放出核種濃度	
			１回／年	１ｋｇ	ストロンチウム-90	
指標植物	松葉 （葉）	ＭＰ－３付近 環境管理棟付近	１回／年	４０ｇ	ガンマ線放出核種濃度	
指標海洋生物	ほんだわら （葉茎）	発電所港湾内	１回／年	２ｋｇ	ガンマ線放出核種濃度	

図 2.1 福島第一原子力発電所　環境モニタリング地点図



２－２　測定方法

測定項目		測　定　装　置	測　　定　　方　　法
空間放射線	空間線量率	モニタリングポスト	検 出 器：アルゴンガス封入式球形電離箱 （富士電機，高純度アルゴンガス8気圧14ℓ） 測定位置：地表上約1.6m 校正線源：Cs-137
	空間積算線量	蛍光ガラス線量計	測 定 法：文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」 （平成14年制定） 検 出 器：蛍光ガラス線量計，旭テクノグラス　SC－1 測 定 器：旭テクノグラス　FGD－202 測定位置：地表上約1m 校正線源：Cs－137
環境試料	大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能	ダストモニタ	測 定 法：6時間連続集じん，6時間放置後全アルファ及び全 ベータ放射能を同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式，使用ろ紙：HE-40T 吸引量：約90m^3／6時間 検 出 器：ＺｎＳ(Ag)シンチレータとプラスチックシンチレータ のはり合わせ検出器（Aloka　ADC-121R2） 採取位置：地表上約3m 校正線源：U_3O_8 、Am－241
	核種濃度	Ge 半導体検出装置	測 定 法：原子力規制庁編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線 スペクトロメトリー」（令和2年改訂） 大気浮遊じんは１カ月の集じんろ紙をＵ８容器に入れ測定。 土壌・海底土は乾燥後に測定。 松葉（指標植物）は生試料により測定。 海水は，リンモリブデン酸アンモニウム法及び二酸化マンガン 共沈法で処理後測定。 ほんだわら(指標海洋生物)は乾燥試料により測定。 測 定 器：Ge半導体検出器（ORTEC GEM35-76-LB-A-S型 ） 波高分析器（SEIKO EG&G MCA-7シリーズ(4096ch)）
	トリチウム濃度	ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	測 定 法：原子力規制庁編「トリチウム分析法」（令和5年改訂） 海水のトリチウムは蒸留後測定。 測 定 器：ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置 （Aloka　LSC-LB7型）
	ストロンチウム-90濃度	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	測 定 法：文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」 のうちイオン交換法（令和7年改訂） 測 定 器：ローバックグラウンドガスフロー計数装置 （Aloka　LBC-4202B型） 校正線源：Sr-90
	プルトニウム-238 プルトニウム-239+240 濃度	シリコン半導体検出器	測 定 法：文部科学省編「プルトニウム分析法」 のうちイオン交換法（平成2年改訂） 測 定 器：ORTEC　Alpha Duo 第三者機関（（株）化研）にて分析
	アメリシウム-241 キュリウム-244 濃度	シリコン半導体検出器	測 定 法：文部科学省編「アメリシウム分析法」 のうちイオン交換法（平成2年改訂） 測 定 器：ORTEC　Alpha Duo 第三者機関（（株）化研）にて分析

２－３　測定結果

２－３－１　空間放射線

２－３－１－（１）　空間線量率

今年度の測定結果を表２．１に示す。
各測定地点の年間平均値は298～909nGy／h，最小値は212～791nGy／h，最大値は316～973nGy／hであった。
年間平均値及び最大値は，事故前の年間平均値及び最大値を大きく上回っていた。
なお，各地点における測定値は，年月の経過とともに減少傾向にあった。
各測定地点における空間線量率の月間平均値及び変動幅の推移を図２．２に示す。

表２．１　空間線量率の測定結果（年間平均値及び最小値，最大値）

（単位：nGy/h）

No.	測定地点名	今年度測定値			過去の測定値の範囲[*3]			
					令和4年度～	平成26年度～	事故直後	事故前
		平均値[*1]	最小値[*2]	最大値[*2]	平均値 （最大値）	平均値 （最大値）	平均値 （最大値）	平均値 （最大値）
1	ＭＰ－１	499	433	546	492　～　573 （623 ）	595　～　2,114 （2,470 ）	2,708　～　9,297 （13,638 ）	37　～　41 （152 ）
2	ＭＰ－２	733	639	772	753　～　827 （890 ）	885　～　3,820 （4,494 ）	4,825　～　33,117 （43,104 ）	40　～　43 （188 ）
3	ＭＰ－３	458	408	482	480　～　524 （561 ）	563　～　4,200 （5,084 ）	5,525　～　32,250 （52,907 ）	37　～　40 （171 ）
4	ＭＰ－４	909	791	973	945　～　1,028 （1,084 ）	1,082　～　3,763 （4,519 ）	4,955　～　31,041 （53,553 ）	37　～　41 （167 ）
5	ＭＰ－５	642	491	697	675　～　721 （769 ）	763　～　3,979 （4,816 ）	5,207　～　55,192 （114,011 ）	32　～　35 （143 ）
6	ＭＰ－６	298	212	316	309　～　334 （355 ）	359　～　1,380 （2,004 ）	2,395　～　91,423 （171,333 ）	36　～　38 （120 ）
7	ＭＰ－７[*4]	516	480	536	541　～　587 （612 ）	624　～　2,047 （2,503 ）	3,145　～　204,134 （327,467 ）	39　～　43 （151 ）
8	ＭＰ－８[*4]	488	452	501	506　～　555 （575 ）	587　～　2,290 （2,788 ）	3,162　～　177,819 （252,661 ）	39　～　44 （168 ）

（注）　*1 平均値は，年間の1時間値の測定値の和を測定値の数で除して求めた。

*2 最小値と最大値は，1時間値の最小と最大の値を示す。

*3　「過去の測定値の範囲」について

「令和4年度～」は令和4年度から前年度まで。

「平成26年度～」は平成26年度から令和3年度まで。

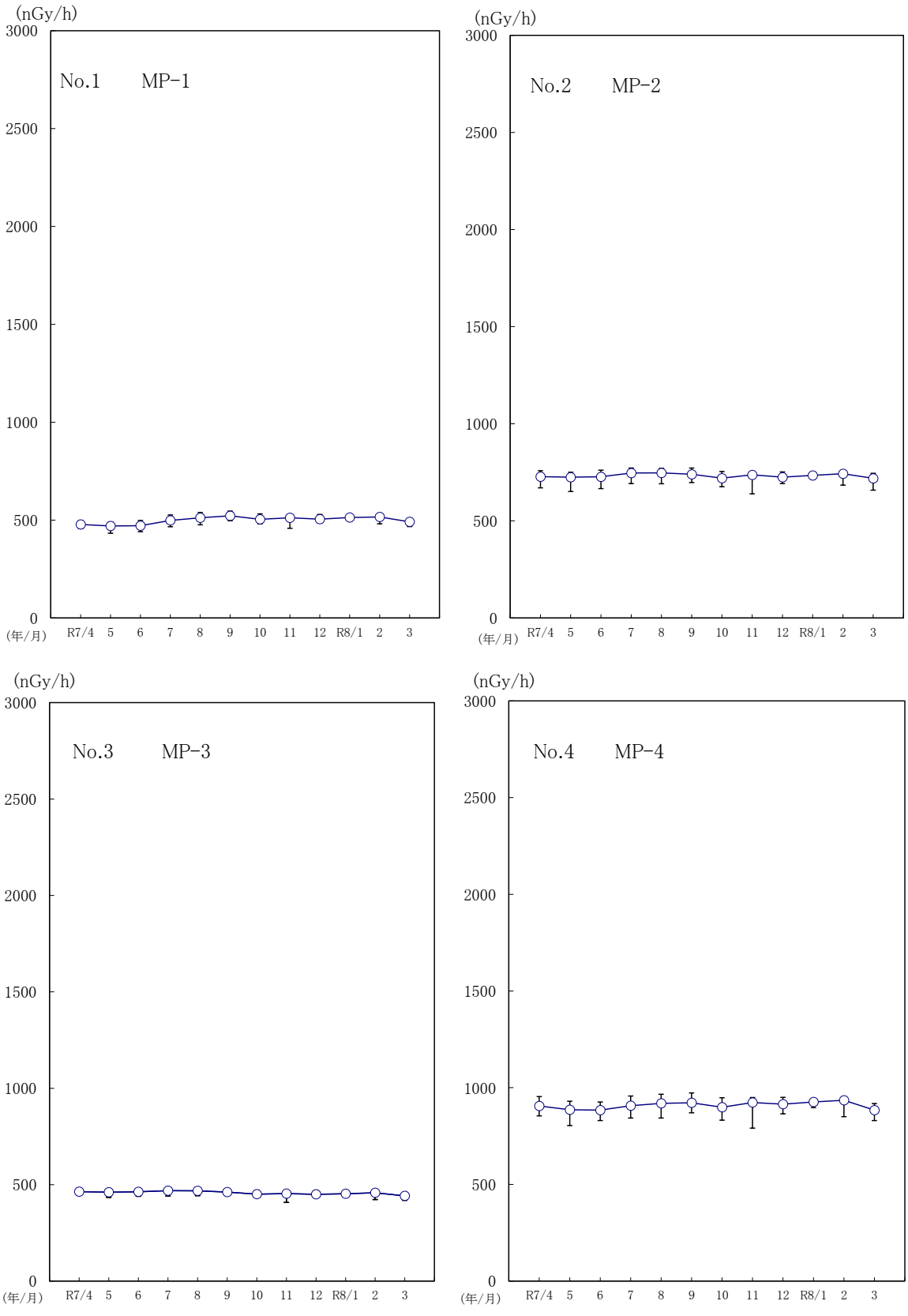
「事故直後」は事故後（平成23年3月11日以降）から平成25年度まで。

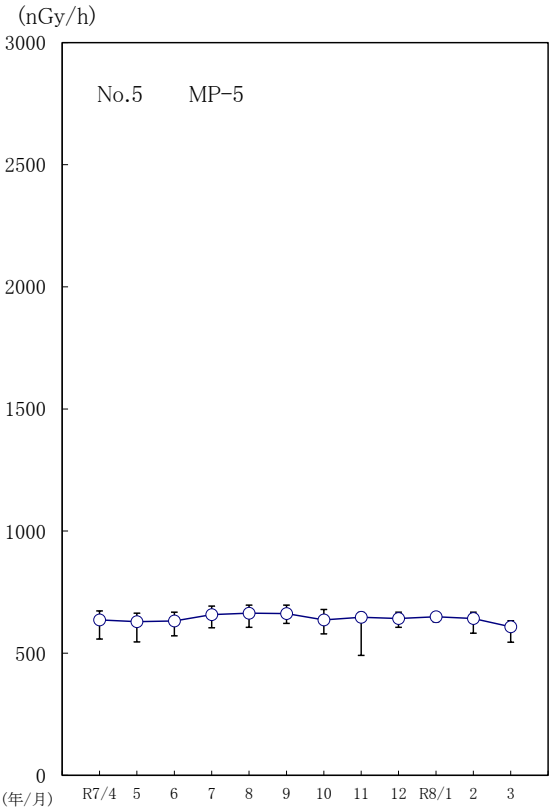
「事故前」は温度補償型検出器への更新後の年度以降の期間であり

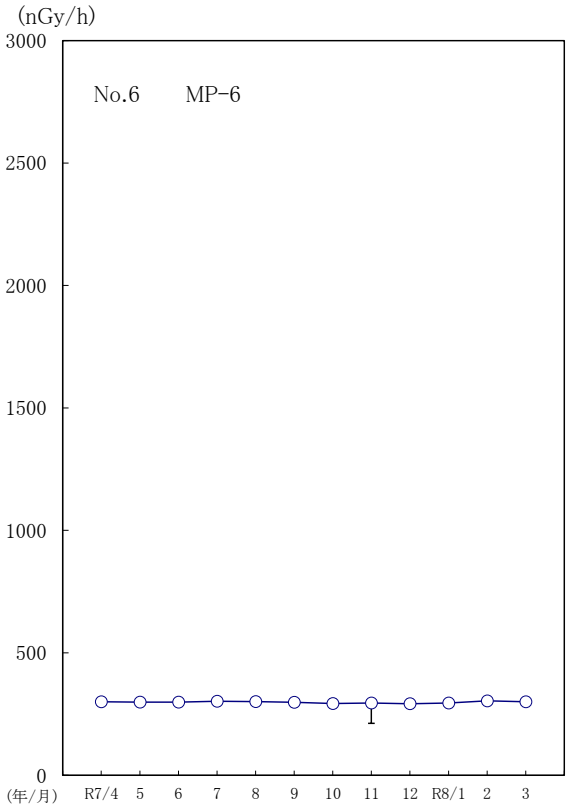
昭和61年度から東日本大震災発生の平成22年度第4四半期（平成23年3月10日時点）まで。

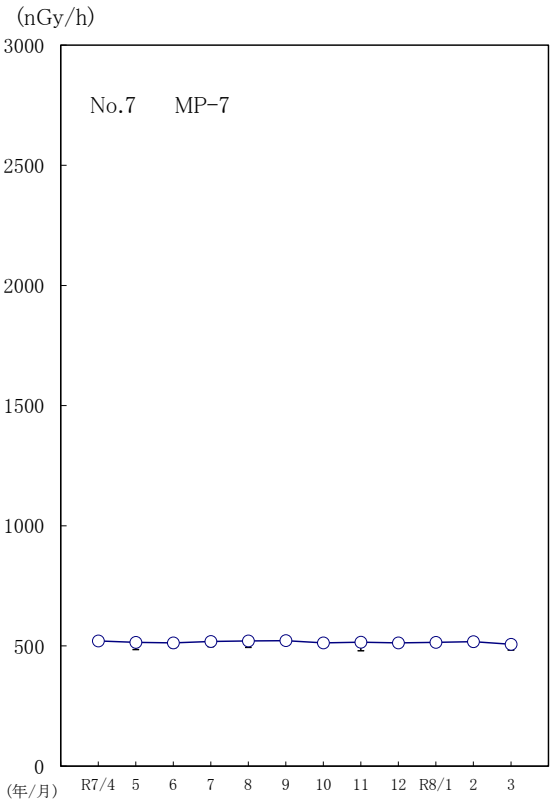
*4 福島第一原子力発電所　ＭＰ－７，８については，高線量の環境下にあることから，新たな放出によって上空を通過する放射性物質を検知しやすくするため，検出器廻りに遮へいを設置し，地表面等からの放射線の影響を抑えている。

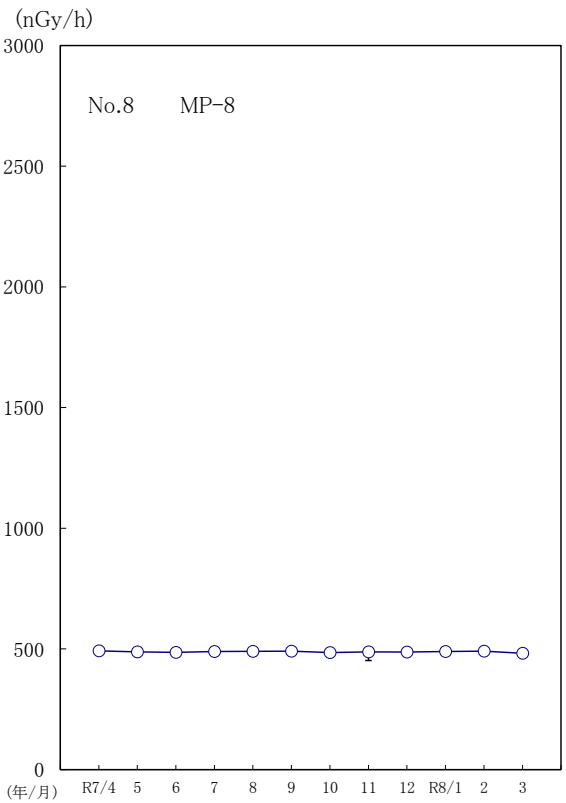
図2．2 空間線量率の月間平均値及び変動幅の推移

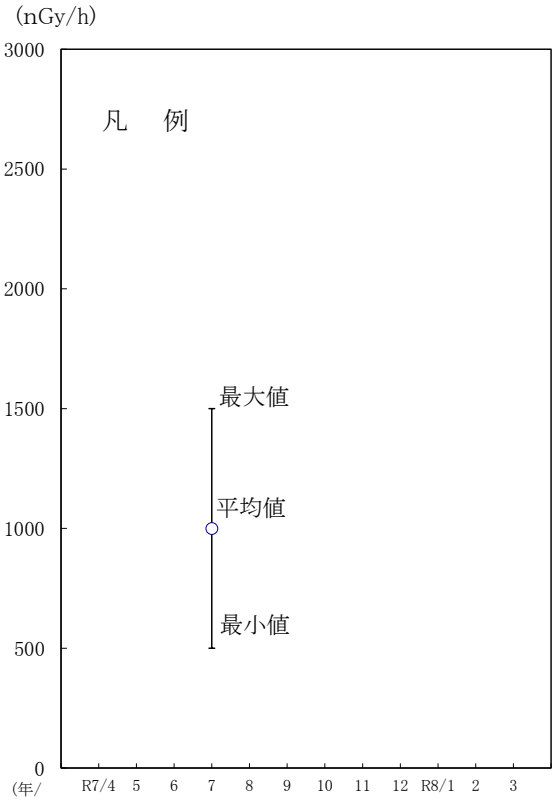



(nGy/h)
3000
2500
2000
1500
1000
500
0
No.5 MP-5
(年/月)
R7/4 5 6 7 8 9 10 11 12 R8/1 2 3


(nGy/h)
3000
2500
2000
1500
1000
500
0
No.6 MP-6
(年/月)
R7/4 5 6 7 8 9 10 11 12 R8/1 2 3


(nGy/h)
3000
2500
2000
1500
1000
500
0
No.7 MP-7
(年/月)
R7/4 5 6 7 8 9 10 11 12 R8/1 2 3


(nGy/h)
3000
2500
2000
1500
1000
500
0
No.8 MP-8
(年/月)
R7/4 5 6 7 8 9 10 11 12 R8/1 2 3


(nGy/h)
3000
2500
2000
1500
1000
500
0
凡　例
最大値
平均値
最小値
(年/
R7/4
5
6
7
8
9
10
11
12
R8/1
2
3

２－３－１－（２）　空間積算線量

今年度の測定結果（年間相当値[*1]）を表２．２に示す。
今年度の測定値は，0.68mGy（浪江町棚塩安養院）から25mGy（ＭＰ－８）であり，事故前の測定値を大きく上回っていた。
なお，四半期毎の各地点の測定値は，年月の経過とともに減少傾向にあった。
今年度の四半期ごとの測定結果（90日換算値）の推移を図２．３に示す。

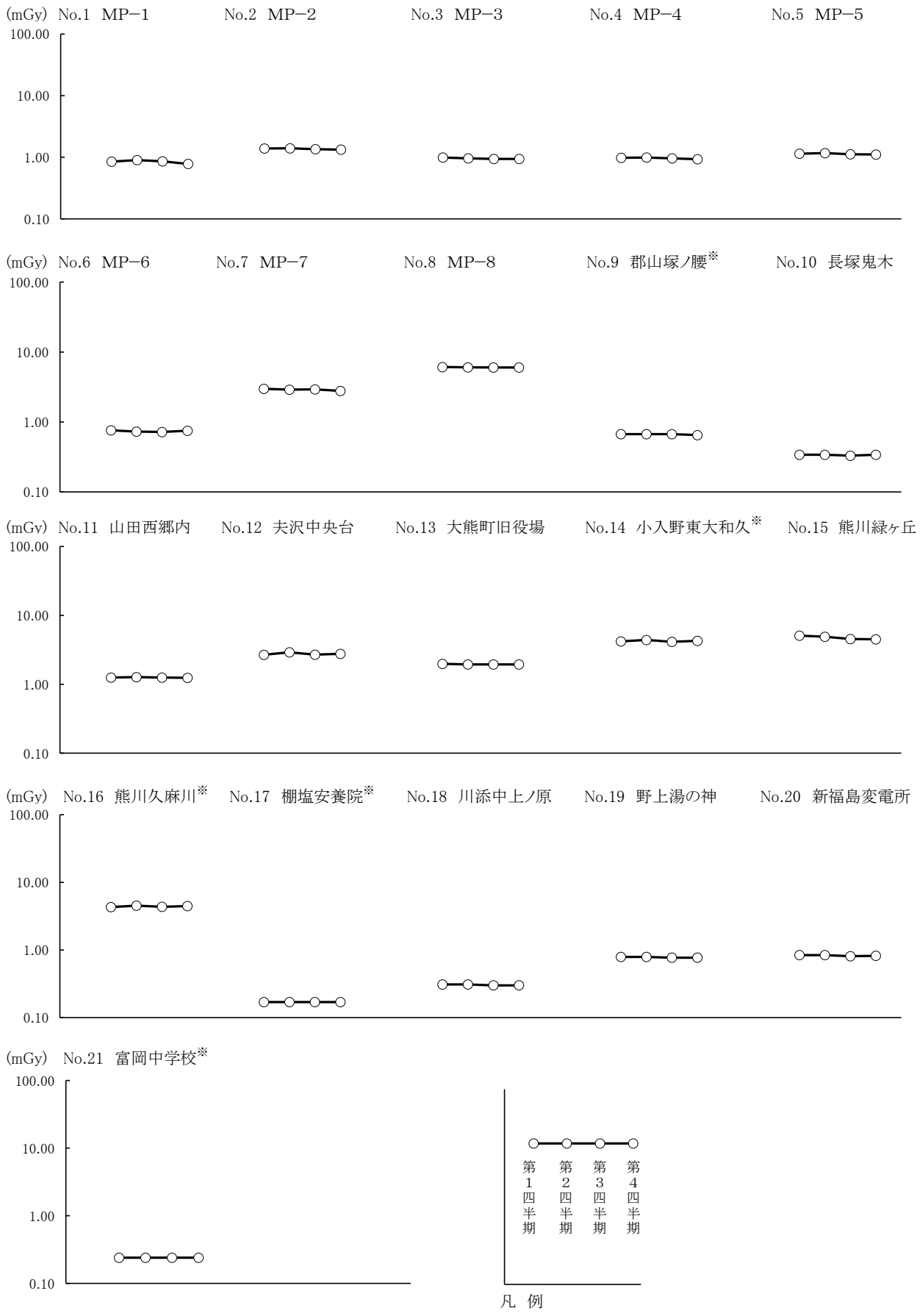
表２．２　空間積算線量の測定結果（年間相当値）

（単位：mGy）

*6 No.	測定地点名	今年度測定値	過去の測定値の範囲			
			令和4年度～[*2]	平成26年度～[*3]	事故直後[*4]	事故前[*5]
1	ＭＰ－１	3.5	3.5 ～ 4.1	4.3 ～ 11	14 ～ 32	0.47 ～ 0.48
2	ＭＰ－２	5.5	5.6 ～ 6.3	6.7 ～ 22	30 ～ 130	0.48 ～ 0.49
3	ＭＰ－３	3.9	3.9 ～ 4.1	4.2 ～ 27	37 ～ 100	0.47 ～ 0.48
4	ＭＰ－４	3.9	4.1 ～ 4.4	4.6 ～ 15	20 ～ 67	0.48 ～ 0.49
5	ＭＰ－５	4.6	4.8 ～ 5.6	6.0 ～ 23	36 ～ 140	0.42 ～ 0.44
6	ＭＰ－６	3.0	3.1 ～ 3.4	3.6 ～ 13	29 ～ 260	0.47 ～ 0.48
7	ＭＰ－７	12	12 ～ 14	15 ～ 89	130 ～ 680	0.51 ～ 0.52
8	ＭＰ－８	25	25 ～ 28	30 ～ 120	180 ～ 660	0.47 ～ 0.48
9	双葉町 郡山塚ノ腰	2.7	2.8 ～ 2.9	3.2 ～ 11	－	－
10	双葉町 長塚鬼木	1.4	1.4 ～ 2.4	2.5 ～ 8.6	11 ～ 24	0.47 ～ 0.48
11	双葉町 山田西郷内	5.1	5.2 ～ 5.6	5.5 ～ 16	25 ～ 54	0.47 ～ 0.48
12	大熊町 夫沢中央台	11	12	12 ～ 120	150 ～ 420	0.52 ～ 0.56
13	大熊町 旧役場	7.9	8.1 ～ 9.2	10 ～ 28	35 ～ 100	0.45 ～ 0.47
14	大熊町 小入野東大和久	17	18 ～ 19	19 ～ 82	86 ～ 240	0.50 ～ 0.52
15	大熊町 熊川緑ヶ丘	19	21 ～ 24	25 ～ 77	86 ～ 220	0.47 ～ 0.48
16	大熊町 熊川久麻川	18	18 ～ 21	19 ～ 57	60 ～ 160	0.51 ～ 0.52
17	浪江町 棚塩安養院	0.68	0.67 ～ 0.68	0.69 ～ 1.6	1.9	－
18	浪江町 川添中上ノ原	1.2	1.3 ～ 1.5	1.6 ～ 6.6	8.1	－
19	大熊町 野上湯の神	3.2	3.3 ～ 3.4	3.3 ～ 6.5	8.0	－
20	富岡町 新福島変電所	3.4	3.2 ～ 3.5	3.4 ～ 8.1	9.5	－
21	富岡町 富岡中学校	0.97	1.0 ～ 1.1	1.3 ～ 4.6	8.3 ～ 39	0.49 － 0.59

（注）*1　年間相当値は，各四半期の測定値の和を365日相当に換算し，有効数字2桁で表示。
*2　「令和4年度～」は令和4年度から前年度まで。
*3　「平成26年度～」は平成26年度から令和3年度まで。
*4　事故直後の測定値は，平成22年度第4四半期から平成25年度まで。
*5　事故前の測定値は，平成15年度より測定装置を蛍光ガラス線量計に変更したため，
平成15年度から東日本大震災発生の平成22年度 第3四半期まで。
*6　No9：郡山堂ノ上から郡山塚ノ腰へ平成28年第3四半期より地点変更
No14:東大和久およびNo16:久麻川地点は令和元年度第1四半期より測定地点変更
（No9,14,16は国の中間貯蔵施設造成対象区域となったことによる変更）
No17:北棚塩総合集会所から棚塩安養院へ令和3年度第1四半期より地点変更（建屋解体工事が実施されることによる変更）
No21:東京電力西原寮から富岡中学校へ令和4年第4四半期より地点変更（建屋解体工事が実施されることによる変更）
No17～No21地点は，平成25年度第２四半期から測定を開始した。

図２．３　空間積算線量（90日換算値[*1]）の推移



（注）＊1　９０日換算値は，四半期ごとの測定値を換算した。

※No9地点は郡山堂ノ上から郡山塚ノ腰へ平成28年第3四半期より地点変更（国の中間貯蔵施設造成対象区域となったことによる変更）
※No14地点の東大和久及びNo16地点の久麻川については令和元年度第1四半期より地点変更（国の中間貯蔵施設造成対象区域となったことによる変更）
※No17地点は北棚塩総合集会所から棚塩安養院へ令和3年度第1四半期より地点変更（建屋解体工事が実施されることによる変更）
※No21地点は東京電力西原寮から富岡中学校へ令和4年第4四半期より地点変更（建屋解体工事が実施されることによる変更）

２－３－２　環境試料
２－３－２－（１）　大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能

今年度の測定結果を表２．３に示す。

各測定地点の全アルファ放射能の平均値は，0.013～0.015Bq/m^3，最大値は0.095～0.13Bq/m^{3}であり，全ベータ放射能の平均値は0.035～0.040Bq/m^3，最大値は 0.18～0.25Bq/m^{3}であった。

全アルファ放射能については事故前の測定値と同程度で，全ベータ放射能については，平均値・最大値とも事故前の測定値を上回ったが，周辺土壌の一時的な舞い上がりの影響と思われる。

表２．３　大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能測定結果

（単位：Bq/m^3）

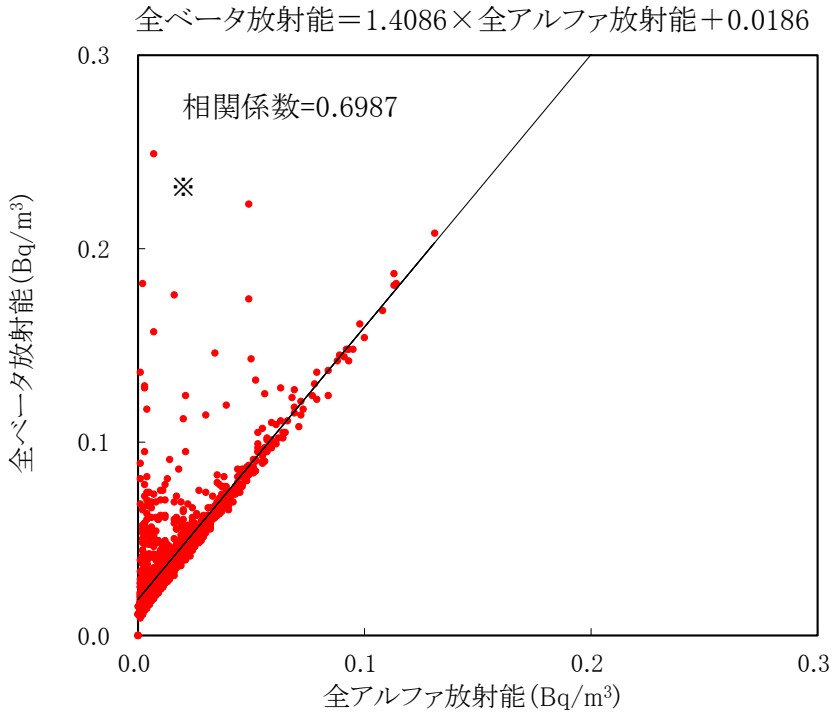
No.	測定地点名	測定項目	今年度測定値		過去の測定値の範囲			
					令和4年度～[*3]	平成26年度～[*4]	事故直後[*5]	事故前[*6]
			平均値[*1]	最大値[*2]	平均値 （最大値）	平均値 （最大値）	平均値 （最大値）	平均値 （最大値）
1	ＭＰ－３※	全アルファ放射能	0.015	0.13	0.013～0.014 (0.12)	0.011～0.018 (0.17)	－ （ － ）	0.016～0.022 (0.15)
		全ベータ放射能	0.040	0.25	0.032～0.034 (0.23)	0.033～0.052 (0.65)	－ （ － ）	0.031～0.039 (0.20)
2	ＭＰ－８※	全アルファ放射能	0.013	0.095	0.011～0.012 (0.12)	0.009～0.014 (0.11)	－ （ － ）	0.014～0.020 (0.17)
		全ベータ放射能	0.035	0.18	0.034～0.036 (0.20)	0.032～0.040 (0.21)	－ （ － ）	0.028～0.037 (0.24)

（注）*1　平均値は，６時間ごとの測定値の和を測定値の数で除して算出。
*2　最大値は，６時間ごとの測定値の最大値。
*3　「令和4年度～」は令和4年度から前年度まで。
*4　MP-3は平成28年10月，MP-8は平成29年10月から令和3年度まで。
*5　測定値なし。（MP-3は平成28年10月，MP-8は平成29年10月より運用開始したため。）
*6　事故前の測定値は機器更新後の平成13年9月から東日本大震災発生の前日の平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

※ 福島第一原子力発電所のダストモニタ（２地点）については，機器本体及びダスト吸入配管等の取り替えが完了し，
ＭＰ３地点は平成２８年１０月から全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を開始し，ＭＰ８地点については
平成２９年１０月から全アルファ放射能及び全ベータ放射能の連続測定を開始した。

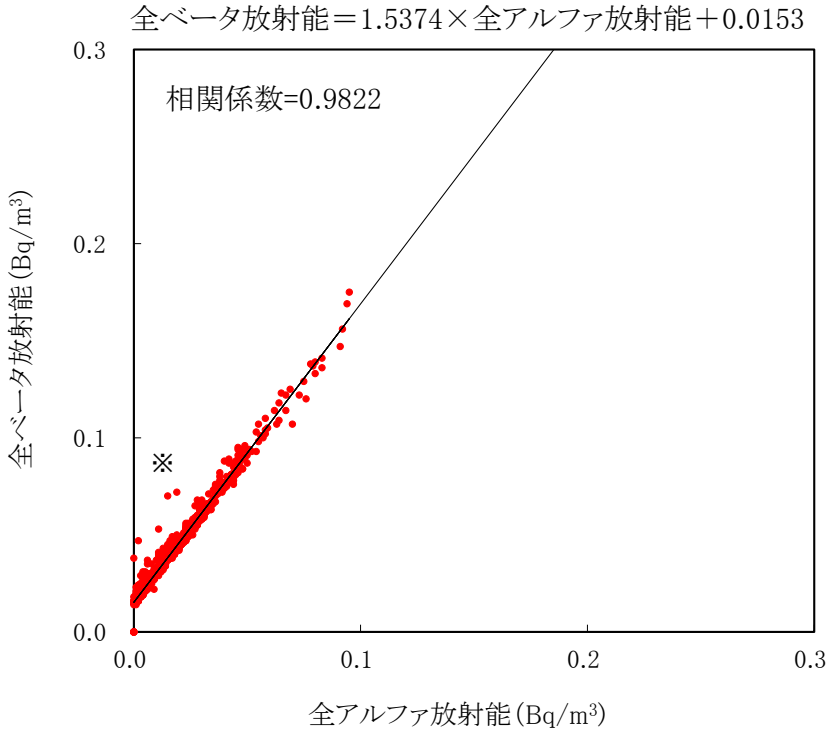
図2．4　全アルファ放射能と全ベータ放射能の相関

No.1 MP-3



※全アルファ・全ベータの相関から外れた試料については個別に核種濃度を測定している。
この結果、Cs-137が検出され、Cs-134を含むその他の核種は検出されていないことを確認している。

No.2 MP-8



※全アルファ・全ベータの相関から外れた試料については個別に核種濃度を測定している。
この結果、Cs-137が検出され、Cs-134を含むその他の核種は検出されていないことを確認している。

２－３－２－（２）　環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種及びトリチウム）

今年度の測定結果を表２．４，２．５に示す。

大気浮遊じん，土壌，海水，海底土，松葉，ほんだわらから，事故前の過去の測定値の範囲を上回るセシウム－１３７の人工放射性核種が検出され，セシウム－１３４は，松葉，ほんだわら，大気浮遊じん，海水の一部を除く全ての試料から検出されたが，年月の経過とともに減少傾向にある。

また，海水のトリチウムにおいては，事故前の過去の測定値の範囲と同程度のトリチウムが検出された。

なお，ほんだわらについては，令和2年度以降の測定値と同程度であった。

表２．４　環境試料中のガンマ線放出核種濃度測定結果

試　料　名	今年度試料数	単　位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲			
					令和4年度～	平成26年度～	事故直後	事故前
大気浮遊じん	24	mBq／m^3	ｾｼｳﾑ-134	ND ～ 0.22	ND ～ 0.34	0.033 ～ 18	1.7 ～ 88	ND
			ｾｼｳﾑ-137	0.39 ～ 19	0.29 ～ 13	0.65 ～ 76	2.6 ～ 200	ND
土　　壌	8	Bq／kg乾	ｾｼｳﾑ-134	24 ～ 2,800	28 ～ 4,800	87 ～ 110,000	1,400 ～ 330,000	ND
			ｾｼｳﾑ-137	2,100 ～ 290,000	2,000 ～ 260,000	2,300 ～ 460,000	2,600 ～ 680,000	2.4 ～ 28
海　　水	12	Bq／L	ｾｼｳﾑ-134	ND ～ 0.002	ND ～ 0.004	ND ～ 6.0	ND ～ 76	ND
			ｾｼｳﾑ-137	0.024 ～ 0.24	0.024 ～ 0.22	0.031 ～ 18	ND ～ 110	ND ～ 0.003
海　底　土	8	Bq／kg乾	ｾｼｳﾑ-134	0.80 ～ 2.9	ND ～ 7.5	4.6 ～ 350	110 ～ 1,200	ND
			ｾｼｳﾑ-137	97 ～ 220	76 ～ 270	130 ～ 1,100	210 ～ 1,800	ND ～ 1.2
松　　葉	2	Bq／kg生	ｾｼｳﾑ-134	ND	ND ～ 9.8	4.8 ～ 2,100	890 ～ 220,000	ND
			ｾｼｳﾑ-137	41 ～ 55	43 ～ 420	90 ～ 5,900	1,600 ～ 310,000	ND ～ 0.14
ほんだわら	1	Bq／kg生	ｾｼｳﾑ-134	ND	ND ～ 0.75	0.12 ～ 0.75	※	ND
			ｾｼｳﾑ-137	2.8	1.7 ～ 4.9	2.4 ～ 15	※	ND

※は測定値なし（令和元年度より測定再開）

（注）　１．「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計である。
　　２．NDは，検出限界未満。
　　３．「過去の測定値の範囲」について
　　「令和4年度～」は令和4年度から前年度まで。
　　「平成26年度～」は平成26年度から令和3年度まで。
　　「事故直後」は事故後(平成23年3月11日以降)から平成25年度まで。
　　「事故前」は平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。
　　４．　土壌及び海底土の測定時試料状態。
　　・平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成25年度まで:湿（Bq/kg湿）
　　・事故前及び平成26年度～：乾（Bq/kg乾）
　　５．　松葉の測定時試料状態。
　　・事故前：乾（Bq/kg乾）
　　・事故直後及び平成26年度～：生（Bq/kg生）

表２．５　環境試料中のトリチウム濃度測定結果

試　料　名	今年度試料数	単　位	今年度測定値	過去の測定値の範囲			
				令和4年度～	平成26年度～	事故直後	事故前
海　　水	12	Bq／L	ND～1.8	ND ～ 0.74	ND ～ 340	ND ～ 180	ND ～ 0.67

（注）１．「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計である。
　　２．NDは，検出限界未満。
　　３．「過去の測定値の範囲」について
　　「令和4年度～」は令和4年度から前年度まで。
　　「平成26年度～」は平成26年度から令和3年度まで。
　　「事故直後」は事故後(平成23年3月11日以降)から平成25年度まで。
　　「事故前」は平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

２－３－２－（３）　環境試料中の放射性ストロンチウム濃度

今年度の測定結果を表２．６に示す。
土壌，海水，海底土から，事故前の測定値の範囲を上回るストロンチウム－９０の人工放射性核種が検出されたが，事故直後と比較すると概ね横ばい傾向，または減少傾向にある。
なお，ストロンチウム－９０については，事故後から平成２４年度まで欠測。

表２．６　環境試料中の放射性ストロンチウム濃度測定結果

試　料　名	今年度試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲			
					令和4年度～	平成26年度～	事故直後	事故前
土　　壌	4	Bq/kg乾	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ-90	1.5 ～ 42	2.5 ～ 37	2.3 ～ 210	4.1 ～ 160	0.77 ～ 2.1
海　　水	3	Bq／L	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ-90	0.0012 ～ 0.0028	ND ～ 0.003	ND ～ 21	0.005 ～ 21	0.001 ～ 0.003
海　底　土	2	Bq/kg乾	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ-90	0.33 ～ 0.48	ND ～ 3.9	ND ～ 9.6	19 ～ 22	ND ～ 0.17

（注）１．「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計である。
２．NDは，検出限界未満。
３．「過去の測定値の範囲」について
「令和4年度～」は令和4年度から前年度まで。
「平成26年度～」は平成26年度から令和3年度まで。
「事故直後」は事故後(平成23年3月11日以降)から平成25年度まで。
「事故前」は平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

２－３－２－（４）　環境試料中のプルトニウム放射能濃度

今年度の測定結果を表２．７に示す。
土壌から，プルトニウム-２３８及びプルトニウム－２３９＋２４０が検出されたが，事故直後と比較すると事故前と同程度，または減少傾向にある。
なお，プルトニウムについては，事故後に測定を開始した。

表２．７　環境試料中のプルトニウム放射能濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲			
					令和4年度～	平成26年度～	事故直後	事故前
土　　壌	4	Bq/kg乾	ﾌﾟﾙﾄﾆｳﾑ-238	ND　～　0.02	ND ～ 0.02	ND ～ 0.07	ND ～ 0.11	ND ～ 0.03
			ﾌﾟﾙﾄﾆｳﾑ-239+240	0.05　～　0.28	0.05 ～ 0.40	0.05 ～ 0.56	0.19 ～ 0.39	ND ～ 0.44

（注）１．「過去の測定値の範囲」について
「令和4年度～」は令和4年度から前年度まで。
「平成26年度～」は平成26年度から令和3年度まで。
「事故直後」は事故後(平成23年3月11日以降)から平成25年度まで。
「事故前」は平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）までに福島県が測定した値を抜粋。

２－３－２－（５）　環境試料中のアメリシウム放射能濃度

今年度の測定結果を表２．８に示す。
土壌から，アメリシウム－２４１が検出されたが，事故直後と比較すると概ね横ばい傾向，または減少傾向にある。
なお，アメリシウムについては，事故後に測定を開始した。

表２．８　環境試料中のアメリシウム放射能濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲			
					令和4年度～	平成26年度～	事故直後	事故前
土　　壌	4	Bq/kg乾	ｱﾒﾘｼｳﾑ-241	0.02　～　0.16	0.01　～ 0.18	0.03　～ 0.22	0.45　～ 1.2	－

(注)　１．「過去の測定値の範囲」について
「令和4年度～」は令和4年度から前年度まで。
「平成26年度～」は平成26年度から令和3年度まで。
「事故直後」は事故後の平成23年3月11日以降から平成25年度まで。
「事故前」は平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

２－３－２－（６）　環境試料中のキュリウム放射能濃度

今年度の測定結果を表２．９に示す。
土壌から，キリュウム－２４４が検出されたが，事故直後と比較すると概ね横ばい傾向にある。
なお，キリュウムについては，事故後に測定を開始した。

表２．９　環境試料中のキュリウム放射能濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲			
					令和4年度～	平成26年度～	事故直後	事故前
土　　壌	4	Bq/kg乾	ｷｭﾘｳﾑ-244	ND　～　0.09	ND	ND ～ 0.03	ND ～ 0.05	－

(注)　１．「過去の測定値の範囲」について
「令和4年度～」は令和4年度から前年度まで。
「平成26年度～」は平成26年度から令和3年度まで。
「事故直後」は事故後(平成23年3月11日以降)から平成25年度まで。
「事故前」は平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

２－４ 原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表

２－４－１　空間放射線
２－４－１－（１）　空間線量率

単位：　線量率：nGy／h　測定時間：h　上段：平均値　中段：(最大値)　下段：(最小値)

No.	測定地点名 ＼ 測定年月 ／ 測定項目	R7.4		5		6		7		8		9		10		11		12		R8.1		2		3	
		線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
1	ＭＰ－１	478 (496) (457)	720	470 (489) (433)	744	471 (498) (441)	718	498 (526) (466)	744	512 (539) (476)	741	522 (546) (497)	720	504 (532) (481)	744	512 (523) (458)	720	505 (529) (486)	744	513 (526) (496)	744	516 (526) (481)	668	491 (504) (467)	744
2	ＭＰ－２	728 (758) (670)	720	725 (750) (651)	744	727 (761) (666)	717	746 (772) (692)	744	747 (770) (691)	742	740 (772) (697)	720	720 (754) (676)	744	737 (753) (639)	720	725 (752) (692)	744	734 (746) (714)	744	743 (756) (684)	669	719 (745) (658)	744
3	ＭＰ－３	464 (482) (445)	720	461 (475) (434)	740	463 (479) (440)	720	469 (481) (441)	742	468 (480) (443)	744	462 (478) (445)	720	451 (469) (436)	744	454 (465) (408)	720	450 (469) (434)	744	453 (462) (443)	744	458 (469) (423)	672	442 (454) (419)	744
4	ＭＰ－４	905 (954) (854)	720	886 (930) (804)	742	884 (926) (830)	720	907 (957) (843)	742	919 (966) (843)	744	922 (973) (870)	720	899 (948) (832)	744	923 (949) (791)	720	915 (950) (865)	744	926 (942) (897)	744	935 (953) (850)	668	884 (918) (830)	744
5	ＭＰ－５	636 (673) (558)	720	629 (664) (546)	741	632 (668) (571)	720	658 (693) (604)	742	664 (697) (606)	744	662 (697) (622)	720	636 (679) (579)	744	647 (667) (491)	720	642 (668) (606)	744	649 (662) (628)	744	642 (668) (582)	661	608 (633) (545)	744
6	ＭＰ－６	300 (316) (291)	720	299 (307) (287)	740	299 (310) (289)	720	302 (310) (287)	744	301 (310) (289)	741	298 (307) (280)	720	293 (311) (285)	744	295 (300) (212)	720	292 (309) (284)	744	295 (302) (289)	744	304 (310) (292)	672	300 (308) (287)	744
7	ＭＰ－７	521 (532) (504)	720	515 (529) (485)	741	513 (525) (493)	720	519 (533) (497)	744	521 (535) (494)	741	522 (536) (507)	720	513 (530) (495)	744	516 (525) (480)	720	513 (525) (499)	744	515 (520) (507)	744	518 (525) (498)	672	507 (517) (483)	744
8	ＭＰ－８	492 (501) (481)	720	488 (497) (469)	744	486 (495) (473)	717	489 (499) (474)	744	490 (500) (470)	741	491 (499) (479)	720	485 (495) (470)	744	488 (499) (452)	720	487 (497) (478)	744	489 (495) (483)	744	491 (497) (475)	672	482 (490) (467)	744

注）・空間線量率の測定は高線量率モニタリングポストによる。

・欠測時には代替測定器にて測定し，指示値に異常がないことを確認している。

※点検に伴う欠測期間は下記の通り。

MP-1：令和7年6月4日，8月22日，8月28日，令和8年2月18日　MP-2：令和7年6月9日，8月26日，8月28日，令和8年2月20日　MP-3：令和7年5月9日，7月8日，7月25，8月28日
MP-4：令和7年5月13日，7月11日，8月28日，令和8年2月22日　MP-5：令和7年5月14日，7月16日，令和8年2月10日，2月16日，2月26日
MP-6：令和7年5月19日，8月4日　MP-7：令和7年5月28日，8月7日　MP-8：令和7年6月2日，8月20日，令和8年2月19日

・震災後ＭＰ－６，７，８については，高線量率の環境下にあることから，新たな放出によって上空を通過する放射性物質を検知しやすくするため，
検出器廻りに遮へいを設置し，地表面等からの放射線の影響を抑えていた。
尚，ＭＰ－６については事務棟工事などにより周辺環境の線量率が低下したことから，平成２５年７月に検出器廻りの遮へいを撤去している。

２－４－１－（２）　空間積算線量

（単位：ｍＧｙ）

No.	測定地点名 ＼ 測定期間・測定項目	R7.4.3 ～ R7.7.3		R7.7.3 ～ R7.10.9		R7.10.9 ～ R8.1.8		R8.1.8 ～ R8.4.9	
		積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数
1	ＭＰ－１	0.86 （ 0.85 ）	91	0.98 （ 0.90 ）	98	0.87 （ 0.86 ）	91	0.79 （ 0.78 ）	91
2	ＭＰ－２	1.40 （ 1.39 ）	91	1.52 （ 1.40 ）	98	1.36 （ 1.35 ）	91	1.34 （ 1.33 ）	91
3	ＭＰ－３	1.00 （ 0.99 ）	91	1.04 （ 0.96 ）	98	0.95 （ 0.94 ）	91	0.95 （ 0.94 ）	91
4	ＭＰ－４	0.99 （ 0.98 ）	91	1.08 （ 0.99 ）	98	0.97 （ 0.96 ）	91	0.94 （ 0.93 ）	91
5	ＭＰ－５	1.15 （ 1.14 ）	91	1.27 （ 1.17 ）	98	1.13 （ 1.12 ）	91	1.12 （ 1.11 ）	91
6	ＭＰ－６	0.77 （ 0.76 ）	91	0.80 （ 0.73 ）	98	0.73 （ 0.72 ）	91	0.76 （ 0.75 ）	91
7	ＭＰ－７	3.01 （ 2.98 ）	91	3.16 （ 2.90 ）	98	2.96 （ 2.93 ）	91	2.81 （ 2.78 ）	91
8	ＭＰ－８	6.17 （ 6.11 ）	91	6.59 （ 6.05 ）	98	6.08 （ 6.01 ）	91	6.07 （ 6.01 ）	91
9※	双葉町郡山塚ノ腰	0.68 （ 0.67 ）	91	0.73 （ 0.67 ）	98	0.68 （ 0.67 ）	91	0.66 （ 0.65 ）	91
10	双葉町長塚鬼木	0.34 （ 0.34 ）	91	0.37 （ 0.34 ）	98	0.33 （ 0.33 ）	91	0.34 （ 0.34 ）	91
11	双葉町山田西郷内	1.26 （ 1.25 ）	91	1.38 （ 1.27 ）	98	1.26 （ 1.25 ）	91	1.25 （ 1.24 ）	91
12	大熊町夫沢中央台	2.71 （ 2.68 ）	91	3.17 （ 2.91 ）	98	2.72 （ 2.69 ）	91	2.80 （ 2.77 ）	91
13	大熊町旧役場	2.00 （ 1.98 ）	91	2.11 （ 1.94 ）	98	1.96 （ 1.94 ）	91	1.96 （ 1.94 ）	91
14※	大熊町小入野東大和久	4.24 （ 4.20 ）	91	4.79 （ 4.40 ）	98	4.18 （ 4.13 ）	91	4.32 （ 4.27 ）	91
15	大熊町熊川緑ヶ丘	5.13 （ 5.08 ）	91	5.34 （ 4.90 ）	98	4.60 （ 4.55 ）	91	4.54 （ 4.49 ）	91
16※	大熊町熊川久麻川	4.36 （ 4.31 ）	91	4.94 （ 4.53 ）	98	4.40 （ 4.35 ）	91	4.51 （ 4.46 ）	91
17※	浪江町棚塩安養院	0.17 （ 0.17 ）	91	0.18 （ 0.17 ）	98	0.17 （ 0.17 ）	91	0.17 （ 0.17 ）	91
18	浪江町川添中上ノ原	0.31 （ 0.31 ）	91	0.34 （ 0.31 ）	98	0.30 （ 0.30 ）	91	0.30 （ 0.30 ）	91
19	大熊町野上湯の神	0.80 （ 0.79 ）	91	0.86 （ 0.79 ）	98	0.78 （ 0.77 ）	91	0.78 （ 0.77 ）	91
20	富岡町新福島変電所	0.85 （ 0.84 ）	91	0.91 （ 0.84 ）	98	0.82 （ 0.81 ）	91	0.83 （ 0.82 ）	91
21※	富岡町富岡中学校	0.26 （ 0.24 ）	91	0.25 （ 0.24 ）	98	0.24 （ 0.24 ）	91	0.24 （ 0.24 ）	91

（注）　１．（ ）内は，９０日換算値。

※No9：郡山堂ノ上から郡山塚ノ腰へ地点変更（国の中間貯蔵施設造成対象区域となったことによる変更：平成28年度第3四半期より）

※No14：小入野東大和久およびNo16：熊川久麻川地点については，国の中間貯蔵施設造成対象区域となったことにより測定地点変更（令和元年度第1四半期より）

※No17：北棚塩総合集会所から棚塩安養院へ地点変更（建屋解体工事が実施されることによる変更：令和3年度第1四半期より）

※No21：東京電力西原寮から富岡中学校へ地点変更（建屋解体工事が実施されることによる変更：令和4年度第4四半期より）

２－４－２　環境試料
２－４－２－（１）　大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能

単位：　測定値：Bq/m³　上段：平均値
　　測定時間：h　下段：(最大値)

No.	測定地点名	測定項目	R7.4		5		6		7		8		9		10		11		12		R8.1		2		3	
			測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間
1	MP－3※	全アルファ放射能	0.012 (0.063)	720	0.010 (0.063)	744	0.013 (0.11)	720	0.027 (0.13)	711	0.020 (0.11)	744	0.015 (0.072)	720	0.013 (0.064)	744	0.018 (0.061)	720	0.012 (0.069)	744	0.010 (0.045)	742	0.015 (0.092)	672	0.014 (0.057)	744
		全ベータ放射能	0.034 (0.13)	720	0.028 (0.11)	744	0.058 (0.25)	720	0.055 (0.21)	711	0.042 (0.17)	744	0.036 (0.11)	720	0.034 (0.10)	744	0.044 (0.11)	720	0.033 (0.12)	744	0.036 (0.079)	742	0.045 (0.15)	672	0.036 (0.095)	744
2	MP－8※	全アルファ放射能	0.009 (0.046)	720	0.008 (0.047)	742	0.009 (0.055)	718	0.024 (0.095)	742	0.019 (0.091)	696	0.015 (0.076)	719	0.012 (0.054)	743	0.015 (0.050)	719	0.011 (0.052)	743	0.009 (0.034)	741	0.012 (0.059)	658	0.011 (0.045)	743
		全ベータ放射能	0.030 (0.088)	720	0.027 (0.092)	742	0.032 (0.11)	718	0.052 (0.18)	742	0.044 (0.15)	696	0.038 (0.12)	719	0.034 (0.093)	743	0.039 (0.089)	719	0.032 (0.093)	743	0.028 (0.065)	741	0.033 (0.11)	658	0.035 (0.10)	743

※ 福島第一原子力発電所のダストモニタ：　ＭＰ３については，平成２８年１０月より本運用開始。
　　：　ＭＰ８については，平成２９年１０月より本運用開始。

・欠測時には，可搬型連続ダストモニタにて測定し，指示値に異常がないことを確認している。

*点検に伴う欠測期間は下記の通り。

ＭＰ－３：令和７年7月23日、7月24日、7月25日、令和8年1月20日、1月21日

ＭＰ－８：令和７年5月8日、6月5日、6月11日、7月8日、7月10日、8月5日、8月12日、8月13日、9月9日、10月15日、11月6日、12月10日、令和8年1月14日、1月21日、1月22日、1月26日、2月18日、2月19日、3月17日

２－４－２－（２）　大気浮遊じんの核種濃度

No.	採取地点名	採取時期	核種濃度 (mBq/m^3)										
			^{51}Cr	^{54}Mn	^{58}Co	^{59}Fe	^{60}Co	^{95}Zr	^{95}Nb	^{106}Ru	^{134}Cs	^{137}Cs	^{144}Ce
1	ＭＰ－３	R7. 4. 1 ～ R7. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.065	5.5	ND
		R7. 5. 1 ～ R7. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.035	3.2	ND
		R7. 6. 1 ～ R7. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.22	18	ND
		R7. 7. 1 ～ R7. 7.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.063	5.8	ND
		R7. 8. 1 ～ R7. 8.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.041	3.4	ND
		R7. 9. 1 ～ R7. 9.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.039	4.2	ND
		R7.10. 1 ～ R7.10.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.074	6.6	ND
		R7.11. 1 ～ R7.11.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.089	9.5	ND
		R7.12. 1 ～ R7.12.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.075	7.9	ND
		R8. 1. 1 ～ R8. 1.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	12	ND
		R8. 2. 1 ～ R8. 2.28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	19	ND
		R8. 3. 1 ～ R8. 3.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.055	6.5	ND
2	ＭＰ－８	R7. 4. 1 ～ R7. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.44	ND
		R7. 5. 1 ～ R7. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	0.42	ND
		R7. 6. 1 ～ R7. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.014	1.1	ND
		R7. 7. 1 ～ R7. 7.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.013	0.98	ND
		R7. 8. 1 ～ R7. 8.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	0.59	ND
		R7. 9. 1 ～ R7. 9.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	ND
		R7.10. 1 ～ R7.10.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	0.62	ND
		R7.11. 1 ～ R7.11.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	1.0	ND
		R7.12. 1 ～ R7.12.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.016	1.5	ND
		R8. 1. 1 ～ R8. 1.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	0.74	ND
		R8. 2. 1 ～ R8. 2.28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	0.82	ND
		R8. 3. 1 ～ R8. 3.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.026	2.7	ND

（注）　１．「ND」は検出限界未満である。

２－４－２－(３)　環境試料中の核種濃度

試料名	種類又は部位	採取地点番号及び採取地点名		採取年月日	単位	核種濃度																	天然核種
						^{51}Cr	^{54}Mn	^{58}Co	^{59}Fe	^{60}Co	^{95}Zr	^{95}Nb	^{106}Ru	^{134}Cs	^{137}Cs	^{144}Ce	^{3}H	^{131}I	^{90}Sr	^{238}Pu	$^{239+240}$Pu	^{241}Am	^{244}Cm	^{40}K
土壌	表土	1	敷地内	R7. 5.15	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1,700	140,000	ND	／	／	42	0.017	0.26	0.16	0.089	370
				R7.11.18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2,800	290,000	ND	／	／	／	／	／	／	／	330
		2	大熊町下野上	R7. 5.15		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	45	4,500	ND	／	／	1.5	ND	0.050	0.016	ND	280
				R7.11.18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	96	10,000	ND	／	／	／	／	／	／	／	340
		3	大熊町熊川	R7. 5.15		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	210	18,000	ND	／	／	3.7	ND	0.13	0.040	ND	640
				R7.11.18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	480	49,000	ND	／	／	／	／	／	／	／	570
		4	双葉町郡山	R7. 5.15		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	24	2,100	ND	／	／	13	ND	0.28	0.13	ND	330
				R7.11.18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	76	7,600	ND	／	／	／	／	／	／	／	320
海水	表面水	1	東京電力ホールディングス㈱福島第一原子力発電所 取水口	R7. 5. 8	Bq/L	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	／	0.0028	／	／	／	／	／
				R7. 8.20		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0024	0.24	ND	1.8	／	／	／	／	／	／	／
				R7.11.12		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.034	ND	0.90	／	／	／	／	／	／	／
				R8. 2.18		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.028	ND	ND	／	／	／	／	／	／	／
		2	東京電力ホールディングス㈱福島第一原子力発電所 南放水口	R7. 5. 8		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	ND	ND	／	0.0012	／	／	／	／	／
				R7. 8.20		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.048	ND	1.5	／	／	／	／	／	／	／
				R7.11.12		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.036	ND	0.73	／	／	／	／	／	／	／
				R8. 2.18		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	／	／	／	／	／	／	／
		3	東京電力ホールディングス㈱福島第一原子力発電所 北放水口	R7. 5. 8		／	ND	ND	ND	0.002	ND	ND	ND	ND	0.10	ND	ND	／	0.0013	／	／	／	／	／
				R7. 7.30 再採取		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0019	0.10	ND	／	／	／	／	／	／	／	／
				R7. 8.20		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.058	ND	1.1	／	／	／	／	／	／	／
				R7.11.12		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0016	0.063	ND	1.1	／	／	／	／	／	／	／
				R8. 2.18		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.024	ND	ND	／	／	／	／	／	／	／
海底土	海砂又は海底土	1	東京電力ホールディングス㈱福島第一原子力発電所 南放水口	R7. 5. 8	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.3	110	ND	／	／	0.48	／	／	／	／	320
				R7. 8.20		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.0	200	ND	／	／	／	／	／	／	／	450
				R7.11.12		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.8	180	ND	／	／	／	／	／	／	／	430
				R8. 2.18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.80	97	ND	／	／	／	／	／	／	／	310
		2	東京電力ホールディングス㈱福島第一原子力発電所 北放水口	R7. 5. 8		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.9	220	ND	／	／	0.33	／	／	／	／	390
				R7. 8.20		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.3	210	ND	／	／	／	／	／	／	／	370
				R7.11.12		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.7	160	ND	／	／	／	／	／	／	／	410
				R8. 2.18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.0	110	ND	／	／	／	／	／	／	／	400
松葉	葉	1	ＭＰ－３付近	R7.11.13	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	41	ND	／	ND	／	／	／	／	／	61
		2	環境管理棟付近	R7.11.13		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	55	ND	／	ND	／	／	／	／	／	89
ほんだわら	葉茎	1	港湾内	R7. 5.14	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.8	ND	／	／	／	／	／	／	／	150

(注)　１．「ND」は検出限界未満，「／」は対象外核種である。
　　２．　上記の他，人工放射性核種は検出されなかった。

第３　東京電力ホールディングス（株）福島第二原子力発電所測定分

３－１　測定項目

測定項目は，以下に示すとおりであり，測定及び採取地点については，図３－１に示す。

３－１－１　空間放射線

３－１－１－（１）空間線量率

測定地点		測定頻度	実施機関
発電所敷地境界付近	7地点	連　続	東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所

３－１－１－（２）空間積算線量

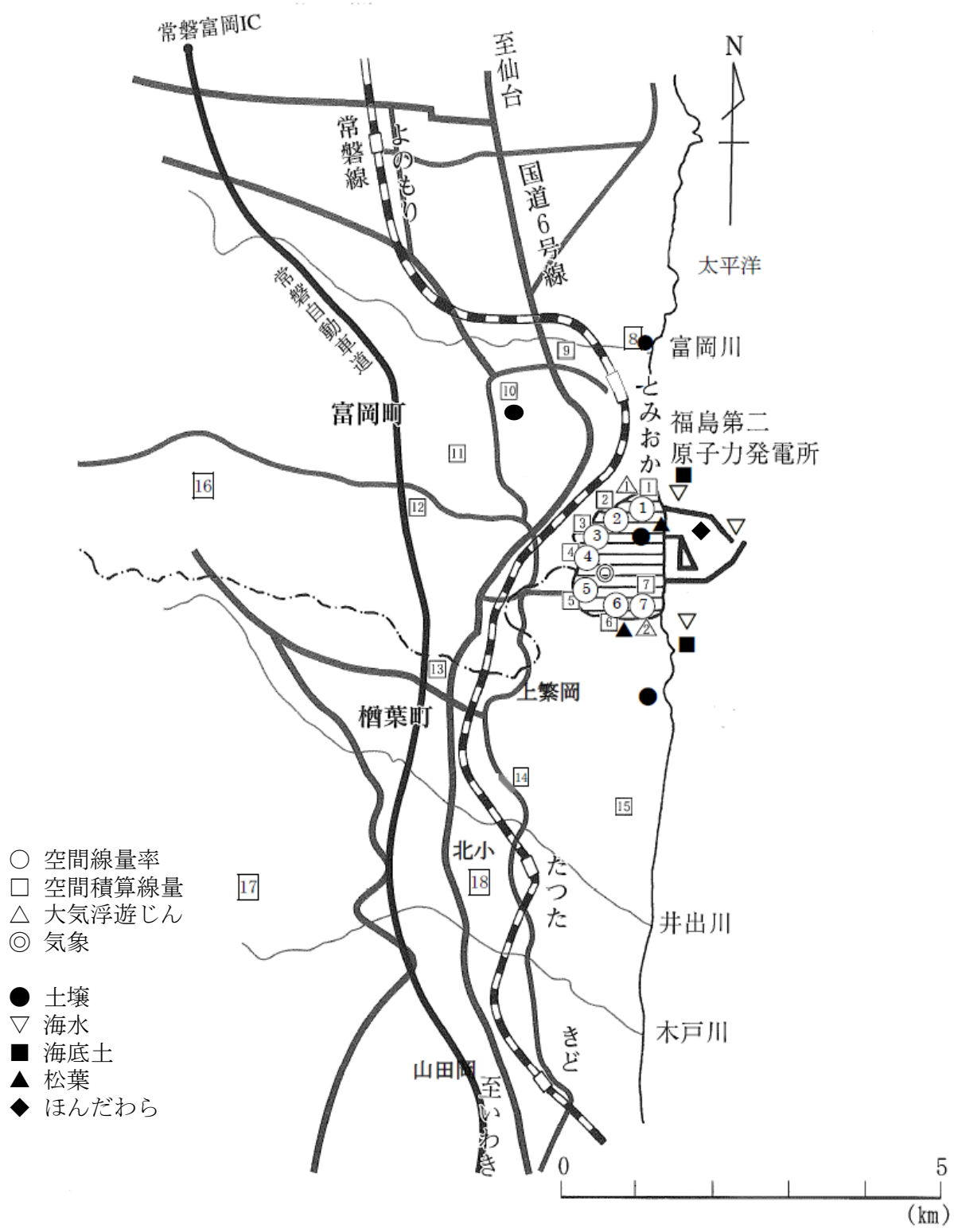
測定地点		測定頻度	実施機関
発電所敷地境界付近	7地点	3か月積算	東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所
発電所敷地外	11地点		

３－１－２　環境試料

３－１－２－（１）　環境試料中の全アルファ放射能，全ベータ放射能及び核種濃度

区分名	試料名（部位）	採取地点名	採取頻度	採取量	測定項目	実施機関
大気浮遊じん	大気浮遊じん （地表上約３ｍ）	発電所敷地南境界付近 発電所敷地北境界付近	連　続	約90m^3/6h	全アルファ放射能 全ベータ放射能	東京電力ホールディングス（株） 福島第二原子力発電所
			12回／年	１ヶ月分の集じんろ紙	ガンマ線放出核種濃度	
土壌	土壌 （表土，０～5cm）	敷地内	2回／年	1kg	ガンマ線放出核種濃度	
		楢葉町波倉	1回／年	0.5kg	ストロンチウム-90 プルトニウム-238,239+240 アメリシウム-241 キュリウム-244	
		富岡町小浜				
		富岡町小浜中央				
海水	海水 （表面水）	発電所取水口	4回／年	30L	ガンマ線放出核種濃度	
		発電所南放水口		2L	トリチウム濃度	
		発電所北放水口	1回／年	40L	ストロンチウム-90	
海底土	海底土 (海砂又は海底土)	発電所南放水口	4回／年	1kg	ガンマ線放出核種濃度	
		発電所北放水口	1回／年	1kg	ストロンチウム-90	
指標植物	松葉 （葉）	発電所敷地南境界付近 発電所敷地北境界付近	1回／年	0.1kg	ガンマ線放出核種濃度	
指標海洋生物	ほんだわら （葉茎）	発電所港湾内	1回／年	2kg	ガンマ線放出核種濃度	

図３－１　環境放射能等測定地点



３－２　測定方法

測定項目		測　定　装　置	測　　定　　方　　法
空間放射線	空間線量率	モニタリングポスト	検 出 器：2″φ×2″NaI（Tℓ）シンチレーション検出器 （富士電機，温度補償・エネルギー補償回路付） 測定位置：地表上約1.6m 校正線源：Cs-137及びRa-226
	空間積算線量	蛍光ガラス線量計	測 定 法：文部科学省編「蛍光ガラス線量計を用いた環境γ線量測定法」（平成14年制定） 検 出 器：蛍光ガラス線量計，旭テクノグラス　SC-1 測 定 器：旭テクノグラス　FGD-202 測定位置：地表上約1m 校正線源：Cs-137
環境試料	大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能	ダストモニタ	測 定 法：6時間連続集じん，6時間放置後全アルファ及び全ベータ放射能を同時測定 集じん法：ろ紙ステップ式，使用ろ紙：HE-40T 吸引量：約90m^3／6時間 検 出 器：プラスチックシンチレーターにＺｎＳ（Ａｇ）を吹き付け塗布した検出器（HITACHI　ADC-7221） 採取位置：地表上約3m 校正線源：Am-241及びCl-36
	核種濃度	Ge半導体検出装置	測 定 法：原子力規制庁編「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」（令和2年改訂） 大気浮遊じんは１カ月の集じんろ紙をＵ８容器に入れ測定。 土壌・海底土は乾燥後に測定。 松葉（指標植物）は生試料により測定。 海水は，リンモリブデン酸アンモニウム法及び二酸化マンガン共沈法で処理後測定。 ほんだわら(指標海洋生物)は乾燥試料により測定。 測 定 器：Ge半導体検出器（ORTEC GEM35-76-LB-A-S型 ） 波高分析器（SEIKO EG&G MCA-7シリーズ(4096ch)）
	トリチウム濃度	ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置	測 定 法：原子力規制庁編「トリチウム分析法」（令和5年改訂） 海水のトリチウムは蒸留後測定。 測 定 器：ローバックグラウンド液体シンチレーション検出装置（Aloka　LSC-LB7型）
	ストロンチウム-90濃度	ローバックグラウンドガスフロー計数装置	測 定 法：文部科学省編「放射性ストロンチウム分析法」のうちイオン交換法（令和7年改訂） 測 定 器：ローバックグラウンドガスフロー計数装置（Aloka　LBC-4202B型） 校正線源：Sr-90
	プルトニウム-238 プルトニウム-239+240 濃度	シリコン半導体検出器	測 定 法：文部科学省編「プルトニウム分析法」のうちイオン交換法（平成2年改訂） 測 定 器：ORTEC　Alpha Duo 第三者機関（（株）化研）にて分析
	アメリシウム-241 キュリウム-244 濃度	シリコン半導体検出器	測 定 法：文部科学省編「アメリシウム分析法」のうちイオン交換法（平成2年制定） 測 定 器：ORTEC　Alpha Duo 第三者機関（（株）化研）にて分析

３－３　測定結果

３－３－１　空間放射線

３－３－１－（１）　空間線量率

今年度の測定結果を表３．１に示す。

各測定地点の年間平均値は74～202nGy/h，最小値は69～185nGy/h，最大値は97～228nGy/hであった。

なお，各地点における測定値は，年月の経過とともに減少傾向にあった。

各測定地点における空間線量率の月間平均値及び変動幅の推移を図３．２に示す。

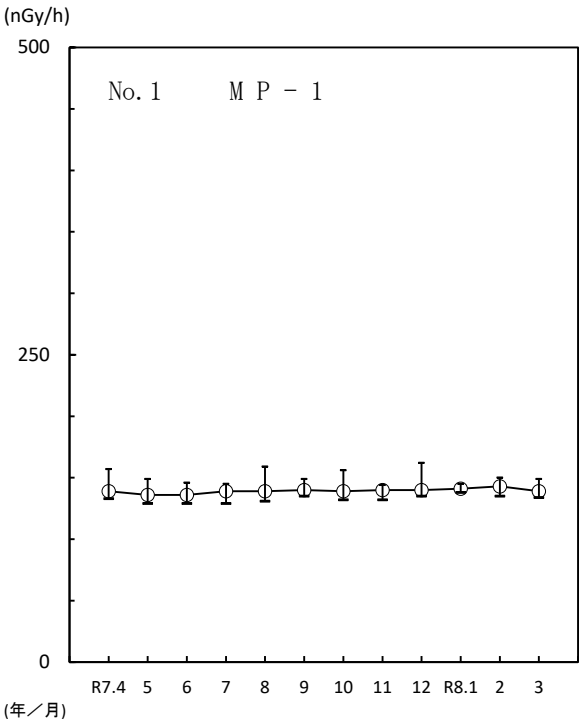
表３．１　空間線量率の測定結果（年間平均値及び最小値，最大値）

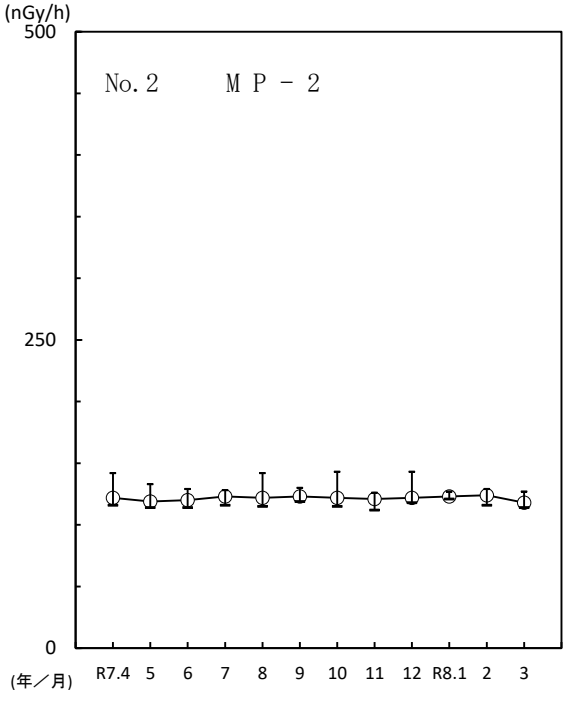
（単位：ｎGy/ｈ）

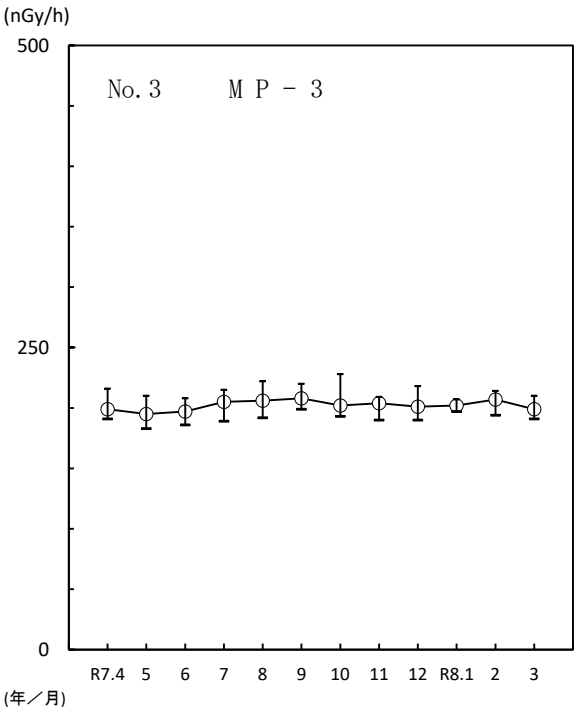
No.	測定地点名	今年度測定値			過去の測定値の範囲			
					令和4年度～	平成26年度～	事故直後	事故前
		平均値	最小値	最大値	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)	平均値 (最大値)
1	ＭＰ－１	139	129	162	143 ～ 153 (184)	161 ～ 636 (761)	854 ～ 13,353 (130,000)	38 ～ 40 (142)
2	ＭＰ－２	121	112	143	126 ～ 140 (180)	147 ～ 427 (542)	587 ～ 7,481 (31,428)	45 ～ 47 (134)
3	ＭＰ－３	202	183	228	206 ～ 219 (253)	232 ～ 669 (795)	863 ～ 13,695 (182,000)	38 ～ 39 (79)
4	ＭＰ－４	186	175	210	193 ～ 213 (242)	225 ～ 609 (728)	804 ～ 9,950 (145,000)	38 ～ 40 (91)
5	ＭＰ－５	193	185	215	202 ～ 214 (250)	228 ～ 600 (672)	752 ～ 9,368 (157,000)	43 ～ 44 (108)
6	ＭＰ－６	114	104	136	115 ～ 121 (160)	126 ～ 278 (329)	371 ～ 8,693 (26,418)	46 ～ 48 (145)
7	ＭＰ－７	74	69	97	75 ～ 78 (128)	80 ～ 244 (289)	309 ～ 4,513 (19,100)	46 ～ 47 (162)

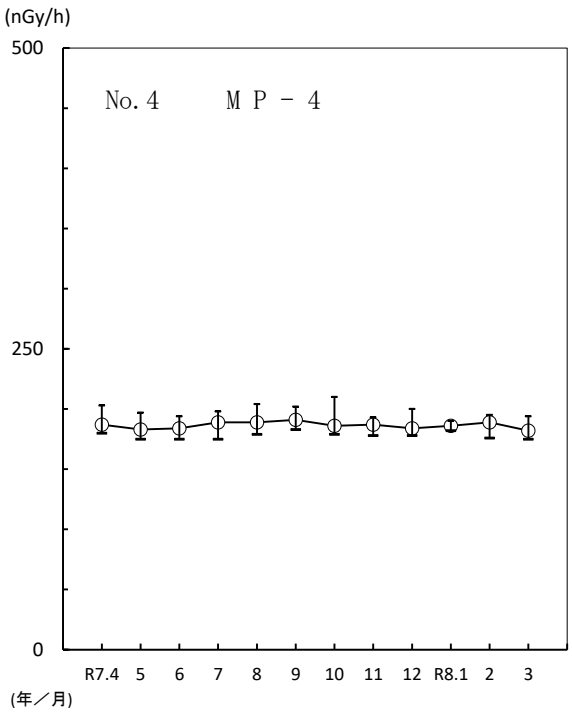
（注）１．平均値は，年間の１時間値の測定値の和を測定値の数で除して求めた。
２．最小値と最大値は，１時間値の最小と最大の値を示す。
３．「過去の測定値の範囲」は，
令和4年度～：令和4年度から前年度まで。
平成26年度～：平成26年度から令和3年度まで。
事故直後：事故後（平成23年3月11日）から平成25年度まで。
事故前：平成13年9月から事故前（平成23年3月10日）まで。

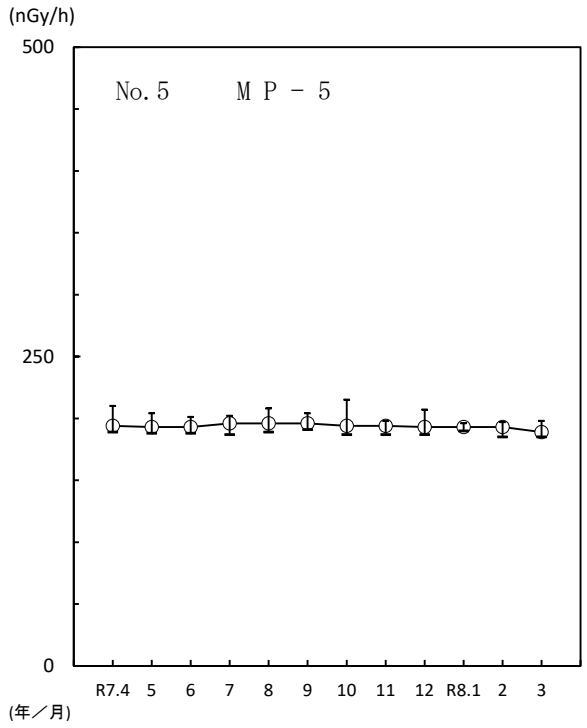
図３．２　空間線量率の月間平均値及び変動幅の推移

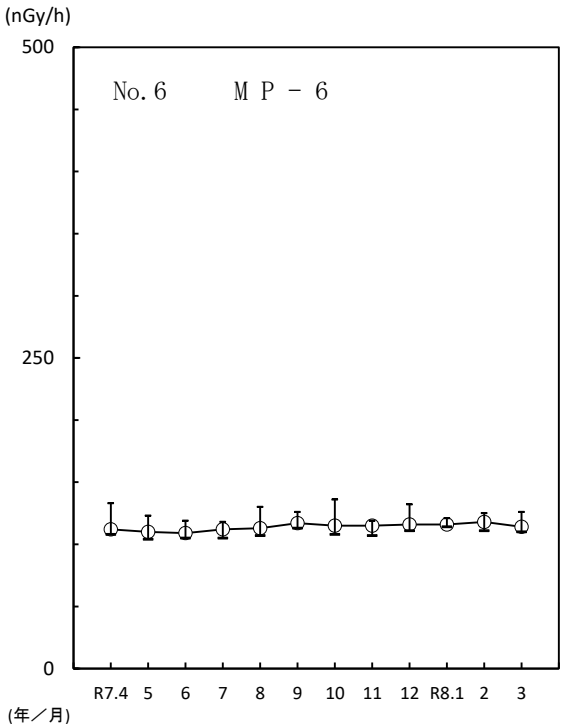


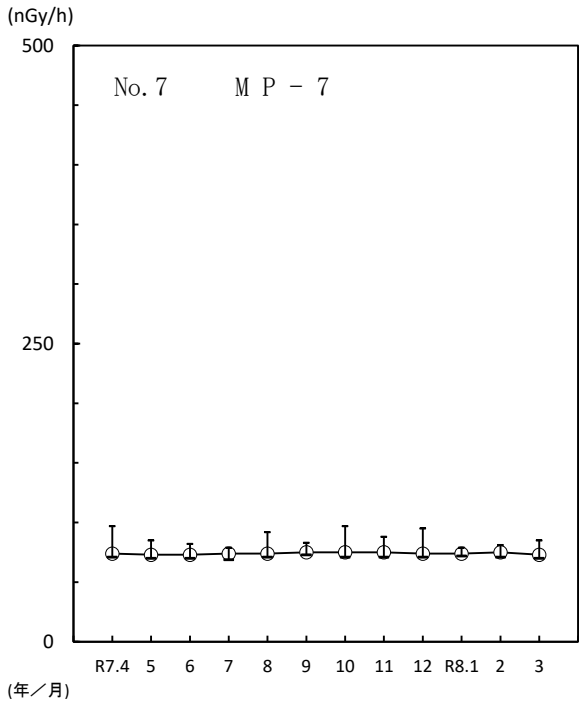


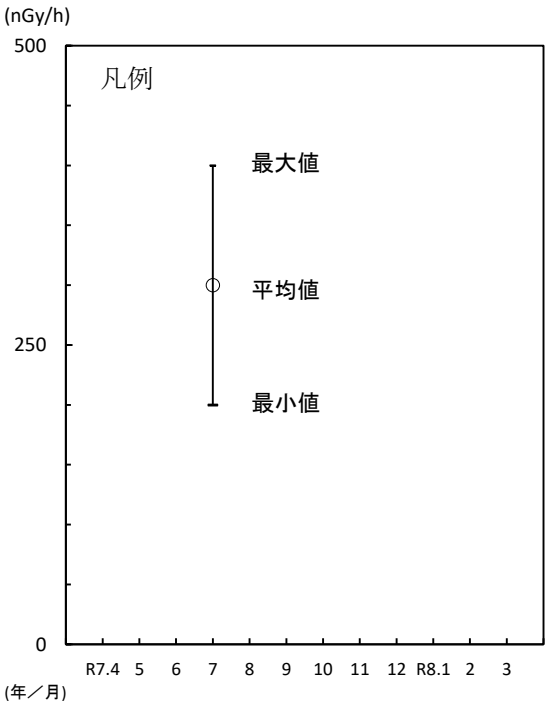





(nGy/h)
500
250
0
No.5　　ＭＰ－５
R7.4 5 6 7 8 9 10 11 12 R8.1 2 3
(年／月)


(nGy/h)
500
250
0
No.6　　ＭＰ－６
R7.4 5 6 7 8 9 10 11 12 R8.1 2 3
(年／月)


(nGy/h)
500
250
0
No.7　　ＭＰ－７
R7.4 5 6 7 8 9 10 11 12 R8.1 2 3
(年／月)


(nGy/h)
500
250
0
凡例
最大値
平均値
最小値
R7.4 5 6 7 8 9 10 11 12 R8.1 2 3
(年／月)

３－３－１－（２）　空間積算線量

今年度の測定結果（年間相当値[*1]）を表３．２に示す。

今年度の測定値は，0.70mGy（ＭＰ－７）から1.9mGy（ＭＰ－５）であった。

今年度の測定値は，事故前の測定値を上回っていた。

なお，四半期毎の各地点の測定値は，年月の経過とともに減少傾向にあった。

今年度の四半期ごとの測定結果（90日換算値）の推移を図３．３に示す。

表３．２　空間積算線量の測定結果（年間相当値）　　（単位：ｍＧｙ）

No.	測定地点名	今年度測定値	過去の測定値の範囲[*2]			
			令和4年度～	平成26年度～	事故直後	事故前
1	ＭＰ－１	1.6	1.6～1.9	1.9～6.2	7.4～16	0.49～0.52
2	ＭＰ－２	1.3	1.3～1.4	1.5～3.6	4.7～11	0.52～0.56
3	ＭＰ－３	1.8	1.9～2.1	2.3～3.5	7.9～16	0.46～0.50
4	ＭＰ－４	1.8	1.8～2.0	2.0～4.9	5.8～14	0.45～0.48
5	ＭＰ－５	1.9	1.9～2.1	2.2～5.1	5.3～12	0.52～0.54
6	ＭＰ－６	1.1	1.1	1.2～2.4	3.1～7.8	0.54～0.59
7	ＭＰ－７	0.70	0.69～0.70	0.71～1.6	2.0～8.9	0.53～0.56
8	富岡町小浜	1.4	1.4～1.5	1.6～6.5	－　*3	－　*3
9	*5 富岡町富岡中学校	0.99	1.0～1.1	1.3～4.6	8.3～39	0.49～0.59
10	*5 富岡町小浜中央	1.2	1.2～1.3	1.4～11	12～29	0.50～0.53
11	富岡町上郡山清水	1.5	1.5～1.6	1.7～12	11～29	0.48～0.52
12	富岡町上郡山上郡	1.7	1.7～1.9	2.0～8.5	9.9～25	0.49～0.53
13	楢葉町上繁岡山根	1.5	1.6	1.7～4.4	5.6～15	0.47～0.51
14	楢葉町井出浄光東	1.4	1.4～1.6	1.6～3.7	5.2～12	0.47～0.52
15	楢葉町下繁岡一丁坪	1.4	1.4～1.6	1.6～3.8	4.7～12	0.44～0.47
16	富岡町上郡山岩井戸	1.5	1.5～1.7	1.7～7.3	9.7	－　*4
17	楢葉町井出八石	0.88	0.86～0.90	0.93～1.7	3.6	－　*4
18	楢葉町楢葉中学校	0.74	0.72～0.75	0.75～1.9	3.8	－　*4

＊1　年間相当値は，各四半期の測定値の和を365日相当に換算し，有効数字2桁で表示。

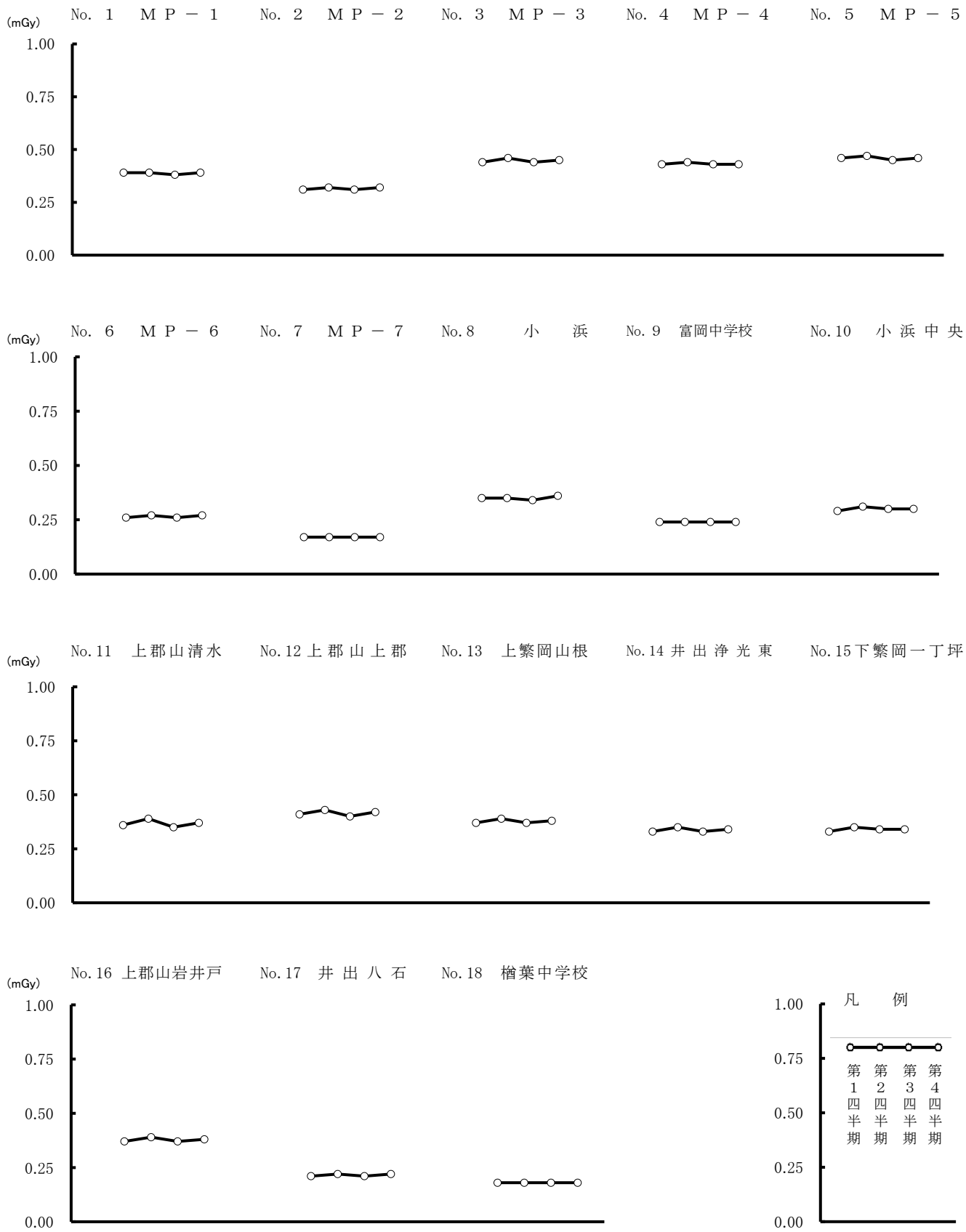
＊2　「過去の測定値の範囲」は，
　　令和4年度～：令和4年度から前年度まで。
　　平成26年度～：平成26年度から令和3年度まで。
　　事故直後：平成22年度第4四半期から平成25年度まで。
　　事故前：平成15年度より測定装置を蛍光ガラス線量計に変更したため，平成15年度から
　　平成22年度第3四半期まで。

＊3　平成26年度より測定を開始した。

＊4　平成25年度より測定を開始した。

＊5　※令和4年度第3四半期より地点名を変更
　　「富岡第一中学校」→「富岡中学校」、「上の町社宅」→「小浜中央」

図３．３　　空間積算線量（９０日換算値[*1]）の推移



（注）＊１　９０日換算値は，四半期ごとの測定値を換算した。

３－３－２　環境試料

３－３－２－（１）　大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能

今年度の測定結果を表３．３に示す。

各測定地点の全アルファ放射能の平均値は，0.011～0.012Bq/m^3，最大値は0.084～0.091Bq/m^3であり，

全ベータ放射能の平均値は0.050～0.052Bq/m^3，最大値は0.28Bq/m^3であった。

いずれも事故前の値と同程度であった。

なお、令和３年９月にダストモニタの更新を行った。

表３．３　大気浮遊じんの全アルファ・全ベータ放射能測定結果

（単位：Ｂｑ／ｍ^3）

No.	測定地点名	測定項目	今年度測定値		過去の測定値の範囲			
					令和4年度～	平成26年度～	事故直後	事故前
			平均値	最大値	平均値 （最大値）	平均値 （最大値）	平均値 （最大値）	平均値 （最大値）
1	Ｍ　Ｐ　－　1	全アルファ放射能	0.011	0.091	0.009～0.010 （ 0.091 ）	0.010～0.019 （ 0.16 ）	0.014～0.015 （ 0.14 ）	0.006～0.030 （ 0.20 ）
		全ベータ放射能	0.050	0.28	0.045～0.048 （ 0.28 ）	0.030～0.035 （ 0.25 ）	0.030～0.033 （ 0.23 ）	0.020～0.058 （ 0.29 ）
2	Ｍ　Ｐ　－　7	全アルファ放射能	0.012	0.084	0.009～0.010 （ 0.088 ）	0.010～0.018 （ 0.13 ）	0.015～0.016 （ 0.11 ）	0.005～0.026 （ 0.15 ）
		全ベータ放射能	0.052	0.28	0.043～0.046 （ 0.27 ）	0.030～0.034 （ 0.20 ）	0.031 （ 0.17 ）	0.019～0.049 （ 0.21 ）

（注）１．平均値は，６時間ごとの測定値の和を測定値の数で除して求めた。

２．最大値は，６時間ごとの測定値の最大を示す。

３．「過去の測定値の範囲」は，

令和4年度～：令和4年度から前年度まで。

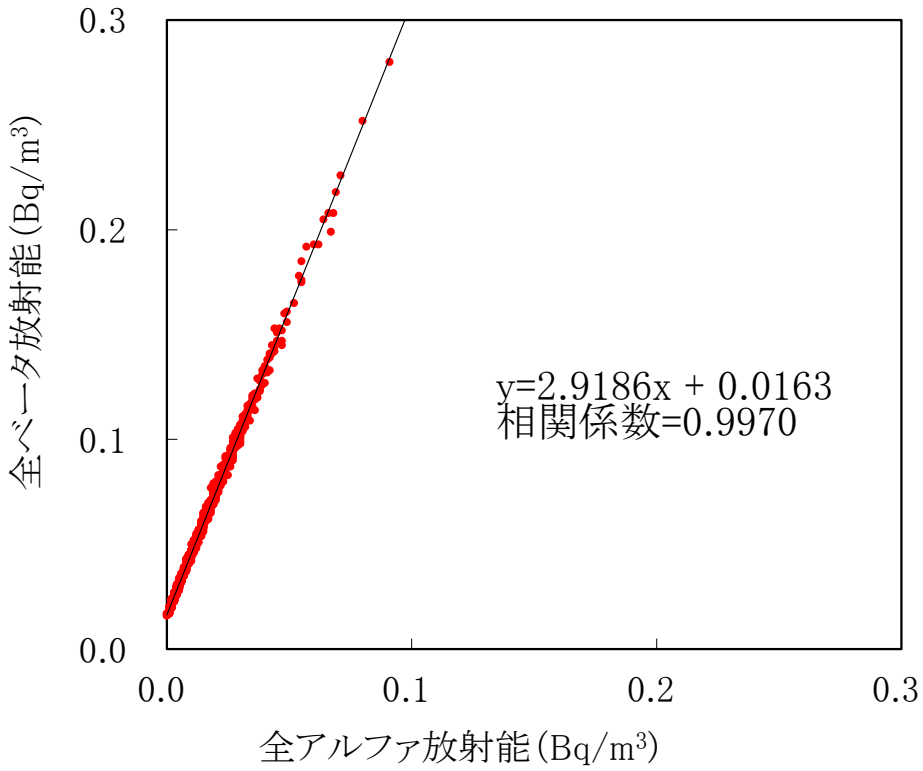
平成26年度～：平成26年度から令和3年度まで。

事故直後：測定を開始した平成24年度から平成25年度まで。

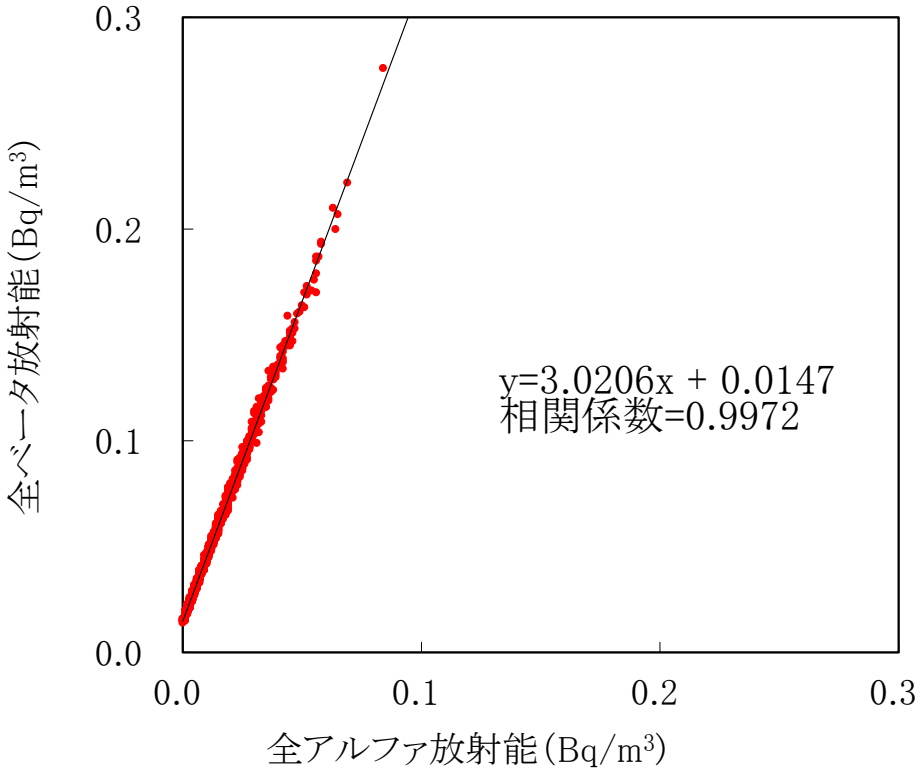
事故前：機器更新後の平成13年9月から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

図3．4　全アルファ放射能と全ベータ放射能の相関

No.1 MP-1



No.2 MP-7



３－３－２－（２）　環境試料中の核種濃度（ガンマ線放出核種及びトリチウム）

今年度の測定結果を表３．４，３．５に示す。
土壌，海底土から事故前の測定値の範囲を上回るセシウム-１３４及び大気浮遊じんと松葉の一部を除く試料からセシウム－１３７の人工放射性核種が検出されたが，年月の経過とともに減少傾向にある。
ベータ線放出核種については，海水のトリチウムが，検出されました。
ALPS処理水の海洋放出による変動の可能性が考えられますが、WHOの飲料水ガイドラインレベル（10,000Bq/L）を下回っています。

表３．４　環境試料中のガンマ線放出核種濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲			
					令和4年度～	平成26年度～	事故直後	事故前
大気浮遊じん	24	mBq/m^3	ｾｼｳﾑ-134	ND	ND	ND～0.066	ND～0.75	ND
			ｾｼｳﾑ-137	ND ～ 0.018	ND～0.037	ND～0.20	ND～1.1	ND
土壌	8	Bq/kg乾	ｾｼｳﾑ-134	5.8 ～ 26	ND～110	3.4～2,800	490～9,000	ND
			ｾｼｳﾑ-137	750 ～ 2,600	100～3,900	53～7,900	900～15,000	1.1～15
海水	12	Bq/L	ｾｼｳﾑ-134	ND	ND	ND～0.043	ND～0.36	ND
			ｾｼｳﾑ-137	0.005 ～ 0.020	0.005～0.025	ND～0.12	0.079～1.1	ND～0.003
海底土	8	Bq/kg乾	ｾｼｳﾑ-134	ND ～ 1.1	ND～1.8	1.5～74	50～200	ND
			ｾｼｳﾑ-137	27 ～ 110	27～89	39～220	120～360	ND～1.5
松葉	2	Bq/kg生	ｾｼｳﾑ-134	ND	ND	ND～120	60～17,000	ND
			ｾｼｳﾑ-137	ND ～ 11	4.3～16	8.1～330	130～23,000	ND～0.06
ほんだわら	1	Bq/kg生	ｾｼｳﾑ-134	ND	ND	ND	12～35	ND
			ｾｼｳﾑ-137	1.2	0.51～6.9	1.4～2.4	22～54	ND～0.06

（注）１．「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計である。
２．ＮＤは，検出限界未満。
３．「過去の測定値の範囲」は，
令和4年度～：令和4年度から前年度まで。
平成26年度～：平成26年度から令和3年度まで。
事故直後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成25年度まで。
事故前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

表３．５　環境試料中のトリチウム濃度測定結果

試料名	今年度試料数	単位	核種	今年度測定値	過去の測定値の範囲			
					令和4年度～	平成26年度～	事故直後	事故前
海水	12	Bq/L	ﾄﾘﾁｳﾑ	ND ～ 1.3	ND～3.3	ND	ND	ND

（注）１．「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計である。
２．ＮＤは，検出限界未満。
３．「過去の測定値の範囲」は，
令和4年度～：令和4年度から前年度まで。
平成26年度～：平成26年度から令和3年度まで。
事故直後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成25年度まで。
事故前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

３－３－２－（３）　環境試料中の放射性ストロンチウム濃度

今年度の測定結果を表３．６に示す。
土壌，海水から，ストロンチウム－９０の人工放射性核種が検出されたが，概ね横ばいから減少傾向にある。
なお，ストロンチウム－９０については，事故後，平成２４年度まで欠測。

表３．６　環境試料中の放射性ストロンチウム濃度測定結果

試　料　名	今年度試料数	単　位	核　種	今年度測定値	過去の測定値の範囲			
					令和4年度～	平成26年度～	事故直後	事故前
土　　壌	4	Bq/kg乾	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ-90	0.78　～　2.7	ND～2.8	ND～5.5	2.4～3.9	1.4～2.4
海　　水	3	Bq/L	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ-90	ND　～　0.0009	ND～0.002	ND～0.005	0.011～0.014	0.001～0.003
海　底　土	2	Bq/kg乾	ｽﾄﾛﾝﾁｳﾑ-90	ND	ND～0.29	ND～0.45	ND	ND～0.16

（注）１．「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計である。
２．ＮＤは，検出限界未満。
３．「過去の測定値の範囲」は，
令和4年度～：令和4年度から前年度まで。
平成26年度～：平成26年度から令和3年度まで。
事故直後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成25年度まで。
事故前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

３－３－２－（４）　環境試料中のプルトニウム放射能濃度

今年度の測定結果を表３．７に示す。
土壌から，プルトニウム－２３９＋２４０が検出され，事故後概ね横ばい傾向にある。
なお，プルトニウムについては事故後に測定を開始した。

表３．７　環境試料中のプルトニウム放射能濃度測定結果

試　料　名	今年度試料数	単　位	核　種	今年度測定値	過去の測定値の範囲			
					令和4年度～	平成26年度～	事故直後	事故前
土　　壌	4	Bq/kg乾	ﾌﾟﾙﾄﾆｳﾑ-238	ND	ND～0.01	ND	ND	ND～0.03
			ﾌﾟﾙﾄﾆｳﾑ-239+240	0.10　～　0.29	0.04～0.37	0.03～0.37	0.11～0.28	ND～0.44

（注）１．「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計である。
２．ＮＤは，検出限界未満。
３．「過去の測定値の範囲」は，
令和4年度～：令和4年度から前年度まで。
平成26年度～：平成26年度から令和3年度まで。
事故直後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成25年度まで。
事故前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）までに福島県が測定した値を抜粋。

３－３－２－（５）　環境試料中のアメリシウム放射能濃度

今年度の測定結果を表３．８に示す。
土壌から，アメリシウム－２４１が検出され，事故後概ね横ばい傾向にある。
なお，アメリシウムについては事故後に測定を開始した。

表３．８　環境試料中のアメリシウム放射能濃度測定結果

試　料　名	今年度試料数	単　位	核　種	今年度測定値	過去の測定値の範囲			
					令和4年度～	平成26年度～	事故直後	事故前
土　　壌	4	Bq/kg乾	ｱﾒﾘｼｳﾑ-241	0.07 ～ 0.12	ND～0.14	0.01～0.15	0.36～0.53	-

（注）１．「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計である。
２．ＮＤは，検出限界未満。
３．「過去の測定値の範囲」は，
令和4年度～：令和4年度から前年度まで。
平成26年度～：平成26年度から令和3年度まで。
事故直後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成25年度まで。
事故前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

３－３－２－（６）　環境試料中のキュリウム放射能濃度

今年度の測定結果を表３．９に示す。
土壌のキュリウム－２４４は検出されなかった。
なお，キュリウムについては事故後に測定を開始したが，測定開始以降，検出されていない。

表３．９　環境試料中のキュリウム放射能濃度測定結果

試　料　名	今年度試料数	単　位	核　種	今年度測定値	過去の測定値の範囲			
					令和4年度～	平成26年度～	事故直後	事故前
土　　壌	4	Bq/kg乾	ｷｭﾘｳﾑ-244	ND	ND	ND	ND	-

（注）１．「今年度試料数」は各採取地点毎の年間採取回数の合計である。
２．ＮＤは，検出限界未満。
３．「過去の測定値の範囲」は，
令和4年度～：令和4年度から前年度まで。
平成26年度～：平成26年度から令和3年度まで。
事故直後：平成22年度第4四半期（平成23年3月11日）から平成25年度まで。
事故前：平成13年度から平成22年度第4四半期（平成23年3月10日）まで。

３－４　原子力発電所周辺環境放射能測定値一覧表

３－４－１　空間放射線
３－４－１－(1)　空間線量率

単位：　線量率：ｎＧｙ／ｈ　測定時間：ｈ　　上段：平均値　中段：（最大値）　下段：（最小値）

No	測定地点名 ＼ 測定年月 ／ 測定項目	R7.4		R7.5		R7.6		R7.7		R7.8		R7.9		R7.10		R7.11		R7.12		R8.1		R8.2		R8.3	
		線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間	線量率	測定時間
1	ＭＰ－１	139 (157) (133)	713	136 (149) (129)	744	136 (146) (129)	720	139 (145) (129)	744	139 (159) (131)	744	140 (149) (135)	720	139 (156) (132)	744	140 (144) (132)	719	140 (162) (135)	744	141 (145) (138)	744	143 (150) (135)	672	139 (149) (134)	744
2	ＭＰ－２	122 (142) (116)	714	119 (133) (114)	744	120 (129) (114)	720	123 (128) (116)	744	122 (142) (115)	744	123 (130) (119)	720	122 (143) (115)	744	121 (126) (112)	719	122 (143) (118)	744	123 (127) (121)	744	124 (129) (116)	672	118 (127) (114)	744
3	ＭＰ－３	199 (216) (191)	720	195 (210) (183)	738	197 (208) (186)	720	205 (215) (189)	744	206 (222) (192)	743	208 (220) (199)	718	202 (228) (193)	743	204 (209) (190)	718	201 (218) (190)	744	202 (207) (197)	744	207 (214) (194)	672	199 (210) (191)	744
4	ＭＰ－４	187 (203) (180)	720	183 (197) (175)	738	184 (194) (175)	719	189 (198) (175)	744	189 (204) (179)	743	191 (202) (183)	720	186 (210) (179)	743	187 (193) (178)	719	184 (200) (178)	744	186 (190) (182)	744	189 (195) (176)	672	182 (194) (175)	744
5	ＭＰ－５	194 (210) (189)	720	193 (204) (188)	738	193 (201) (188)	720	196 (202) (187)	744	196 (208) (189)	744	196 (204) (191)	720	194 (215) (187)	744	194 (198) (187)	719	193 (207) (187)	744	193 (196) (190)	744	193 (197) (185)	672	189 (198) (185)	744
6	ＭＰ－６	112 (133) (108)	720	110 (123) (104)	738	109 (119) (105)	720	112 (118) (105)	744	113 (130) (107)	744	117 (126) (113)	720	115 (136) (108)	744	115 (119) (107)	720	116 (132) (111)	743	116 (121) (114)	744	118 (125) (111)	672	114 (126) (110)	744
7	ＭＰ－７	74 (97) (71)	720	73 (85) (70)	738	73 (82) (70)	720	74 (79) (69)	744	74 (92) (71)	744	75 (83) (73)	720	75 (97) (71)	744	75 (88) (71)	720	74 (95) (71)	743	74 (79) (72)	744	75 (81) (71)	672	73 (85) (70)	744

３－４－１－（２）　空間積算線量

（単位：ｍＧｙ）

No.	測定地点名 ＼ 測定項目 ＼ 測定期間	R7.4.3 ～ R7.7.3 ※ R7.4.3 ～ R7.7.8		R7.7.3 ～ R7.10.9 ※ R7.7.8 ～ R7.10.9		R7.10.9 ～ R8.1.8		R8.1.8 ～ R8.4.9	
		積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数	積算線量	測定日数
1	ＭＰ－１	0.39　(0.39)	91	0.42　(0.39)	98	0.38　(0.38)	91	0.39　(0.39)	91
2	ＭＰ－２	0.31　(0.31)	91	0.35　(0.32)	98	0.31　(0.31)	91	0.32　(0.32)	91
3	ＭＰ－３	0.44　(0.44)	91	0.50　(0.46)	98	0.44　(0.44)	91	0.45　(0.45)	91
4	ＭＰ－４	0.44　(0.43)	91	0.48　(0.44)	98	0.43　(0.43)	91	0.43　(0.43)	91
5	ＭＰ－５	0.47　(0.46)	91	0.51　(0.47)	98	0.45　(0.45)	91	0.47　(0.46)	91
6	ＭＰ－６	0.26　(0.26)	91	0.29　(0.27)	98	0.26　(0.26)	91	0.27　(0.27)	91
7	ＭＰ－７	0.17　(0.17)	91	0.19　(0.17)	98	0.17　(0.17)	91	0.17　(0.17)	91
8	富岡町小浜※	0.37　(0.35)	96	0.36　(0.35)	93	0.34　(0.34)	91	0.36　(0.36)	91
9	富岡町富岡中学校※	0.26　(0.24)	96	0.25　(0.24)	93	0.24　(0.24)	91	0.24　(0.24)	91
10	富岡町小浜中央※	0.31　(0.29)	96	0.32　(0.31)	93	0.30　(0.30)	91	0.30　(0.30)	91
11	富岡町上郡山清水※	0.38　(0.36)	96	0.40　(0.39)	93	0.35　(0.35)	91	0.37　(0.37)	91
12	富岡町上郡山上郡※	0.44　(0.41)	96	0.44　(0.43)	93	0.40　(0.40)	91	0.42　(0.42)	91
13	楢葉町上繁岡山根	0.37　(0.37)	91	0.42　(0.39)	98	0.37　(0.37)	91	0.38　(0.38)	91
14	楢葉町井出浄光東※	0.35　(0.33)	96	0.36　(0.35)	93	0.33　(0.33)	91	0.34　(0.34)	91
15	楢葉町下繁岡一丁坪※	0.35　(0.33)	96	0.36　(0.35)	93	0.34　(0.34)	91	0.34　(0.34)	91
16	富岡町上郡山岩井戸※	0.39　(0.37)	96	0.40　(0.39)	93	0.37　(0.37)	91	0.38　(0.38)	91
17	楢葉町井出八石	0.21　(0.21)	91	0.24　(0.22)	98	0.21　(0.21)	91	0.22　(0.22)	91
18	楢葉町楢葉中学校	0.18　(0.18)	91	0.20　(0.18)	98	0.18　(0.18)	91	0.18　(0.18)	91

注）　（　）内は，９０日換算値。
※作業の途中中断に伴い配備期間が異なる。

３－４－２　環境試料
３－４－２－(1)　大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能

単位：測定値:Bq/m³　測定時間:h　上段:平均値　下段:(最大値)

No.	測定地点名	測定項目＼測定年月	R7.4		5		6		7		8		9		10		11		12		R8.1		2		3	
			測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間	測定値	測定時間
1	ＭＰ－1	全アルファ放射能	0.008 (0.035)	720	0.007 (0.032)	744	0.013 (0.068)	678	0.021 (0.091)	744	0.013 (0.047)	744	0.013 (0.044)	720	0.010 (0.032)	744	0.012 (0.034)	720	0.009 (0.030)	744	0.008 (0.032)	744	0.012 (0.048)	672	0.011 (0.062)	744
		全ベータ放射能	0.041 (0.12)	720	0.037 (0.11)	744	0.054 (0.22)	678	0.076 (0.28)	744	0.054 (0.15)	744	0.054 (0.14)	720	0.045 (0.11)	744	0.054 (0.12)	720	0.043 (0.11)	744	0.038 (0.11)	744	0.051 (0.16)	672	0.050 (0.19)	744
2	ＭＰ－7	全アルファ放射能	0.008 (0.035)	720	0.007 (0.038)	744	0.013 (0.064)	678	0.020 (0.084)	744	0.014 (0.048)	744	0.015 (0.051)	720	0.011 (0.041)	744	0.016 (0.052)	720	0.011 (0.046)	744	0.009 (0.032)	744	0.014 (0.056)	672	0.012 (0.058)	744
		全ベータ放射能	0.040 (0.12)	720	0.036 (0.13)	744	0.053 (0.20)	678	0.074 (0.28)	744	0.056 (0.16)	744	0.059 (0.16)	720	0.049 (0.14)	744	0.062 (0.17)	720	0.049 (0.15)	744	0.040 (0.11)	744	0.056 (0.19)	672	0.051 (0.19)	744

３－４－２－（２）　大気浮遊じんの核種濃度

No.	採取地点名	採取時期	核種濃度 (mBq/m^3)										
			^{51}Cr	^{54}Mn	^{58}Co	^{59}Fe	^{60}Co	^{95}Zr	^{95}Nb	^{106}Ru	^{134}Cs	^{137}Cs	^{144}Ce
1	ＭＰ－1	R7. 4. 1 ～ R7. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND
		R7. 5. 1 ～ R7. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 6. 1 ～ R7. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 7. 1 ～ R7. 7.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 8. 1 ～ R7. 8.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 9. 1 ～ R7. 9.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7.10. 1 ～ R7.10.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND
		R7.11. 1 ～ R7.11.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7.12. 1 ～ R7.12.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 1. 1 ～ R8. 1.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND
		R8. 2. 1 ～ R8. 2.28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND
		R8. 3. 1 ～ R8. 3.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.016	ND
2	ＭＰ－７	R7. 4. 1 ～ R7. 4.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 5. 1 ～ R7. 5.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 6. 1 ～ R7. 6.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND
		R7. 7. 1 ～ R7. 7.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 8. 1 ～ R7. 8.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 9. 1 ～ R7. 9.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7.10. 1 ～ R7.10.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7.11. 1 ～ R7.11.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND
		R7.12. 1 ～ R7.12.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R8. 1. 1 ～ R8. 1.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND
		R8. 2. 1 ～ R8. 2.28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND
		R8. 3. 1 ～ R8. 3.31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.018	ND

注）「ND」は検出限界未満である。

３－４－２－（３）　環境試料中の核種濃度

試料名	種類又は部位	採取地点番号及び採取地点名		採取年月日	単位	核種濃度																	天然核種
						^{51}Cr	^{54}Mn	^{58}Co	^{59}Fe	^{60}Co	^{95}Zr	^{95}Nb	^{106}Ru	^{134}Cs	^{137}Cs	^{144}Ce	^{3}H	^{131}I	^{90}Sr	^{238}Pu	$^{239+240}$Pu	^{241}Am	^{244}Cm	^{40}K
土壌	表土	1	敷地内	R7. 5.16	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	22	1,900	ND	／	／	2.2	ND	0.10	0.07	ND	280
				R7.11.13		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	26	2,500	ND	／	／	／	／	／	／	／	350
		2	楢葉町波倉	R7. 5.16		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	24	2,200	ND	／	／	2.2	ND	0.20	0.09	ND	300
				R7.11.13		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	21	2,200	ND	／	／	／	／	／	／	／	290
		3	富岡町小浜	R7. 5.16		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	24	2,100	ND	／	／	2.7	ND	0.29	0.12	ND	440
				R7.11.13		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	26	2,600	ND	／	／	／	／	／	／	／	470
		4	富岡町小浜中央	R7. 5.16		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7.3	750	ND	／	／	0.78	ND	0.16	0.08	ND	360
				R7.11.13		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5.8	780	ND	／	／	／	／	／	／	／	420
海水	表面水	1	東京電力ホールディングス㈱福島第二原子力発電所 取水口	R7. 5.19	Bq/L	／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.020	ND	ND	／	0.0009	／	／	／	／	／
				R7. 8.22		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	1.3	／	／	／	／	／	／	／
				R7.11.25		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	ND	／	／	／	／	／	／	／
				R8. 3.23		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND	ND	／	／	／	／	／	／	／
		2	南放水口	R7. 5.23		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	ND	／	ND	／	／	／	／	／
				R7. 8.22		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.71	／	／	／	／	／	／	／
				R7.11.25		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.38	／	／	／	／	／	／	／
				R8. 3.23		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.019	ND	ND	／	／	／	／	／	／	／
		3	北放水口	R7. 5.23		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	／	ND	／	／	／	／	／
				R7. 8.22		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	0.91	／	／	／	／	／	／	／
				R7.11.25		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	0.50	／	／	／	／	／	／	／
				R8. 3.23		／	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.016	ND	ND	／	／	／	／	／	／	／
海底土	海砂又は海底土	1	東京電力ホールディングス㈱福島第二原子力発電所 南放水口	R7. 5.23	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	32	ND	／	／	ND	／	／	／	／	310
				R7. 8.22		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	34	ND	／	／	／	／	／	／	／	370
				R7.11.25		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	27	ND	／	／	／	／	／	／	／	250
				R8. 3.23		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	43	ND	／	／	／	／	／	／	／	240
		2	北放水口	R7. 5.23		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	48	ND	／	／	ND	／	／	／	／	480
				R7. 8.22		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.0	110	ND	／	／	／	／	／	／	／	570
				R7.11.25		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	42	ND	／	／	／	／	／	／	／	440
				R8. 3.23		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.1	95	ND	／	／	／	／	／	／	／	580
松葉	葉	1	敷地の南境界付近	R7.11.10	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	11	ND	／	ND	／	／	／	／	／	78
		2	敷地の北境界付近	R7.11.10		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	／	ND	／	／	／	／	／	91
ほんだわら	葉　茎	1	敷地港湾内	R7. 5.14	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.2	ND	／	／	／	／	／	／	／	1,300

注）　1　「ND」は検出限界未満，「／」は対象外核種。

　　2　上記の他，人工放射性核種は検出されなかった。

第4　参考資料

４－１　放射性気体廃棄物及び液体廃棄物の放出状況（令和７年度）

ア　福島第一原子力発電所測定分

（ア）　気体廃棄物の放出量（１～４号機）

１～４号機原子炉建屋及び１～３号機格納容器からの追加的放出量

（単位：Bq）

		粒子状物質		備　　考
		^{134}Ｃｓ	^{137}Ｃｓ	
１～４号機合計※1		５．１×１０^{7} ※2	７．１×１０^{7}	「福島第一原子力発電所　特定原子力施設に係る実施計画」において，「１～４号機原子炉建屋及び１～３号機原子炉格納容器以外からの追加的放出は，極めて少ないと考えられる」と評価されていることから，１～４号機における気体廃棄物の放出量としては，１～４号機原子炉建屋及び１～３号機格納容器から放出される^{134}Ｃｓ及び^{137}Ｃｓを対象としている。 月１回以上の試料採取により得られた放射能濃度（Bq/cm^{3}）に排気設備風量又は風量推定値（m^{3}/h）を乗ずることによって放出率（Bq/h）を求め，その放出率に報告対象期間の時間（h）を乗ずることによって，追加的放出量を求めている。
内訳	１号機	２．９×１０^{6} ※2	８．９×１０^{6}	
	２号機	９．３×１０^{5} ※2	７．３×１０^{5} ※3	
	３号機	３．４×１０^{7} ※2	５．１×１０^{7}	
	４号機	１．３×１０^{7} ※2	１．１×１０^{7} ※3	
年間放出管理目標値（年間）		４．３×１０^{9}	４．３×１０^{10}	

※1　四捨五入の関係より，「号機毎の合計値」と「１～４号機合計」が合わない場合が有る。

※2　全て^{134}Csの検出下限値を用いて放出量を算出している。

※3　全て^{137}Csの検出下限値を用いて放出量を算出している。

（イ）　放射性気体廃棄物の放出量（５・６号機及びその他）

（単位：Bq）

		全希ガス	^{131}I	全粒子状物質	^{3}H	備　　考
原子炉施設合計		検出されず	検出されず	１．１×１０^{5}	２．６×１０^{10}	放射性気体廃棄物の放出放射能量(Bq)は，排気中の放射性物質の濃度(Bq/cm^{3})に排気量(m^{3})を乗じて求めている。 なお，放射性物質が検出されない場合は，放出放射能量(Bq)の算出は実施せず”検出されず”と表示した。 検出されずとは，以下の濃度未満の場合をいう。 全希ガス：２×１０$^{-2}$(Bq/cm^{3}) ^{131}I：７×１０$^{-9}$(Bq/cm^{3}) 全粒子状物質：４×１０$^{-9}$(Bq/cm^{3}) (^{137}Csで代表した) ^{3}H：４×１０$^{-5}$(Bq/cm^{3})
排気筒別内訳	５，６号機共用排気筒	検出されず	検出されず	検出されず	２．０×１０^{10}	
	焼却炉建屋排気筒	―	検出されず	検出されず	検出されず	
	大型機器除染設備排気口※3 及び 汚染拡大防止ハウス排気口※2	―	―	１．０×１０^{5}	―	
	使用済燃料共用プール排気口	検出されず	検出されず	検出されず	５．５×１０^{9}	
	増設焼却炉建屋排気筒	―	検出されず	検出されず	検出されず	
	油処理装置排気口※4	―	―	２．０×１０^{3}	検出されず	
	分析・研究施設第１棟排気口	―	―	検出されず	―	
	固体廃棄物貯蔵庫第９棟排気口	―	―	検出されず	―	
	減容処理設備排気口	―	―	検出されず	―	
	固体廃棄物貯蔵庫第１０棟 排気口（10-A/B）	―	―	検出されず	―	
	固体廃棄物貯蔵庫第１０棟 排気口（10-C）	―	―	検出されず	―	
年間放出管理目標値※1		２．４×１０^{14}	８．４×１０^{7}	―	―	

※1　特定原子力施設に係わる実施計画値（５，６号機の合計値）。
※2　汚染拡大防止ハウス排気口は排気設備停止中。
※3　大型機器除染設備排気口から以下の期間で粒子状物質放出あり。
２０２５年４月１日から２０２５年４月８日において全β放射能が平均で３．３×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年４月８日から２０２５年７月１日において^{90}Ｓｒが平均で８．１×１０$^{-10}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年７月１日から２０２５年７月８日において全β放射能が平均で３．４×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年７月８日から２０２５年８月５日において^{90}Ｓｒが平均で１．１×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年８月５日から２０２５年８月１４日において全β放射能が平均で１．７×１０$^{-8}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年８月１４日から２０２５年８月１９日において全β放射能が平均で６．９×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年８月１９日から２０２５年８月２６日において全β放射能が平均で３．８×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。

２０２５年８月２６日から２０２５年９月２日において全β放射能が平均で７．３×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年９月２日から２０２５年９月９日において全β放射能が平均で１．６×１０$^{-8}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年９月９日から２０２５年１０月１日において^{90}Ｓｒが平均で１．１×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年１０月１日から２０２５年１０月７日において全β放射能が平均で４．５×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年１０月７日から２０２５年１０月２８日において^{90}Ｓｒが平均で８．８×１０$^{-10}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年１０月２８日から２０２５年１１月４日において全β放射能が平均で５．４×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年１１月１８日から２０２５年１１月２５日において全β放射能が平均で１．０×１０$^{-8}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年１１月２５日において全β放射能が平均で１．０×１０$^{-8}$（Bq/cm^{3}），^{137}Ｃｓが５．５×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年１２月１６日から２０２５年１２月２３日において^{90}Ｓｒが平均で８．８×１０$^{-10}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年１２月２３日から２０２５年１２月２９日において全β放射能が平均で４．９×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２６年１月５日から２０２６年１月１３日において全β放射能が平均で１．８×１０$^{-8}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２６年１月１３日から２０２６年２月１０日において^{90}Ｓｒが平均で１．８×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２６年２月１０日から２０２６年２月１７日において全β放射能が平均で４．７×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２６年２月１７日から２０２６年２月２４日において全β放射能が平均で６．７×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２６年２月２４日から２０２６年３月３日において全β放射能が平均で３．０×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２６年３月３日から２０２６年３月１１日において全β放射能が平均で３．３×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２６年３月１１日から２０２６年３月１７日において全β放射能が平均で６．６×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２６年３月１７日から２０２６年３月３１日において^{90}Ｓｒが平均で１．８×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
大型機器除染設備排気口は大型機器点検建屋内にあり，大型機器点検建屋排気口の測定結果は検出されておらず，環境への影響はない。

※4　油処理装置排気口から以下の期間で粒子状物質放出あり。
２０２５年４月８日から２０２５年６月２３日において^{90}Ｓｒが平均で２．６×１０$^{-10}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年６月２３日から２０２５年６月２６日において^{90}Ｓｒが平均で２．６×１０$^{-10}$（Bq/cm^{3}），全α放射能が平均で７．１×１０$^{-10}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年８月１９日において^{137}Ｃｓが平均で７．６×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年８月２１日から２０２５年８月２２日において^{137}Ｃｓが平均で５．８×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年１０月２１日から２０２５年１０月２７日において^{90}Ｓｒが平均で４．５×１０$^{-10}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年１０月３０日において^{90}Ｓｒが平均で４．５×１０$^{-10}$（Bq/cm^{3}），^{137}Ｃｓが平均で６．８×１０$^{-9}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
２０２５年１１月１０日から２０２５年１２月２５日において^{90}Ｓｒが平均で４．５×１０$^{-10}$（Bq/cm^{3}）で放出あり。
油処理装置は，運転期間が短いことから検出下限濃度を下げるため分析時間を延長し測定した。そのため，天然核種等も検出され放出量に含まれている。
当該期間の^{90}Ｓｒ測定において「発電用軽水型原子炉施設における放出放射性物質の測定に関する指針」に定める
測定下限濃度４．０×１０$^{-10}$（Bq/cm^{3}）を満足できなかった場合は検出したものとして放出量を評価した。

(ウ)放射性液体廃棄物の放出量

(単位：Bq)

		全核種（^{3}Hを除く）	核種別						
			^{51}Cr	^{54}Mn	^{59}Fe	^{58}Co	^{60}Co	^{131}I	^{134}Cs
原子炉施設合計		放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
排水口別内訳	1号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	2号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	3号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	4号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	5号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	6号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
年間放出管理目標値※1		7.4×10^{10}	―						

(続き)

		核種別					^{3}H	備考
		^{137}Cs	^{89}Sr	^{90}Sr	アルファ線を放出する放射性物質	ベータ線を放出する放射性物質		
原子炉施設合計		放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	・1～4号機排水口は，閉塞済み。
排水口別内訳	1号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	2号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	3号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	4号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	5号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	6号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
年間放出管理目標値※1		―					7.4×10^{12}※2	

※1　5号機排水口および6号機排水口の放出管理目標値を示す。
　　なお，現在，実施計画においては1号機排水口～4号機排水口の放出管理目標値を設定していない。

※2 トリチウムについては，放出管理の年間基準値を記載。

イ 福島第二原子力発電所測定分

（ア） 放射性気体廃棄物の放出量

（単位:Bq）

		全希ガス	^{131}I	^{133}I	全粒子状物質	^{3}H	備　考
原子炉施設合計		検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	5.0×10^{10}	
排気筒別内訳	1号機排気筒	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	6.4×10^{9}	
	2号機排気筒	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	1.2×10^{10}	放射性気体廃棄物の放出放射能量(Bq)は、排気中の放射性物質の濃度(Bq／cm^3)に排気量(m^3)を乗じて求めている。 なお、放射性物質が検出されない場合は、放出放射能量(Bq)の算出は実施せず”検出されず”と表示した。
	3号機排気筒	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	1.2×10^{10}	
	4号機排気筒	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	1.8×10^{10}	検出されずとは、以下の濃度未満の場合をいう。 全希ガス:2×10^{-2}(Bq／cm^3) ^{131}I:7×10^{-9}(Bq／cm^3) ^{133}I:7×10^{-8}(Bq／cm^3) 全粒子状物質:4×10^{-9}(Bq／cm^3) (^{60}Coで代表した) ^{3}H:4×10^{-5}(Bq／cm^3)
	廃棄物処理建屋換気系排気筒	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	2.1×10^{9}	
	サイトバンカ建屋排気口	―――	―――	―――	検出されず	―――	
	焼却設備排気筒	―――	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	
年間放出管理目標値		―――	―――	―――	―――	―――	

（イ）放射性液体廃棄物の放出量　　（単位：Bq）

		全核種（^{3}Hを除く）	核種別							
			^{51}Cr	^{54}Mn	^{59}Fe	^{58}Co	^{60}Co	^{131}I	^{134}Cs	^{137}Cs
原子炉施設合計		検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
排水口別内訳	1号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	2号機排水口	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
	3号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
	4号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし
年間放出管理目標値		1.2×10^{9}	――							

（続き）

		核種別				^{3}H	備考
		^{89}Sr	^{90}Sr	アルファ線を放出する放射性物質	ベータ線を放出する放射性物質		
原子炉施設合計		検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	3.3×10^{10}	放射性液体廃棄物の放出放射能量（Bq）は、排水中の放射性物質の濃度（Bq／cm^{3}）に排水量（m^{3}）を乗じて求めている。 なお、放射性物質が検出されない場合は、放出放射能量（Bq）の算出は実施せず”検出されず”と表示した。 検出されずとは、以下の濃度未満の場合をいう。 全核種（3Hを除く）：2×10^{-2}（Bq／cm^{3}）（^{60}Coで代表した） ^{89}Sr、^{90}Sr：7×10^{-4}（Bq／cm^{3}）（^{90}Srで代表した） アルファ線を放出する放射性物質：4×10^{-3}（Bq／cm^{3}） ベータ線を放出する放射性物質：4×10^{-2}（Bq／cm^{3}）
排水口別内訳	1号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	2号機排水口	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず	3.3×10^{10}	
	3号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
	4号機排水口	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	
年間放出管理目標値		――				1.4×10^{11} ※	

※トリチウムについては、放出管理の年間基準値を記載。

４－２ 試料採取時の付帯データ集

４－２－（１） 東京電力ホールディングス㈱福島第一原子力発電所測定分

ア 環境試料

（ア）海　　水

採取地点名	採取年月日	気温(℃)	水温(℃)	pH	Cℓ－(‰)
第一（発）取水口	R7. 5. 8	16.3	13.1	8.1	18.0
	R7. 8.20	27.2	22.9	8.1	18.6
	R7.11.12	10.0	15.0	8.2	18.5
	R8. 2.18	5.4	7.6	8.1	19.1
第一（発）南放水口	R7. 5. 8	18.0	13.8	8.2	14.7
	R7. 8.20	27.4	24.1	8.1	18.6
	R7.11.12	10.6	15.7	8.2	16.9
	R8. 2.18	2.7	8.3	8.0	19.1
第一（発）北放水口	R7. 5. 8	20.0	13.6	8.1	18.1
	R7. 7.30 再採取	26.5	19.8	8.0	18.6
	R7. 8.20	30.4	23.9	8.1	18.5
	R7.11.12	8.0	15.0	8.2	18.2
	R8. 2.18	5.0	8.1	8.1	19.0

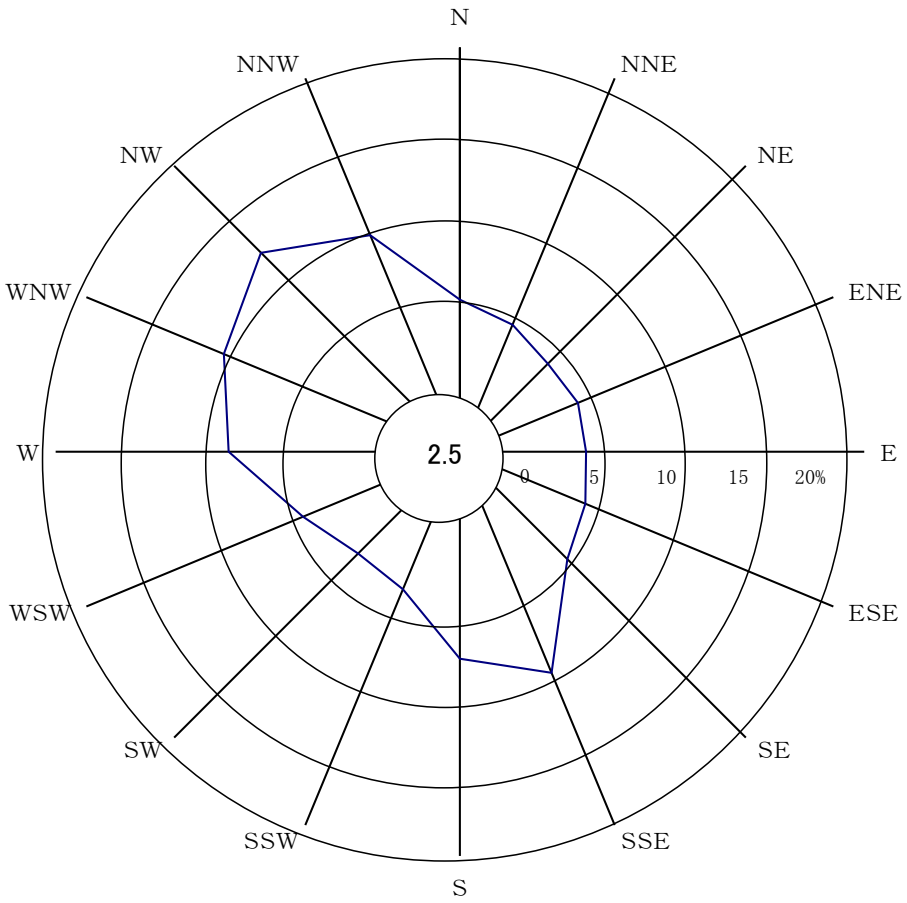
イ 気象測定結果

（ア） 風向，風速，気温，降雨雪量，大気安定度の月別記録

測定項目 / 測定年月	風向※ (最多)	風速(m／sec) ※		気　温(℃)			降 雨 雪		大 気 安定度 (最多)
		最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	
令和7年　4月	SSE	21.9	4.1	25.6	−0.7	11.8	171.5	13	D
5月	SSE	15.8	4.0	29.8	4.9	16.0	226.0	12	D
6月	SSE	15.8	3.6	34.2	8.1	22.2	81.5	10	F
7月	SSE	14.4	3.5	34.2	16.5	25.9	55.5	8	F
8月	SSE	25.0	3.1	36.9	20.1	26.9	95.5	9	F
9月	SSE	10.4	3.5	37.6	14.1	23.8	86.0	10	F
10月	NW	16.0	3.9	27.4	5.4	16.2	215.5	18	D
11月	W	16.3	3.8	22.5	0.0	10.5	67.0	1	F
12月	W	19.0	4.4	22.6	−4.3	6.5	54.5	7	F
令和8年　1月	W	16.2	4.5	15.5	−6.8	2.5	0.0	0	F
2月	WNW	17.1	4.6	19.4	−5.4	5.5	25.5	2	F
3月	NW	15.2	4.3	18.7	−3.1	6.5	53.5	7	F

※ 風向・風速は排気筒高さでの測定値を示す。

（イ） 風 配 図



（注）　小円内の数字は静穏の頻度(%)

４－２－（２） 東京電力ホールディングス㈱福島第二原子力発電所測定分

ア 環境試料

（ア）海　　水

採取地点名	採取年月日	気温（℃）	水温（℃）	ｐＨ	Cl^-（‰）
第二（発）取水口	R7. 5.19	13.6	12.0	8.2	18.6
	R7. 8.22	29.3	25.8	8.1	18.6
	R7.11.25	15.0	14.6	8.2	18.8
	R8. 3.23	11.6	10.4	8.1	18.9
第二（発）南放水口	R7. 5.23	18.7	17.6	8.1	18.2
	R7. 8.22	29.7	26.6	8.1	18.6
	R7.11.25	13.6	14.3	8.1	18.9
	R8. 3.23	12.4	10.4	8.1	18.6
第二（発）北放水口	R7. 5.23	18.4	17.0	8.3	17.9
	R7. 8.22	31.7	25.7	8.1	18.6
	R7.11.25	16.5	14.6	8.1	18.8
	R8. 3.23	14.0	10.7	8.1	18.6

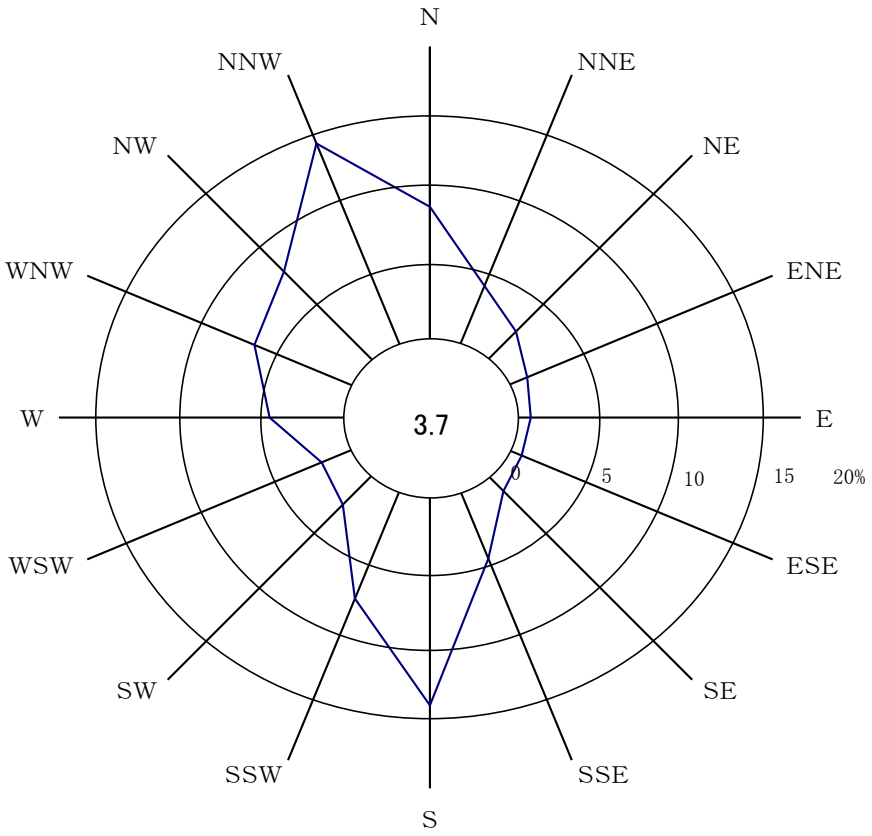
イ 気象測定結果

（ア） 風向，風速，気温，降雨雪量，大気安定度の月別記録

測定項目 / 測定年月		風向※	風速(m／sec) ※		気　温(℃)			降 雨 雪		大 気 安定度
		（最多）	最大値	平均値	最高値	最低値	平均値	量(mm)	日 数	（最多）
令和7年	4月	N	9.0	5.3	25.6	0.7	11.7	199.0	13	D
	5月	S	10.8	5.0	29.1	6.0	15.5	241.5	14	D
	6月	S	9.1	4.8	31.1	9.1	21.4	79.0	11	D
	7月	S	11.2	4.7	33.0	16.8	24.9	50.0	6	D
	8月	S	8.0	3.4	35.0	20.9	26.2	108.5	11	D
	9月	S	6.8	4.2	33.0	15.5	23.5	35.5	12	D
	10月	NNW	7.9	4.7	26.9	6.6	16.3	225.5	16	D
	11月	NW	8.1	4.3	22.7	0.5	11.2	71.5	2	F
	12月	NNW	8.2	5.3	20.4	-2.1	7.2	67.0	8	F
令和8年	1月	W	8.8	5.2	15.5	-4.4	3.3	0.0	0	F
	2月	NNW	10.0	4.9	18.7	-4.8	5.9	30.5	2	D
	3月	NNW	8.3	4.8	18.0	-2.1	6.9	59.0	9	F

※ 風向・風速は排気筒高さでの測定値を示す。

(イ) 風 配 図



（注） 小円内の数字は静穏の頻度(%)

４－３　環境試料測定日

４－３－１　東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所測定分

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日	
			全α・β放射能	γ
大気浮遊じん	ＭＰ－３	R7. 4. 1～R7. 4.30	連続	R7. 5.15
		R7. 5. 1～R7. 5.31	連続	R7. 6.26
		R7. 6. 1～R7. 6.30	連続	R7. 8.12
		R7. 7. 1～R7. 7.31	連続	R7. 9.25
		R7. 8. 1～R7. 8.31	連続	R7. 9.26
		R7. 9. 1～R7. 9.30	連続	R7.10.27
		R7.10. 1～R7.10.31	連続	R7.12. 4
		R7.11. 1～R7.11.30	連続	R7.12.25
		R7.12. 1～R7.12.31	連続	R8. 1.28
		R8. 1. 1～R8. 1.31	連続	R8. 2.10
		R8. 2. 1～R8. 2.28	連続	R8. 4. 1
		R8. 3. 1～R8. 3.31	連続	R8. 5. 5
	ＭＰ－８	R7. 4. 1～R7. 4.30	連続	R7. 5.15
		R7. 5. 1～R7. 5.31	連続	R7. 6.26
		R7. 6. 1～R7. 6.30	連続	R7. 8. 9
		R7. 7. 1～R7. 7.31	連続	R7. 9.27
		R7. 8. 1～R7. 8.31	連続	R7. 9.28
		R7. 9. 1～R7. 9.30	連続	R7.10.28
		R7.10. 1～R7.10.31	連続	R7.12. 4
		R7.11. 1～R7.11.30	連続	R7.12.25
		R7.12. 1～R7.12.31	連続	R8. 1.29
		R8. 1. 1～R8. 1.31	連続	R8. 2.25
		R8. 2. 1～R8. 2.28	連続	R8. 4. 7
		R8. 3. 1～R8. 3.31	連続	R8. 4.28

（注）「／」は測定対象外。

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日						
			γ	^{3}H	^{90}Sr	^{238}Pu	$^{239+240}$Pu	^{241}Am	^{244}Cm
土壌	敷地内	R7. 5.15	R7. 5.26		R7. 7. 1	R7.11.20	R7.11.20	R8. 1. 8	R8. 1. 8
		R7.11.18	R7.12. 5						
	大熊町下野上	R7. 5.15	R7. 5.26		R7. 7. 1	R7.11.18	R7.11.18	R8. 1. 8	R8. 1. 8
		R7.11.18	R7.12. 5						
	大熊町熊川	R7. 5.15	R7. 5.27		R7. 7.11	R7.11.17	R7.11.17	R8. 1. 5	R8. 1. 5
		R7.11.18	R7.12. 5						
	双葉町郡山	R7. 5.15	R7. 5.26		R7. 7.11	R7.11.17	R7.11.17	R8. 1. 5	R8. 1. 5
		R7.11.18	R7.12. 5						
海水	取水口	R7. 5. 8	R7. 6. 8	R7. 5.16	R7. 7. 1				
		R7. 8.20	R7. 9.20	R7. 9. 1					
		R7.11.12	R7.12.17	R7.11.22					
		R8. 2.18	R8. 3.19	R8. 2.27					
	南放水口	R7. 5. 8	R7. 6. 8	R7. 5.17	R7. 7.11				
		R7. 8.20	R7. 9.24	R7. 9. 2					
		R7.11.12	R7.12.17	R7.12. 2					
		R8. 2.18	R8. 3.17	R8. 2.26					
	北放水口	R7. 5. 8	R7. 5.25	R7. 5.19	R7. 7.11				
		R7. 7.30 再採取	R7. 8.13						
		R7. 8.20	R7. 9.17	R7. 9. 1					
		R7.11.12	R7.12.15	R7.11.22					
		R8. 2.18	R8. 3.11	R8. 2.26					
海底土	南放水口	R7. 5. 8	R7. 5.19		R7. 6.23				
		R7. 8.20	R7. 9.10						
		R7.11.12	R7.11.24						
		R8. 2.18	R8. 2.25						
	北放水口	R7. 5. 8	R7. 5.19		R7. 6.23				
		R7. 8.20	R7. 9.12						
		R7.11.12	R7.11.21						
		R8. 2.18	R8. 2.26						
松葉	ＭＰ－３付近	R7.11.13	R7.11.26						
	環境管理棟付近	R7.11.13	R7.11.26						
ほんだわら	港湾内	R7. 5.14	R7. 5.27						

（注）「／」は測定対象外。

４－３－２　東京電力ホールディングス（株）福島第二原子力発電所測定分

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日	
			全α・β放射能	γ
大気浮遊じん	ＭＰ－１	R7. 4. 1～R7. 4.30	連続	R7. 5.21
		R7. 5. 1～R7. 5.31	連続	R7. 6.23
		R7. 6. 1～R7. 6.30	連続	R7. 7.21
		R7. 7. 1～R7. 7.31	連続	R7. 8.28
		R7. 8. 1～R7. 8.31	連続	R7. 9.30
		R7. 9. 1～R7. 9.30	連続	R7.10.26
		R7.10. 1～R7.10.31	連続	R7.11.26
		R7.11. 1～R7.11.30	連続	R7.12.30
		R7.12. 1～R7.12.31	連続	R8. 1.26
		R8. 1. 1～R8. 1.31	連続	R8. 2.23
		R8. 2. 1～R8. 2.28	連続	R8. 3.16
		R8. 3. 1～R8. 3.31	連続	R8. 4.16
	ＭＰ－７	R7. 4. 1～R7. 4.30	連続	R7. 5.22
		R7. 5. 1～R7. 5.31	連続	R7. 6.22
		R7. 6. 1～R7. 6.30	連続	R7. 7.23
		R7. 7. 1～R7. 7.31	連続	R7. 9. 2
		R7. 8. 1～R7. 8.31	連続	R7. 9.30
		R7. 9. 1～R7. 9.30	連続	R7.10.25
		R7.10. 1～R7.10.31	連続	R7.11.25
		R7.11. 1～R7.11.30	連続	R7.12.29
		R7.12. 1～R7.12.31	連続	R8. 1.27
		R8. 1. 1～R8. 1.31	連続	R8. 2.24
		R8. 2. 1～R8. 2.28	連続	R8. 3.12
		R8. 3. 1～R8. 3.31	連続	R8. 4.16

（注）　「／」：測定対象外核種

試料名	採取地点名	採取年月日	測定年月日						
			γ	^{3}H	^{90}Sr	^{238}Pu	$^{239+240}$Pu	^{241}Am	^{244}Cm
土壌	敷地内	R7. 5.16	R7. 6.12		R7. 7.26	R7.11.20	R7.11.20	R8. 1. 6	R8. 1. 6
		R7.11.13	R7.12.23						
	楢葉町波倉	R7. 5.16	R7. 6.12		R7. 7.26	R7.11.20	R7.11.20	R8. 1. 6	R8. 1. 6
		R7.11.13	R7.12.23						
	富岡町小浜	R7. 5.16	R7. 6.16		R7. 7.26	R7.11.18	R7.11.18	R8. 1. 5	R8. 1. 5
		R7.11.13	R7.12.23						
	富岡町小浜中央	R7. 5.16	R7. 6.16		R7. 7.26	R7.11.18	R7.11.18	R8. 1. 5	R8. 1. 5
		R7.11.13	R7.12.23						
海水	取水口	R7. 5.19	R7. 7. 7	R7. 6. 5	R7. 8. 1				
		R7. 8.22	R7. 9.29	R7. 9. 6					
		R7.11.25	R7.12.30	R7.12. 6					
		R8. 3.23	R8. 4.21	R8. 4. 7					
	南放水口	R7. 5.23	R7. 7.15	R7. 6. 6	R7. 7.22				
		R7. 8.22	R7. 9.30	R7. 9. 7					
		R7.11.25	R8. 1. 8	R7.12. 7					
		R8. 3.23	R8. 4.14	R8. 4. 5					
	北放水口	R7. 5.23	R7. 7. 1	R7. 6. 5	R7. 7.22				
		R7. 8.22	R7. 9.29	R7. 9. 6					
		R7.11.25	R8. 1. 6	R7.12. 6					
		R8. 3.23	R8. 4.13	R8. 4. 4					
海底土	南放水口	R7. 5.23	R7. 6.19		R7. 7.22				
		R7. 8.22	R7. 9.24						
		R7.11.25	R7. 12.8						
		R8. 3.23	R8. 4. 2						
	北放水口	R7. 5.23	R7. 6. 3		R7. 7.22				
		R7. 8.22	R7. 9.23						
		R7.11.25	R7.12.22						
		R8. 3.23	R8. 4. 9						
松葉	敷地の南境界付近	R7.11.10	R7.11.28						
	敷地の北境界付近	R7.11.10	R7.11.28						
ほんだわら	敷地港湾内	R7. 5.14	R7. 6. 5						

４－４　環境試料の核種濃度の検出限界について
４－４－１　東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所測定分

区分名	試料名（部位）	単位	測定容器	前処理方法	測定時間	^{51}Cr	^{54}Mn	^{58}Co	^{59}Fe	^{60}Co	^{95}Zr	^{95}Nb	^{106}Ru	^{134}Cs	^{137}Cs	^{144}Ce	^{3}H	^{131}I	^{90}Sr	^{238}Pu	$^{239+240}Pu$	^{241}Am	^{244}Cm	^{40}K
大気浮遊じん	大気浮遊じん	mBq/m^3	U8容器	1ヶ月分	80,000秒	0.58	0.062	0.014	0.037	0.009	0.024	0.018	0.13	0.010	0.016	0.10	／	／	／	／	／	／	／	／
土壌	表土	Bq/kg乾	U8容器	乾土	1,000秒	2,700	272	36	65	25	61	35	1,400	45	180	1,000	／	／	／	／	／	／	／	200
					3,600秒	510	12	6.0	14	6.2	15	7.8	270	9.0	30	190	／	／	0.22	0.012	0.012	0.012	0.011	57
海水	表面水	Bq/L	U8容器	生	80,000秒	／	0.002	0.002	0.004	0.002	0.003	0.002	0.018	0.002	0.016	0.017	0.40	／	0.0006	／	／	／	／	／
海底土	海砂又は海底土	Bq/kg乾	U8容器	乾土	80,000秒	11	0.58	0.66	1.8	0.63	1.3	0.93	6.3	0.72	0.69	5.0	／	／	0.22	／	／	／	／	6.2
松葉	葉	Bq/kg生	U8容器	生	10,000秒	49	6.2	4.0	7.9	4.6	7.3	5.1	36	5.4	3.8	27	／	14	／	／	／	／	／	49
ほんだわら	葉茎	Bq/kg生	U8容器	生	80,000秒	2.6	0.22	0.21	0.52	0.22	0.41	0.25	1.6	0.27	0.19	1.2	／	／	／	／	／	／	／	2.4

（注）１．「／」は対象核種外である。
　　２．検出限界値については，令和７年度の値の中で最も高い数値を掲げた。

４－４－２　東京電力ホールディングス㈱福島第二原子力発電所測定分

福島第二原子力発電所

区分名	試料名（部位）	単位	測定容器	前処理方法	測定時間	^{51}Cr	^{54}Mn	^{58}Co	^{59}Fe	^{60}Co	^{95}Zr	^{95}Nb	^{106}Ru	^{134}Cs	^{137}Cs	^{144}Ce	^{3}H	^{131}I	^{90}Sr	^{238}Pu	$^{239+240}$Pu	^{241}Am	^{244}Cm	^{40}K
大気浮遊じん	大気浮遊じん	mBq/m^3	U8容器	1ヶ月分	80,000秒	0.21	0.013	0.010	0.029	0.008	0.028	0.014	0.077	0.009	0.009	0.080	／	／	／	／	／	／	／	／
土壌	表土	Bq/kg乾	U8容器	乾土	3,600秒	150	4.1	4.0	10	3.4	9.8	6.9	50	4.4	5.8	37	／	／	0.21	0.012	0.012	0.013	0.012	32
海水	表面水	Bq/L	U8容器	生	80,000秒	／	0.002	0.002	0.007	0.002	0.005	0.004	0.018	0.002	0.002	0.017	0.50	／	0.0006	／	／	／	／	／
海底土	海砂または海底土	Bq/kg乾	U8容器	乾土	80,000秒	15	0.68	0.83	2.1	0.69	1.7	1.3	6.5	0.88	0.74	5.2	／	／	0.19	／	／	／	／	7.3
松葉	葉	Bq/kg生	U8容器	生	10,000秒	61	4.2	5.3	11	5.2	8.1	5.6	37	5.1	5.1	28	／	22	／	／	／	／	／	58
ほんだわら	葉茎	Bq/kg生	U8容器	生	80,000秒	5.4	0.48	0.53	1.5	0.54	1.1	0.62	3.3	0.56	0.41	2.4	／	／	／	／	／	／	／	4.3

（注）　1　「／」は対象外核種である。
　　2　検出限界については，令和7年度の値の中で，最も高い数値を掲げた。

４－５　空間線量率等の変動グラフ
令和７年度

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー

福 島 第 一 原 子 力 発 電 所

福 島 第 二 原 子 力 発 電 所

目次

空間線量率

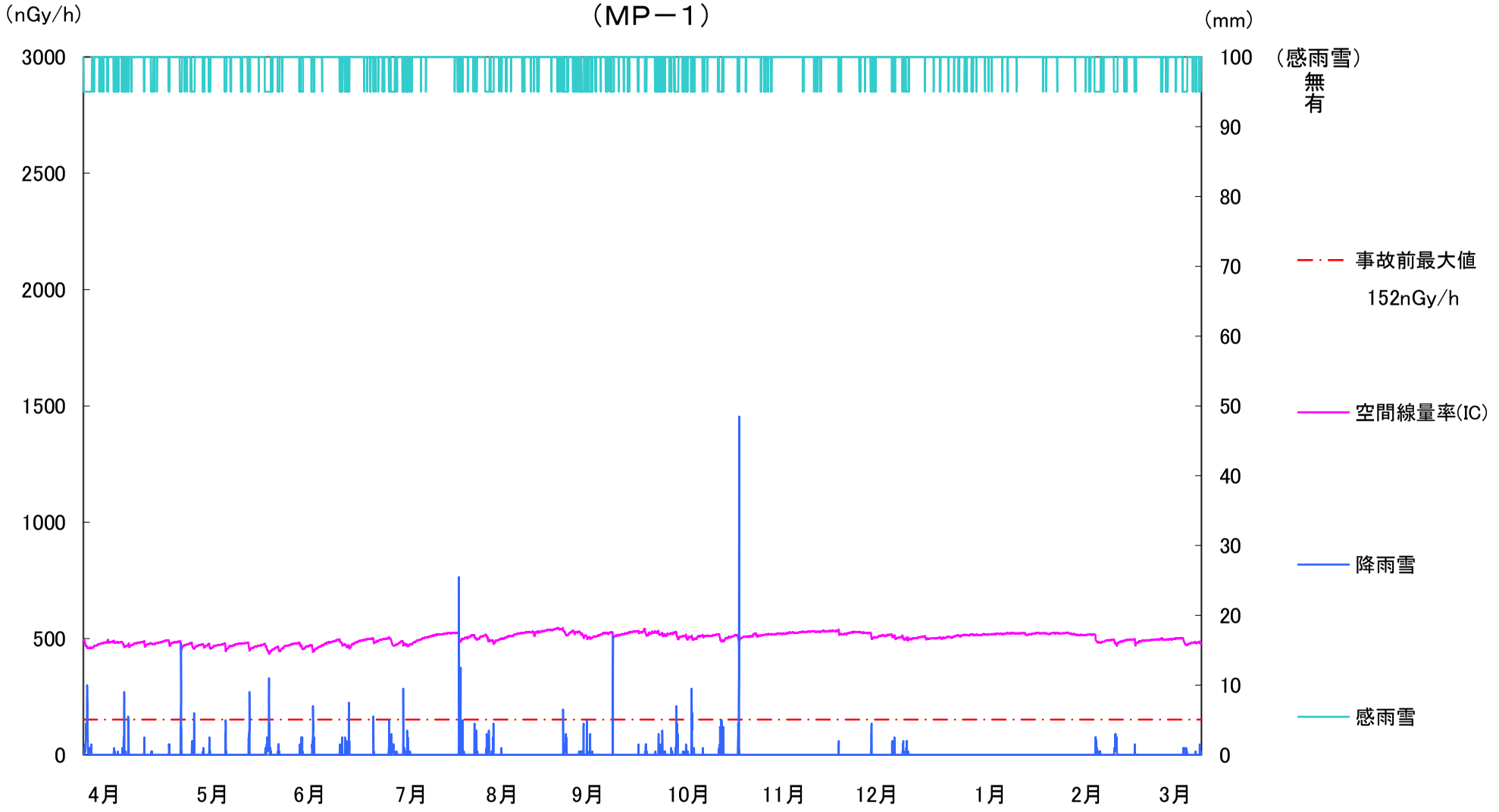
1　福島第一原子力発電所 ＭＰ－１ ・・・57
2　福島第一原子力発電所 ＭＰ－２ ・・・58
3　福島第一原子力発電所 ＭＰ－３ ・・・59
4　福島第一原子力発電所 ＭＰ－４ ・・・60
5　福島第一原子力発電所 ＭＰ－５ ・・・61
6　福島第一原子力発電所 ＭＰ－６ ・・・62
7　福島第一原子力発電所 ＭＰ－７ ・・・63
8　福島第一原子力発電所 ＭＰ－８ ・・・64
9　福島第二原子力発電所 ＭＰ－１ ・・・65
10　福島第二原子力発電所 ＭＰ－２ ・・・66
11　福島第二原子力発電所 ＭＰ－３ ・・・67
12　福島第二原子力発電所 ＭＰ－４ ・・・68
13　福島第二原子力発電所 ＭＰ－５ ・・・69
14　福島第二原子力発電所 ＭＰ－６ ・・・70
15　福島第二原子力発電所 ＭＰ－７ ・・・71

大気浮遊じん（推移）

1　福島第一原子力発電所 ＭＰ－３・・・ 72
2　福島第一原子力発電所 ＭＰ－８・・・ 73
3　福島第二原子力発電所 ＭＰ－１ ・・・74
4　福島第二原子力発電所 ＭＰ－７ ・・・75

空間線量率の変動グラフ

福島第一原子力発電所

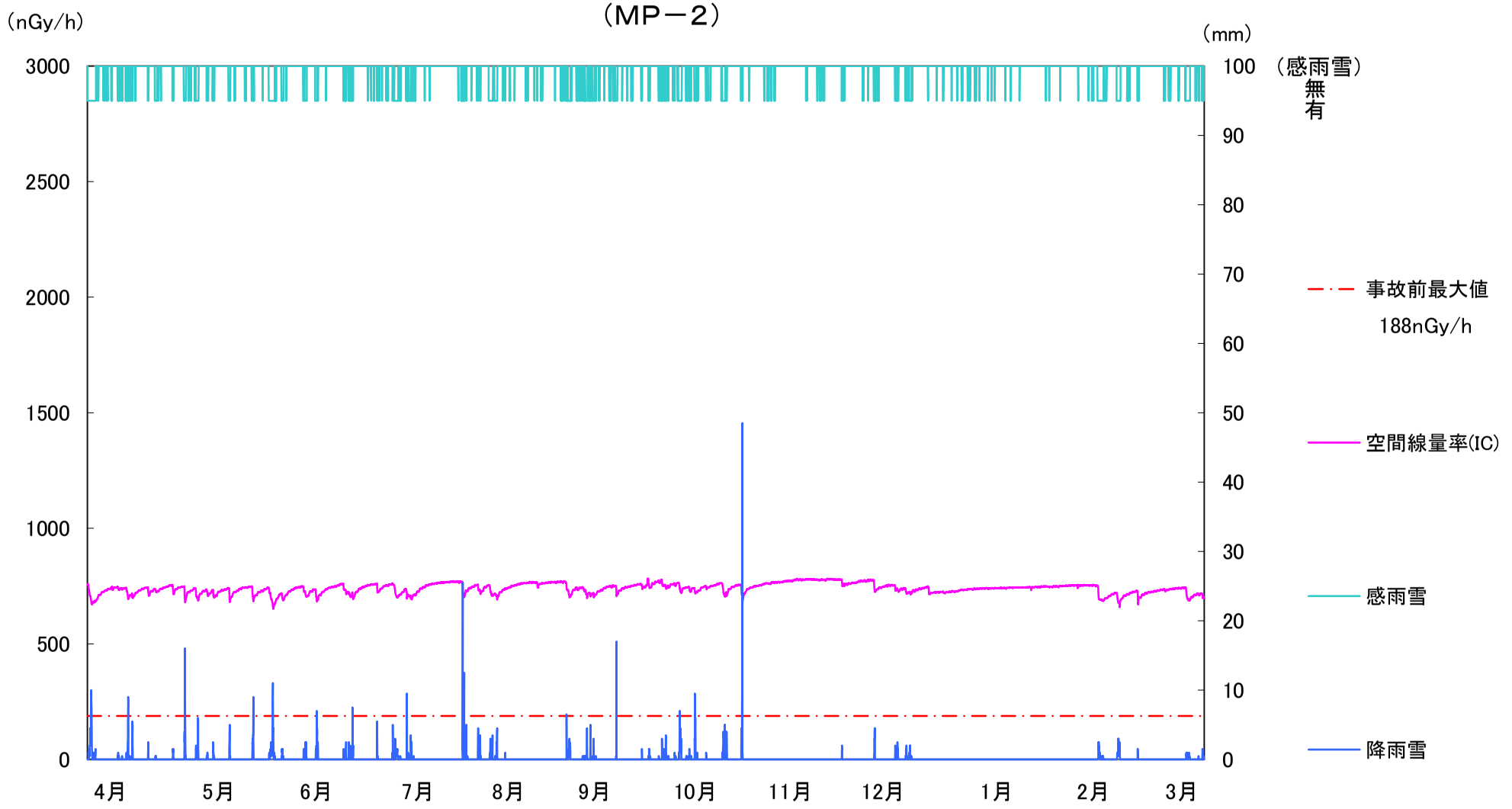


点検及び定期保守作業に伴う欠測：6月4日，8月22日，8月28日
固定型発電機の設置による電源停止に伴う欠測：2月18日
欠測時には，代替測定器にて測定し，指示値に異常がないことを確認している。
周辺環境線量率のバックグランドが事故の影響で上昇したことにより，測定を電離箱式検出器（IC）にて行っている。

福島第一原子力発電所

空間線量率の変動グラフ

（MP－2）

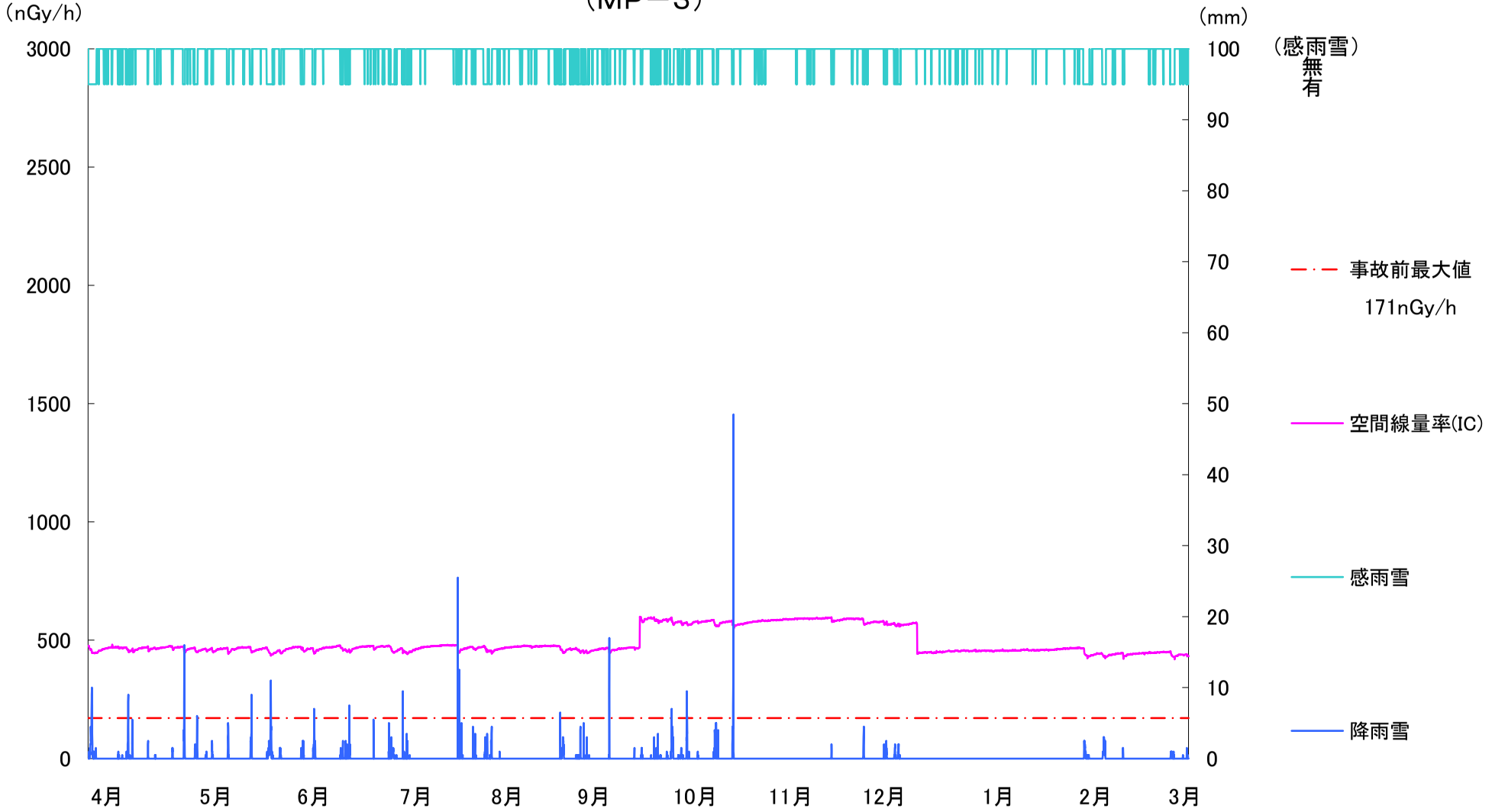


点検及び定期保守作業に伴う欠測：6月9日，8月26日，8月28日
固定型発電機の設置による電源停止に伴う欠測：2月20日
欠測時には，代替測定器にて測定し，指示値に異常がないことを確認している。
周辺環境線量率のバックグランドが事故の影響で上昇したことにより，測定を電離箱式検出器（IC）にて行っている。

福島第一原子力発電所

空間線量率の変動グラフ

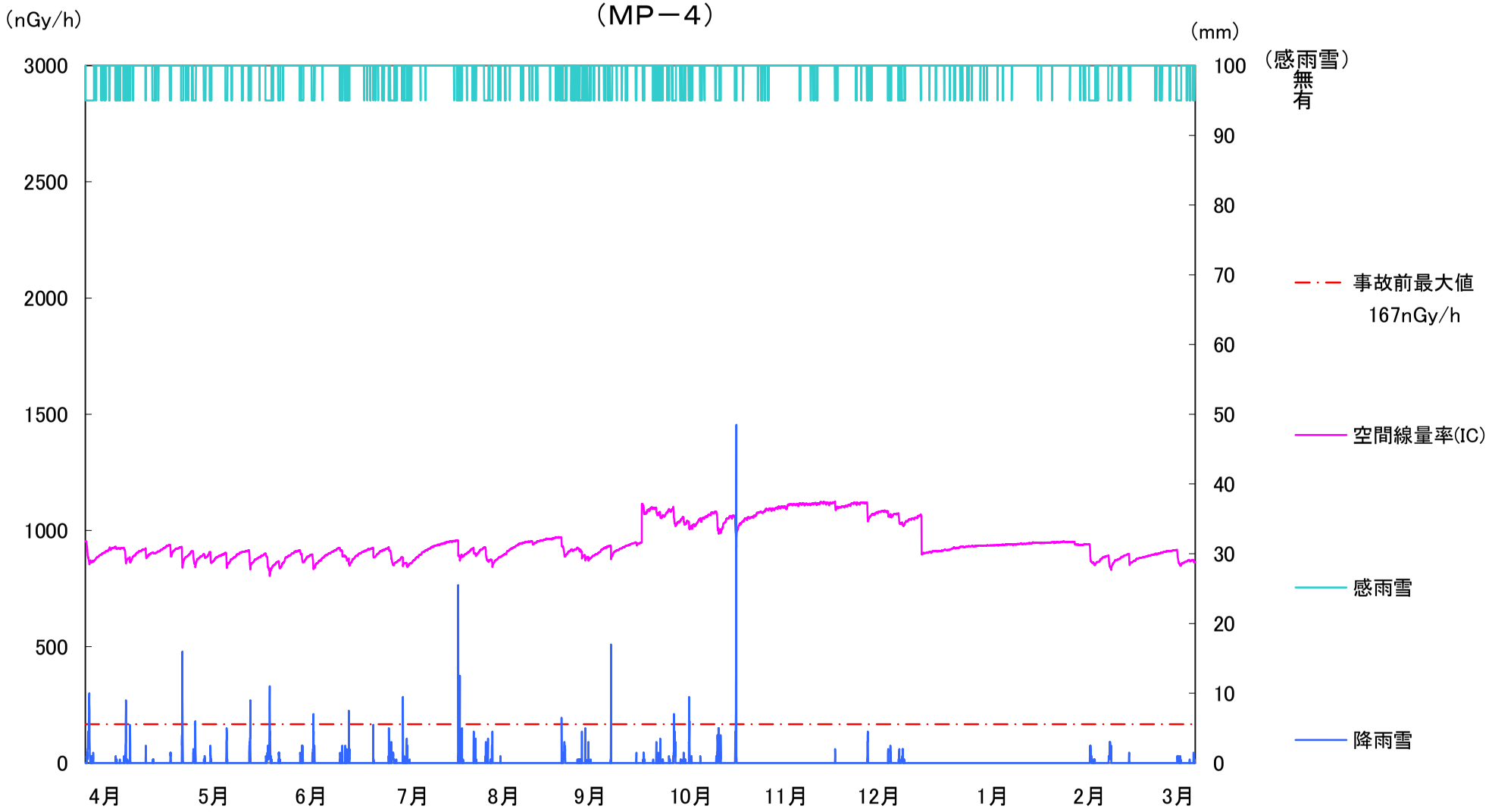
（MP－3）



点検及び定期保守作業に伴う欠測：5月9日，7月8日，7月25日，8月28日
欠測時には，代替測定器にて測定し，指示値に異常がないことを確認している。
周辺環境線量率のバックグランドが事故の影響で上昇したことにより，測定を電離箱式検出器（IC）にて行っている。

空間線量率の変動グラフ

（MP－4）

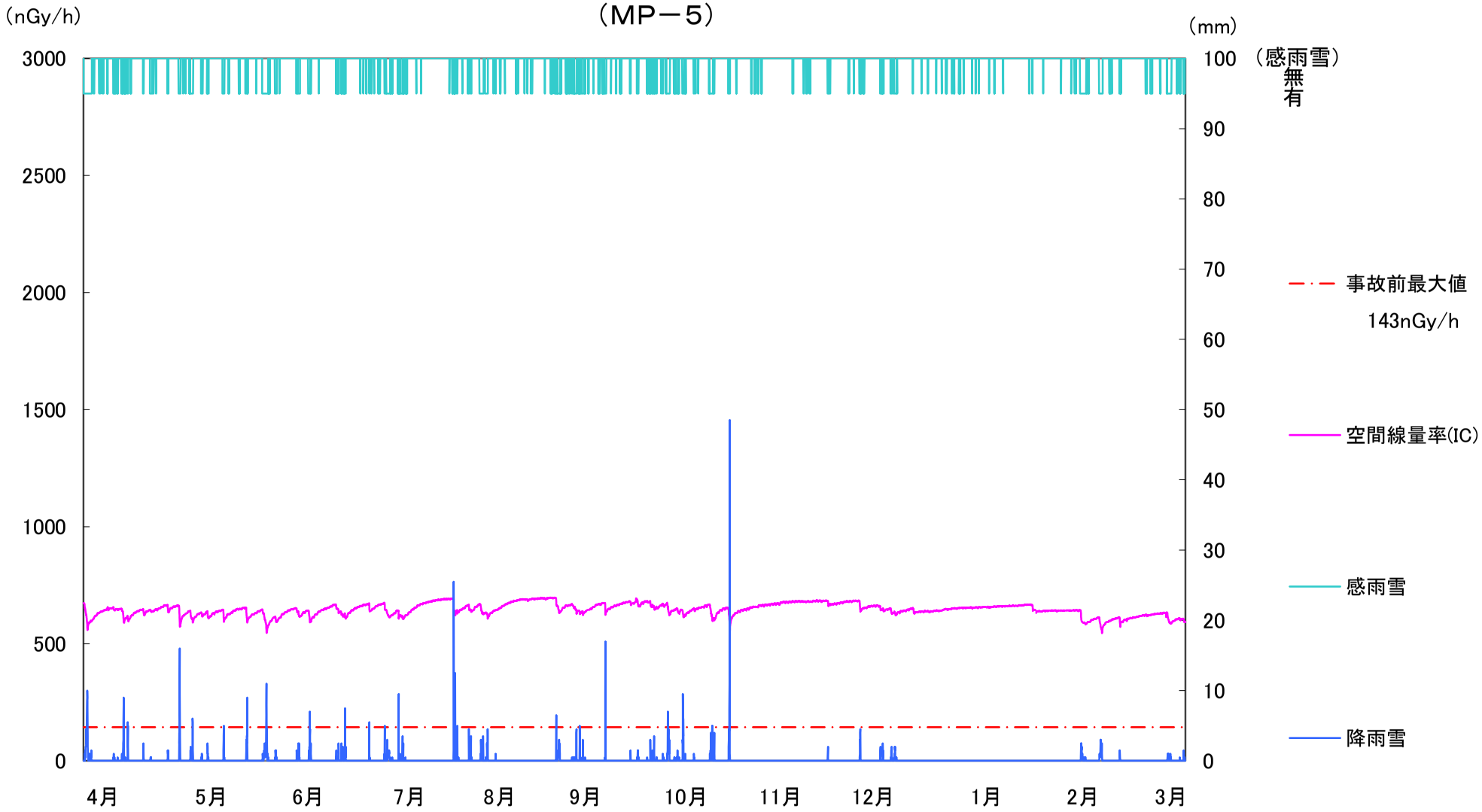


点検及び定期保守作業に伴う欠測：5月13日，7月8日，7月25日，8月28日
固定型発電機の設置による電源停止に伴う欠測：2月22日
欠測時には，代替測定器にて測定し，指示値に異常がないことを確認している。
周辺環境線量率のバックグランドが事故の影響で上昇したことにより，測定を電離箱式検出器（IC）にて行っている。

福島第一原子力発電所

空間線量率の変動グラフ

（MP－5）

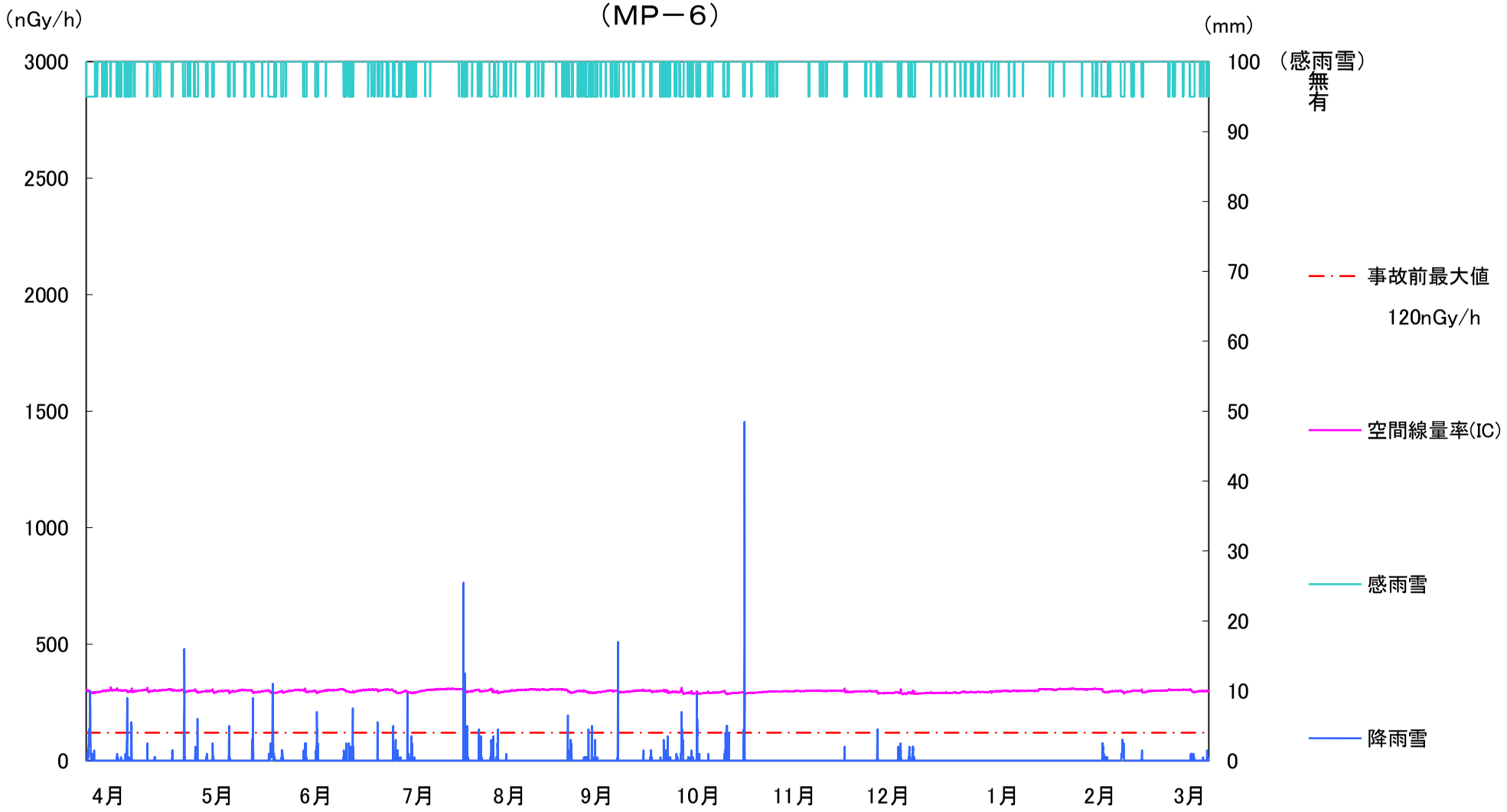


点検及び定期保守作業に伴う欠測：5月14日，7月16日，2月10日
固定型発電機の設置による電源停止に伴う欠測：2月16日，2月26日
欠測時には，代替測定器にて測定し，指示値に異常がないことを確認している。
周辺環境線量率のバックグランドが事故の影響で上昇したことにより，測定を電離箱式検出器（IC）にて行っている。

福島第一原子力発電所

空間線量率の変動グラフ

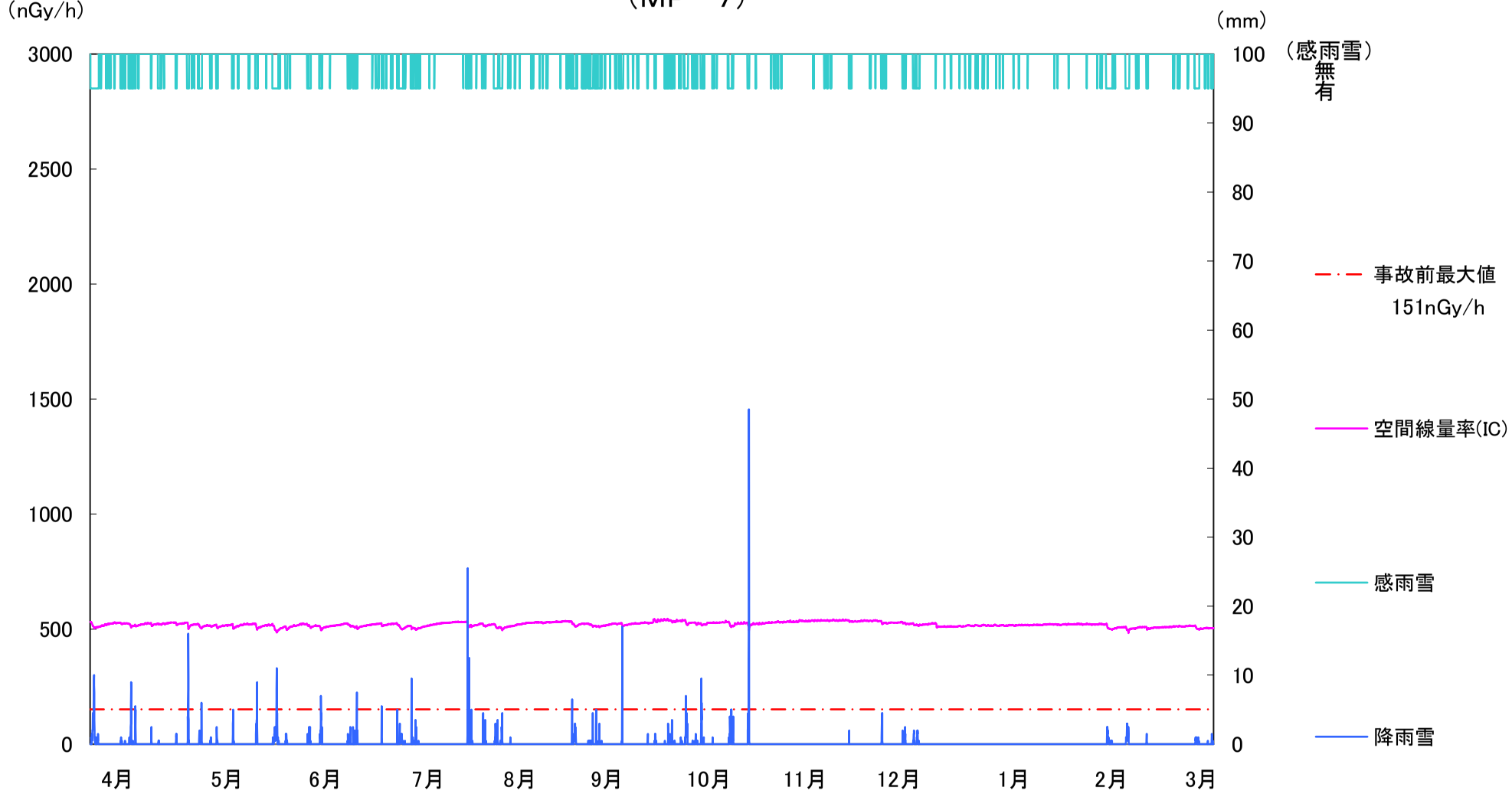
（MP－6）



点検及び定期保守作業に伴う欠測：5月19日，8月4日
欠測時には，代替測定器にて測定し，指示値に異常がないことを確認している。
周辺環境線量率のバックグランドが事故の影響で上昇したことにより，測定を電離箱式検出器（IC）にて行っている。

空間線量率の変動グラフ

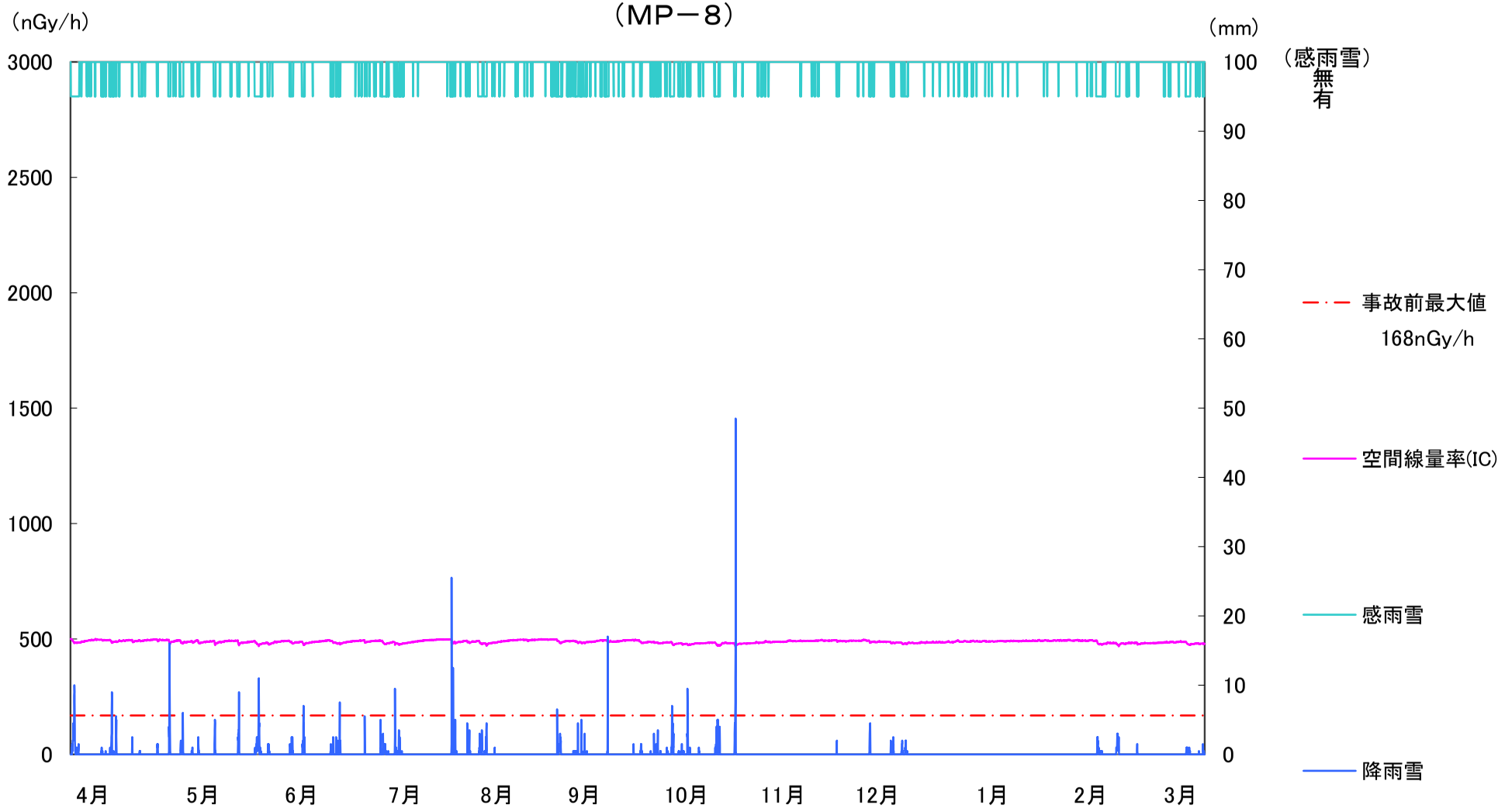
（MP－7）



点検及び定期保守作業に伴う欠測：5月28日，8月7日
欠測時には，代替測定器にて測定し，指示値に異常がないことを確認している。
MP－7，8については，高線量率の環境下にあることから，新たな放出によって上空を通過する放射性物質を検知しやすくするため，検出器廻りに遮へいを設置し，地表面等からの放射線の影響を抑えている。
周辺環境線量率のバックグランドが事故の影響で上昇したことにより，測定を電離箱式検出器（IC）にて行っている。

空間線量率の変動グラフ

（MP－8）



点検及び定期保守作業に伴う欠測：6月2日，8月20日

固定型発電機の設置による電源停止に伴う欠測：2月19日

欠測時には，代替測定器にて測定し，指示値に異常がないことを確認している。

MP－7，8については，高線量率の環境下にあることから，新たな放出によって上空を通過する放射性物質を検知しやすくするため，検出器廻りに遮へいを設置し，地表面等からの放射線の影響を抑えている。

周辺環境線量率のバックグランドが事故の影響で上昇したことにより，測定を電離箱式検出器（IC）にて行っている。

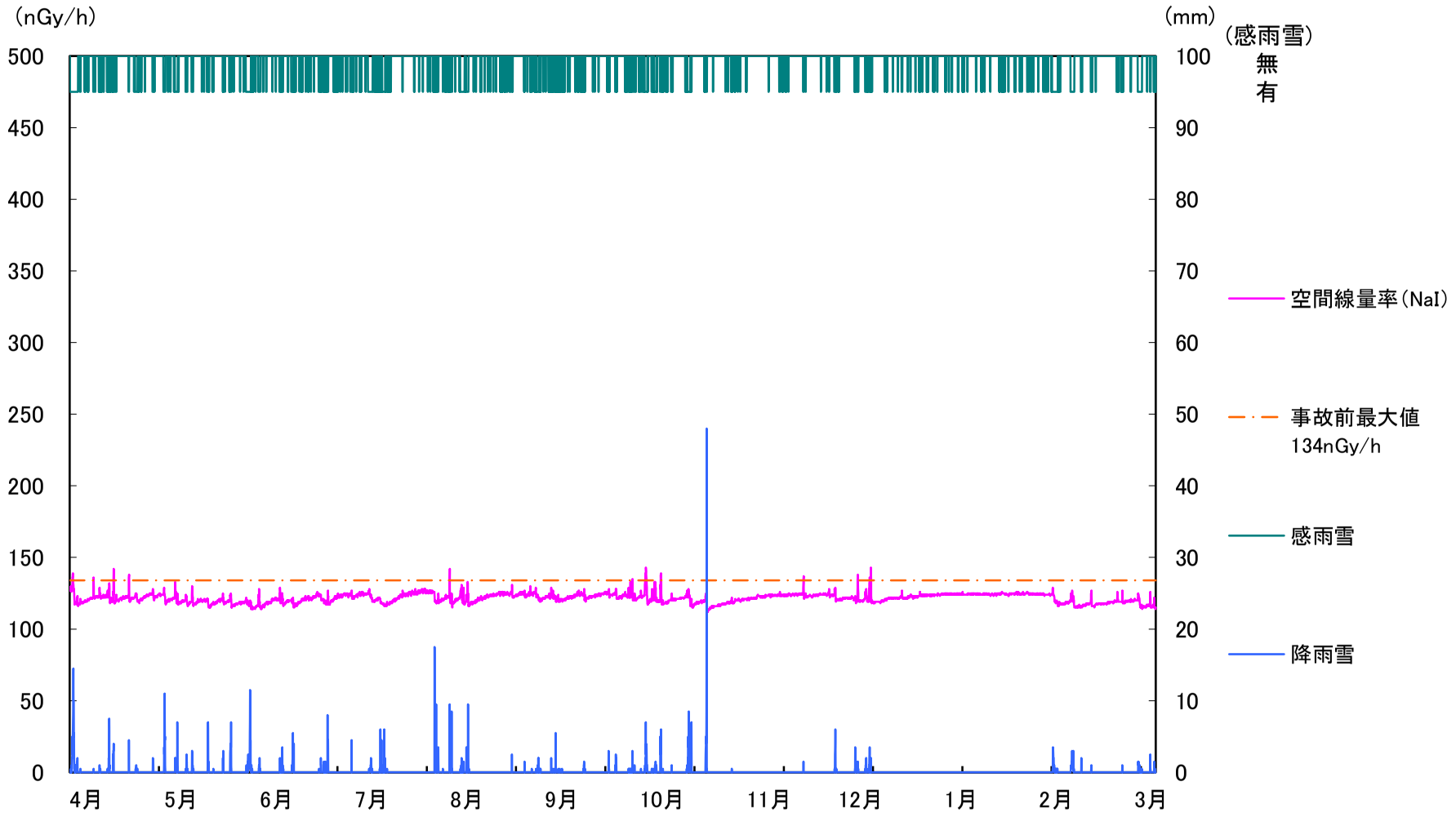
空間線量率の変動グラフ

（MP－1）



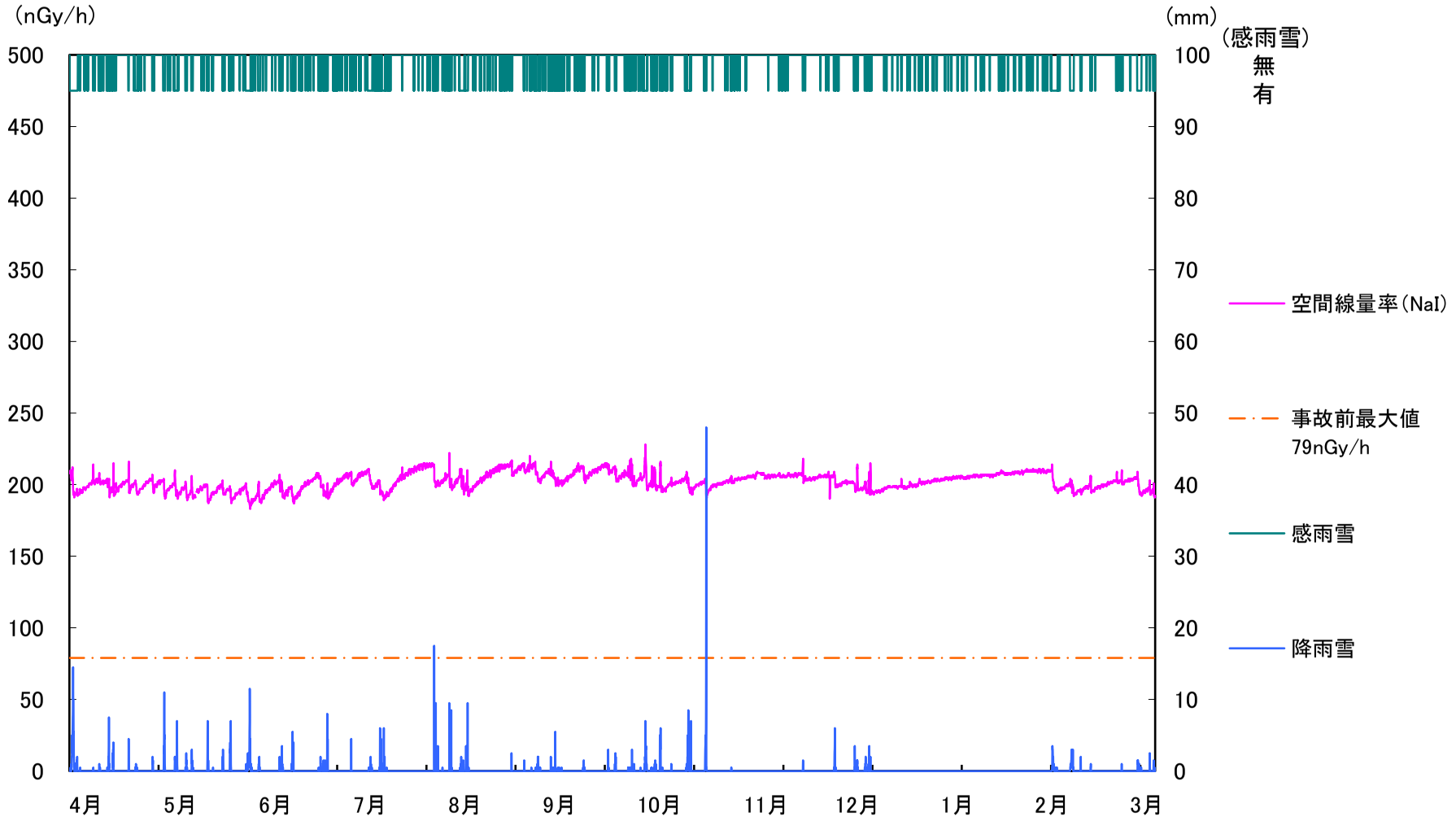
点検伴う欠測：4月22日,11月18日
なお，欠測時には，可搬型モニタリングポストを設置し，指示値に異常がないことを確認している。

空間線量率の変動グラフ
（MP－2）



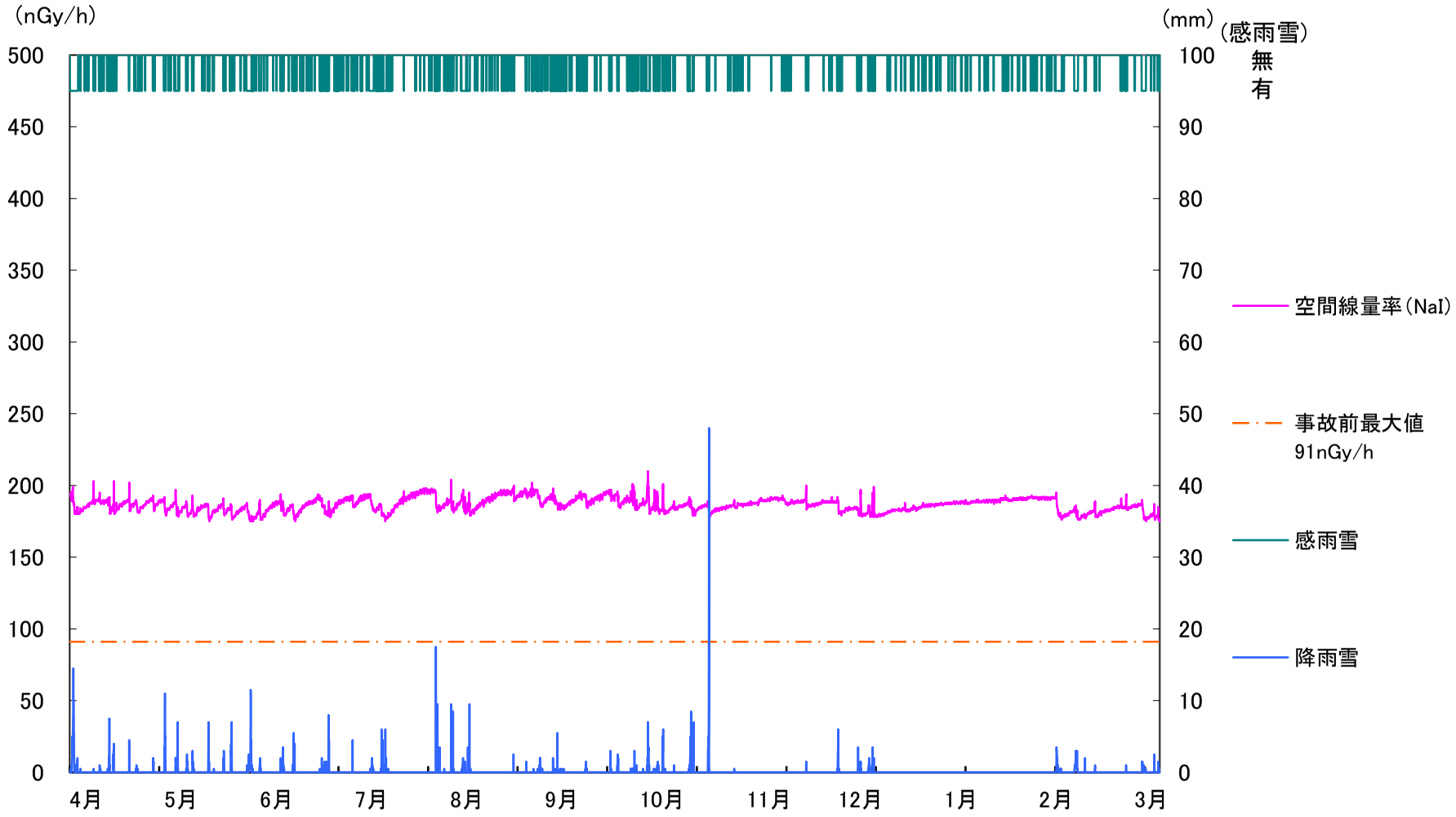
点検に伴う欠測：4月24日,11月19日
なお，欠測時には，可搬型モニタリングポストを設置し，指示値に異常がないことを確認している。

空間線量率の変動グラフ
（MP－3）



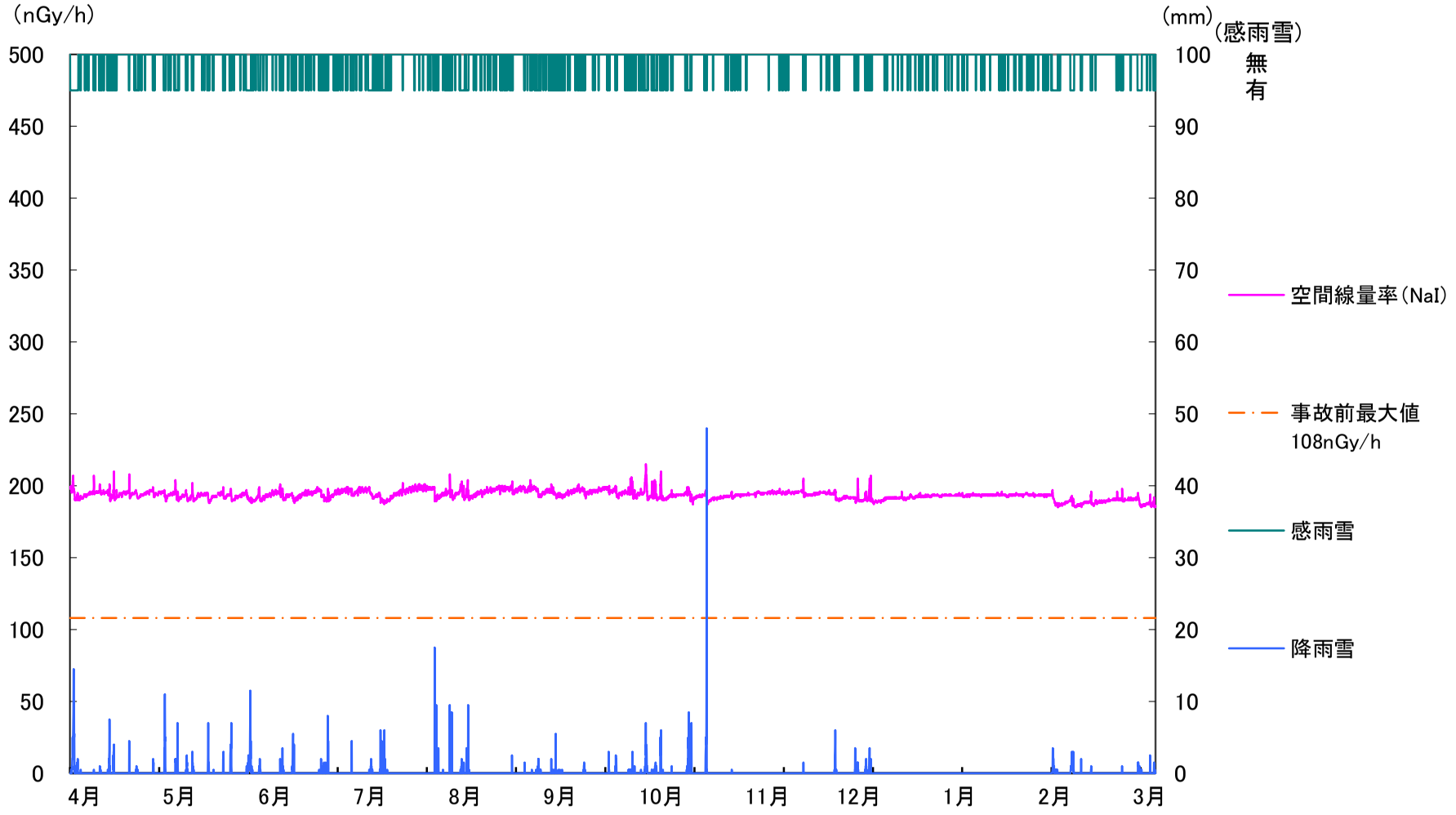
点検・検査に伴う欠測：5月13日,6月25日,8月7日,9月4日,10月31日,11月11日,11月20日
なお，欠測時には，可搬型モニタリングポストを設置し，指示値に異常がないことを確認している。

空間線量率の変動グラフ
（MP－4）



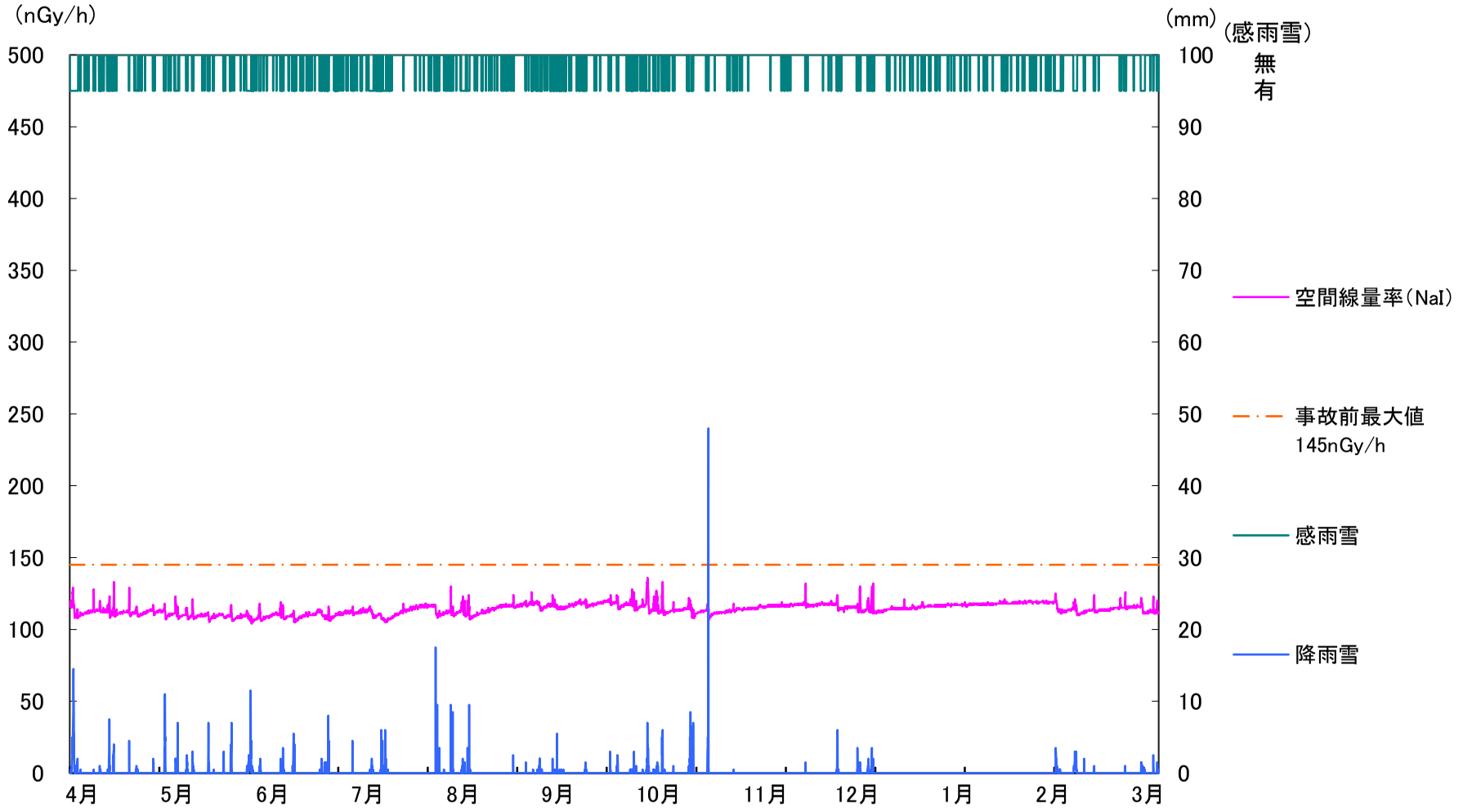
点検・検査に伴う欠測：5月15日,6月25日,8月7日,10月31日,11月26日
なお，欠測時には，可搬型モニタリングポストを設置し，指示値に異常がないことを確認している。

空間線量率の変動グラフ
（MP－5）



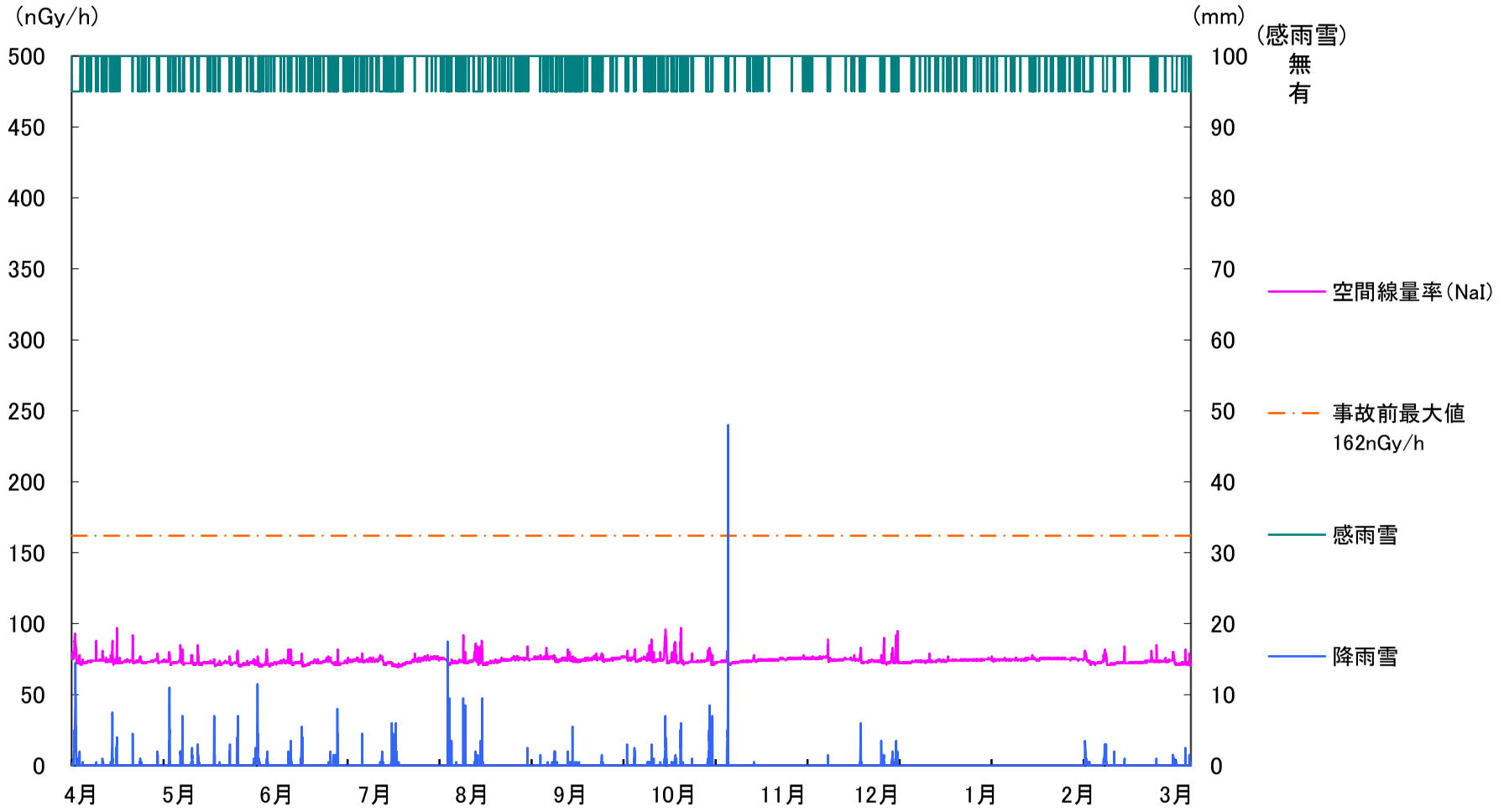
点検に伴う欠測：5月20日,11月27日
なお，欠測時には，可搬型モニタリングポストを設置し，指示値に異常がないことを確認している。

空間線量率の変動グラフ
（MP－6）



点検に伴う欠測：5月22日,12月2日
なお，欠測時には，可搬型モニタリングポストを設置し，指示値に異常がないことを確認している。

空間線量率の変動グラフ
（MP－7）



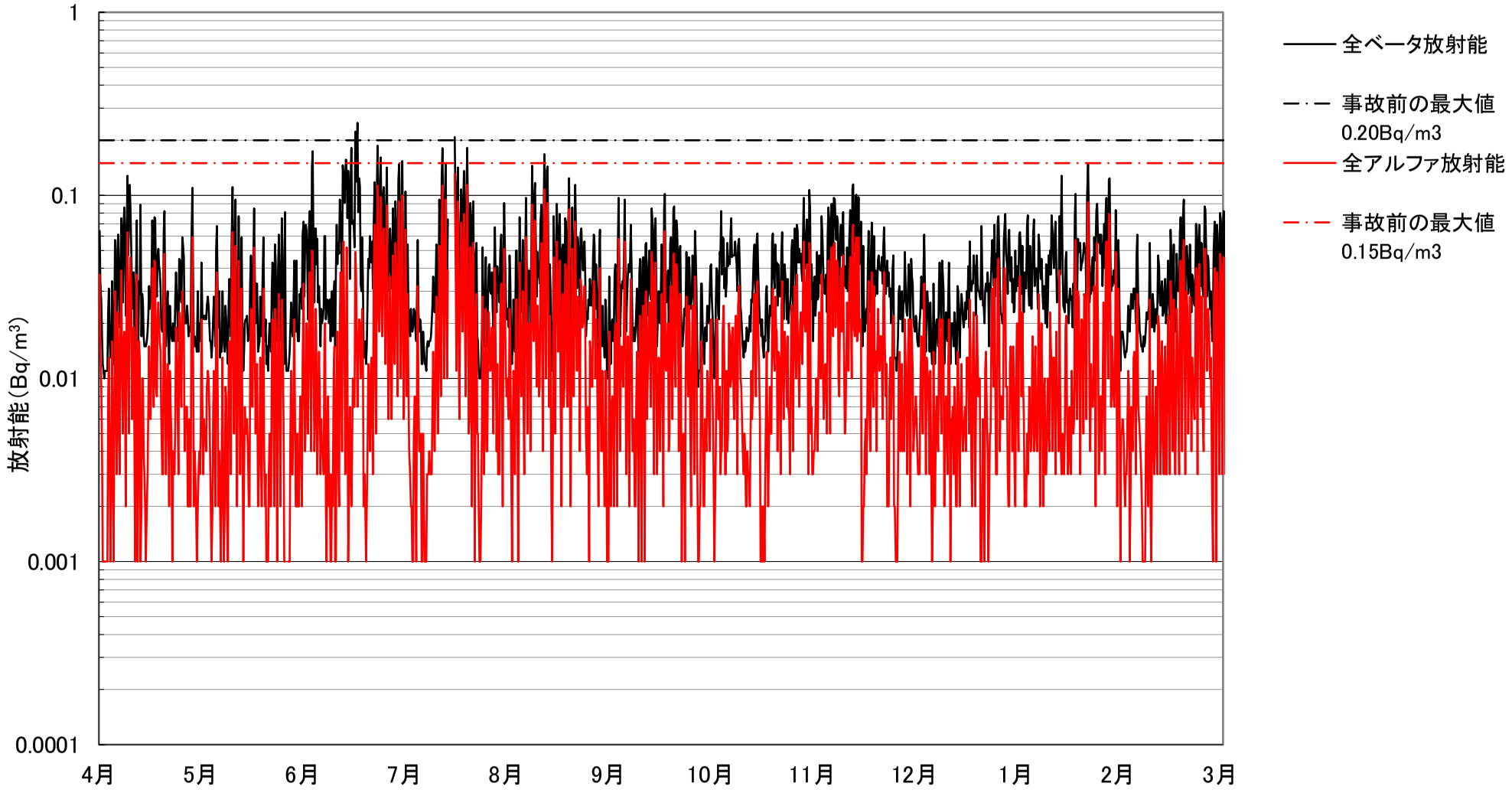
点検に伴う欠測：5月27日,12月3日
なお，欠測時には，可搬型モニタリングポストを設置し，指示値に異常がないことを確認している。

福島第一原子力発電所

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

MP－３

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）



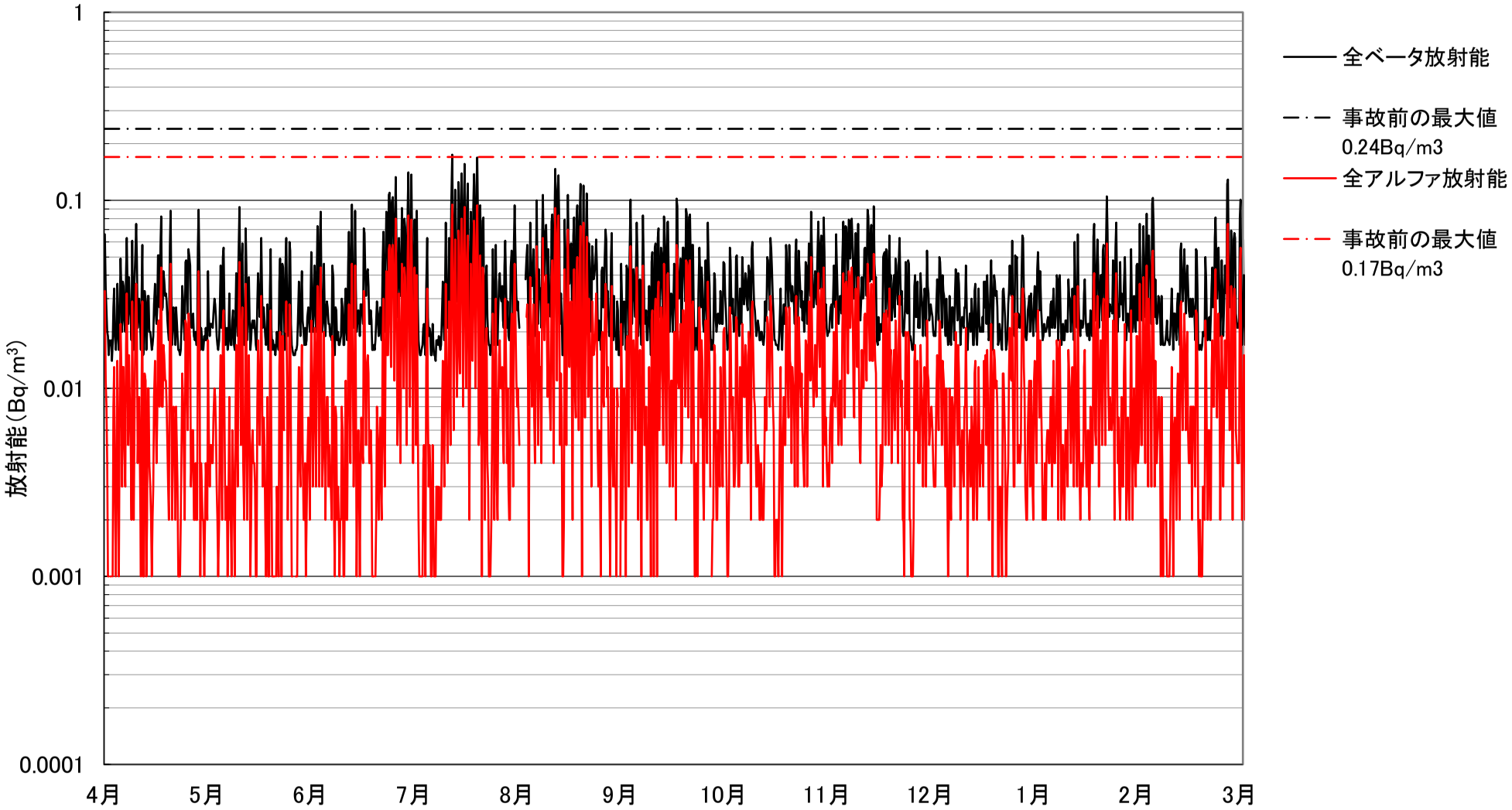
7月23日・24日・25日については，定期点検及び定期保守作業に伴う欠測。
欠測時は，敷地境界付近(MP1～MP8)に設置した連続ダストモニタにて指示値に異常がないことを確認している。
注）全アルファ放射能は 0.001Bq/m³ より小さい場合には 0Bq/m³ となるため対数グラフに表示されない。

福島第一原子力発電所

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

MP－8

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）



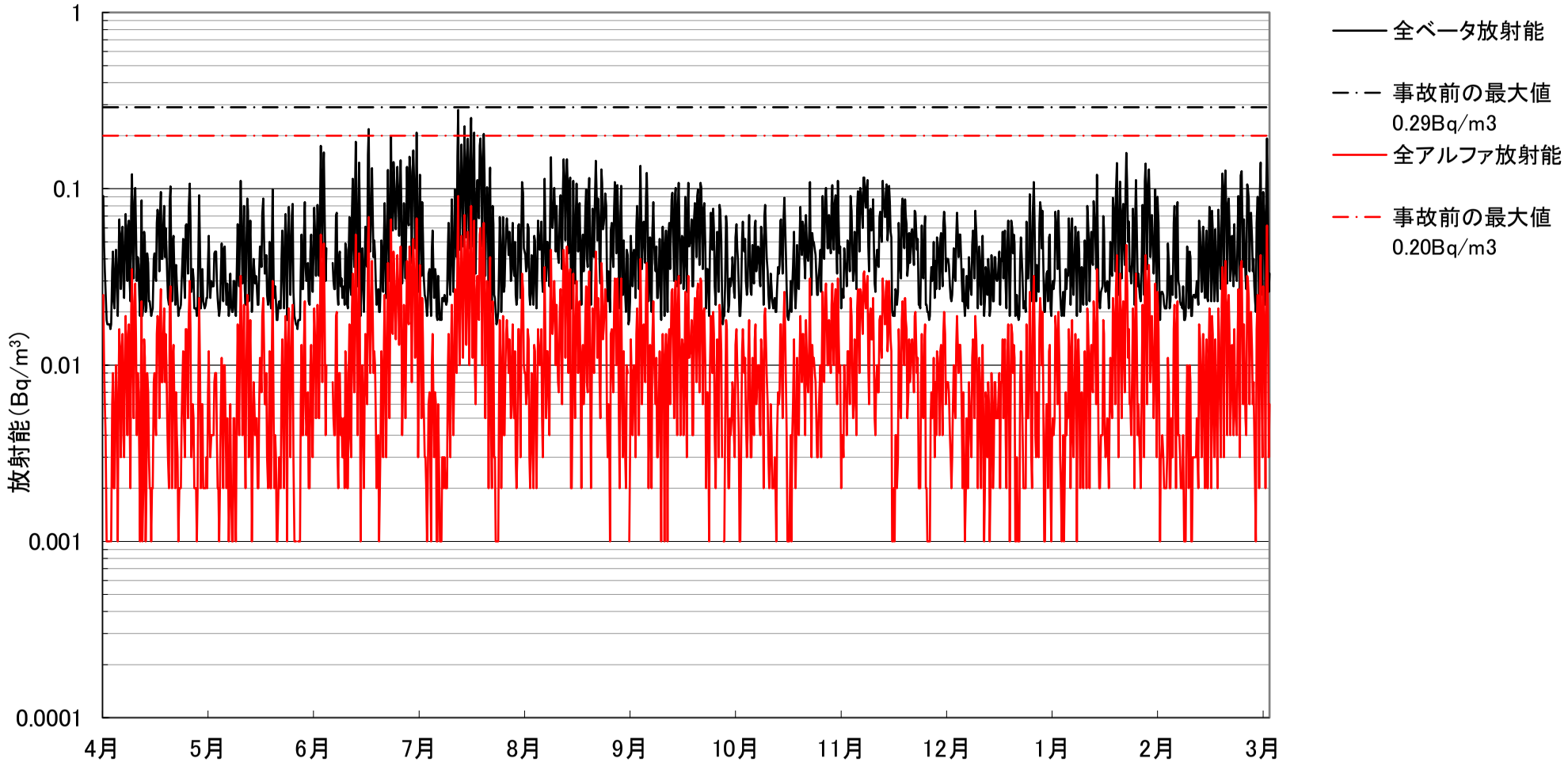
5月8日・6月5日・11日・7月8日・9日・8月12日・13日・2月19日については，定期点検及び定期保守作業に伴う欠測。
欠測時は，敷地境界付近(MP1～MP8)に設置した連続ダストモニタにて指示値に異常がないことを確認している。
注）全アルファ放射能は 0.001Bq/m³ より小さい場合には 0Bq/m³ となるため対数グラフに表示されない。

福島第二原子力発電所

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

MP－1

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）



令和7年6月10日,11日については，点検に伴う欠測。

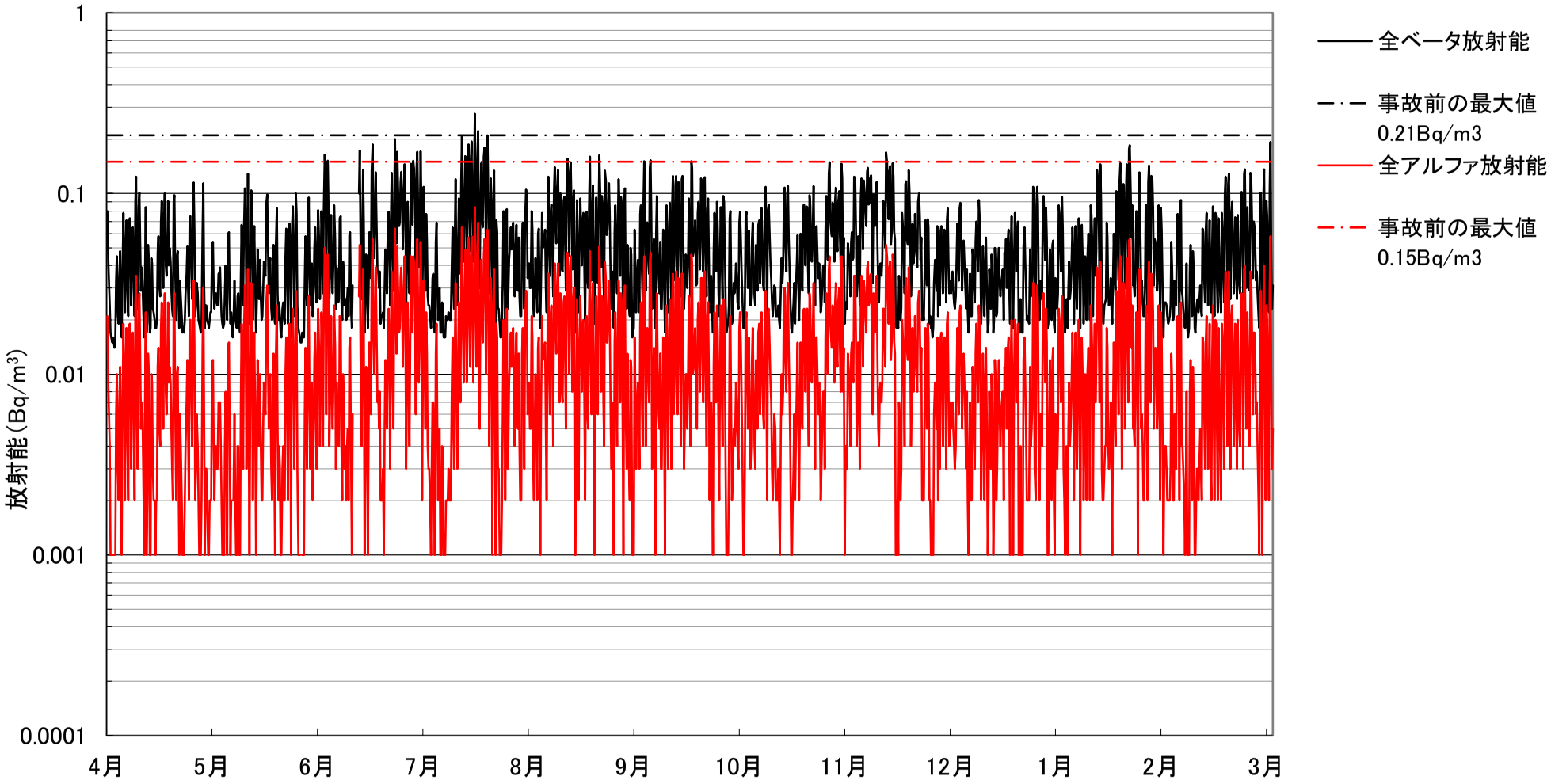
欠測時には，モニタリングポスト指示値，スタックモニタ指示値に異常がないこと，及びプラントに放射性物質の放出に係る事象が発生していないことを確認している。

注）全アルファ放射能は0.001Bq/m³より小さい場合には0Bq/m³となるため対数グラフに表示されない。

大気浮遊じんの全アルファ及び全ベータ放射能の推移

MP－7

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）



令和7年6月17日,18日については，点検に伴う欠測。
欠測時には，モニタリングポスト指示値，スタックモニタ指示値に異常がないこと，及びプラントに放射性物質の放出に係る事象が発生していないことを確認している。
注）全アルファ放射能は0.001Bq/m^{3}より小さい場合には0Bq/m^{3}となるため対数グラフに表示されない。

＜参考＞地下水バイパスの評価

（令和7年度年間）

（単位：Bq）

	核種別				備考
	^{134}Cs	^{137}Cs	^{90}Sr	^{3}H	
地下水バイパス	ND	ND	ND	3.4×10^{9}	排水放射能量（Bq）は，排水中の放射性物質濃度（Bq/L）［排水前のタンクの分析結果］に排水量（L）を乗じて求めている。 ^{90}Srは全βでの評価値である。 なお，排水中の放射性物質濃度が検出限界未満の場合はNDと表示した。 ^{134}Cs，^{137}Csの検出限界値は1Bq/L未満，全βの検出限界値は5Bq/L未満または1Bq/L未満（10日に1回程度）である。 排水量は68,899m^3である。

＜参考＞サブドレン他浄化設備の処理済水の評価

（令和7年度年間）

（単位：Bq）

	核種別				備考
	^{134}Cs	^{137}Cs	^{90}Sr	^{3}H	
サブドレン他 浄化設備の処理済水	ND	ND	ND	1.1×10^{11}	排水放射能量（Bq）は，排水中の放射性物質濃度（Bq/L）［排水前のタンクの分析結果］に排水量（L）を乗じて求めている。 ^{90}Srは全βでの評価値である。 なお，排水中の放射性物質濃度が検出限界未満の場合はNDと表示した。 ^{134}Cs，^{137}Csの検出限界値は1Bq/L未満，全βの検出限界値は3Bq/L未満または1Bq/L未満（10日に1回程度）である。 排水量は177,216m^3である。

＜参考＞ALPS処理水の評価

（令和7年度年間）

（単位：Bq）

	核種別				備考
	^{14}C	^{54}Mn	^{55}Fe	^{60}Co	
ALPS処理水	1.7×10^{9}	ND	ND	1.9×10^{7}	排水放射能量（Bq）は，排水前のタンク（測定・確認用設備）の放射性物質濃度（Bq/L）に排水量（L）を乗じて求めている。 なお，排水前のタンク（測定・確認用設備）の放射性物質濃度が検出限界未満の場合はNDと表示した。 排水量は55,011m^3である。 ※1 ^{90}Sr／^{90}Y放射平衡評価 ※2 ^{125}Sb／^{125m}Te放射平衡評価 ※3　8月7日から除外した ※4 ^{154}Eu相対比評価 ※5 全α放射能に包含されるものとして評価 ※6 ^{238}Pu相対比評価（^{238}Puを単体で定量できないため，全α放射能を^{238}Puと見なして評価）
	^{63}Ni	^{79}Se	^{90}Sr	^{90}Y ※1	
	ND	ND	6.2×10^{7}	6.2×10^{7}	
	^{99}Tc	^{106}Ru	^{113m}Cd	^{125}Sb	
	3.7×10^{7}	ND	ND	9.4×10^{6}	
	^{125m}Te ※2	^{129}I	^{134}Cs	^{137}Cs	
	3.5×10^{6}	2.4×10^{7}	ND	1.3×10^{7}	
	^{144}Ce ※3	^{147}Pm ※4	^{151}Sm ※4	^{154}Eu	
	ND	ND	ND	ND	
	^{155}Eu	^{234}U ※5	^{238}U ※5	^{237}Np ※5	
	ND	ND	ND	ND	
	^{238}Pu ※5	^{239}Pu ※5	^{240}Pu ※5	^{241}Am ※5	
	ND	ND	ND	ND	
	^{244}Cm ※5	^{241}Pu ※6	^{3}H		
	ND	ND	1.6×10^{13}		

＜参考＞トリチウム年間放出実績

（令和7年度第1四半期から第4四半期までの積算）

（単位：Bq/年）

	^{3}H
5号機排水口	排水実績なし
6号機排水口	排水実績なし
ALPS処理水	1.6×10^{13}
地下水バイパス	3.4×10^{9}
サブドレン他浄化設備の処理済水	1.1×10^{11}
合計	1.6×10^{13}
年間放出管理の基準値	2.2×10^{13}

＜参考＞地下水バイパス排水実績

（令和7年度年間）

運用目標値	^{134}Cs	^{137}Cs	全β	^{3}H
	1Bq/L未満	1Bq/L未満	5Bq/L未満※	1500Bq/L未満

※（10日に1回程度の頻度で1Bq/L未満であること）

排水日	排水量【m^3】	^{134}Cs【Bq/L】	^{137}Cs【Bq/L】	全β【Bq/L】	^{3}H【Bq/L】
4月3日	1306	<0.97	<0.74	<0.66	50
4月11日	1458	<0.68	<0.62	<0.60	51
4月17日	1430	<0.65	<0.66	<0.64	51
4月24日	1340	<0.82	<0.86	<0.66	46
5月1日	1447	<0.88	<0.69	<0.58	50
5月8日	1442	<0.92	<0.85	<0.68	52
5月15日	1463	<0.81	<0.68	<0.57	56
6月4日	2184	<0.58	<0.86	<0.59	51
6月19日	2027	<0.82	<0.57	<0.67	54
6月20日	1778	<0.93	<0.82	<0.65	56
6月27日	1832	<0.69	<0.45	<0.67	51
7月3日	1453	<0.67	<0.85	<0.60	56
7月10日	1634	<0.82	<0.67	<0.66	47
7月17日	1299	<0.53	<0.65	<0.60	49
7月24日	1234	<0.75	<0.65	<0.64	50
7月31日	1202	<0.84	<0.74	<0.64	46
8月8日	1253	<0.67	<0.56	<0.73	43
8月14日	1625	<0.97	<0.77	<0.68	49
8月21日	1673	<0.89	<0.72	<0.53	45
8月28日	1619	<0.82	<0.74	<0.63	46
9月4日	1580	<0.62	<0.51	<0.61	45
9月12日	1528	<0.64	<0.62	<0.68	43
9月18日	1594	<0.66	<0.73	<0.65	44
9月25日	1549	<0.69	<0.59	<0.62	48
10月2日	1582	<0.53	<0.56	<0.59	45
10月9日	1582	<0.75	<0.81	<0.57	44
10月16日	1567	<0.82	<0.70	<0.69	46
10月23日	1507	<0.53	<0.65	<0.62	42
10月31日	1608	<0.75	<0.63	<0.63	43
11月6日	1610	<0.97	<0.73	<0.72	38
11月18日	1684	<0.58	<0.78	<0.66	63
11月27日	1427	<0.75	<0.51	<0.65	62
12月8日	1526	<0.53	<0.76	<0.75	59
12月18日	1483	<0.75	<0.67	<0.58	63
12月25日	1050	<0.68	<0.67	<0.59	62

＜参考＞地下水バイパス排水実績

（令和7年度年間）

運用目標値	^{134}Cs	^{137}Cs	全β	^{3}H
	1Bq/L未満	1Bq/L未満	5Bq/L未満※	1500Bq/L未満

※（10日に1回程度の頻度で1Bq/L未満であること）

排水日	排水量【m^3】	^{134}Cs【Bq/L】	^{137}Cs【Bq/L】	全β【Bq/L】	^{3}H【Bq/L】
1月5日	1601	<0.62	<0.65	<0.66	59
1月20日	1917	<0.53	<0.59	<0.69	62
2月4日	1087	<0.73	<0.65	<0.61	57
2月16日	2081	<0.73	<0.72	<0.63	57
2月24日	1578	<0.65	<0.64	<0.64	45
3月3日	1348	<0.62	<0.51	<0.64	45
3月12日	1750	<0.80	<0.57	<0.64	47
3月26日	2089	<0.78	<0.56	<0.56	38
3月31日	1872	<0.55	<0.71	<0.69	45

＜参考＞サブドレン排水実績

（令和7年度年間）

運用目標値	^{134}Cs	^{137}Cs	全β	^{3}H
	1Bq/L未満	1Bq/L未満	3Bq/L未満※	1500Bq/L未満

※（10日に1回程度の頻度で1Bq/L未満であること）

排水日	排水量【m^3】	^{134}Cs【Bq/L】	^{137}Cs【Bq/L】	全β【Bq/L】	^{3}H【Bq/L】
4月3日	732	<0.75	<0.75	<1.9	780
4月4日	935	<0.66	<0.54	<1.7	740
4月5日	449	<0.67	<0.66	<1.5	820
4月7日	718	<0.67	<0.78	<0.60	910
4月9日	681	<0.87	<0.61	<1.9	810
4月11日	622	<0.68	<0.62	<2.0	700
4月12日	1021	<0.58	<0.71	<1.9	550
4月13日	815	<0.81	<0.82	<2.1	570
4月15日	1006	<0.92	<0.82	<1.8	680
4月16日	1010	<0.81	<0.47	<0.59	840
4月17日	806	<0.82	<0.75	<1.8	790
4月18日	692	<0.67	<0.91	<1.9	610
4月20日	1025	<0.67	<0.75	<2.0	600
4月22日	1023	<0.81	<0.61	<0.65	650
4月24日	1020	<0.67	<0.75	<2.1	580
4月25日	914	<0.74	<0.66	<1.6	570
4月27日	815	<0.86	<0.60	<1.9	600
4月29日	1025	<0.75	<0.78	<1.8	670
4月30日	1022	<0.73	<0.45	<0.64	700
5月2日	1006	<0.72	<0.79	<1.8	670
5月4日	1004	<0.67	<0.66	<1.8	740
5月6日	871	<0.84	<0.69	<0.59	640
5月10日	857	<0.81	<0.75	<1.8	660
5月11日	953	<0.75	<0.85	<1.9	610
5月13日	1027	<0.81	<0.82	<0.67	540
5月15日	1011	<0.81	<0.68	<1.8	530
5月17日	1004	<0.66	<0.79	<1.8	560
5月18日	901	<0.84	<0.93	<2.1	680
5月19日	1003	<0.82	<0.78	<1.7	520
5月21日	1003	<0.81	<0.63	<0.61	620
5月23日	999	<0.67	<0.61	<1.8	640
5月24日	999	<0.68	<0.98	<1.9	740
5月25日	1001	<0.57	<0.68	<1.8	700
5月27日	990	<0.93	<0.79	<1.9	690
5月29日	1017	<0.55	<0.55	<0.56	660

＜参考＞サブドレン排水実績

（令和7年度年間）

運用目標値	^{134}Cs	^{137}Cs	全β	^{3}H
	1Bq/L未満	1Bq/L未満	3Bq/L未満※	1500Bq/L未満

※（10日に1回程度の頻度で1Bq/L未満であること）

排水日	排水量【m^3】	^{134}Cs【Bq/L】	^{137}Cs【Bq/L】	全β【Bq/L】	^{3}H【Bq/L】
5月31日	1005	<0.55	<0.55	<1.9	710
6月2日	1027	<0.81	<0.63	<1.7	720
6月5日	844	<0.84	<0.93	<1.8	640
6月6日	705	<0.73	<0.82	<0.63	660
6月7日	1025	<0.67	<0.73	<1.8	620
6月8日	805	<0.58	<0.69	<2.0	660
6月10日	830	<0.75	<0.78	<2.0	490
6月11日	809	<0.88	<0.82	<1.8	460
6月12日	808	<0.93	<0.78	<2.0	430
6月13日	995	<0.75	<0.97	<1.9	440
6月14日	1021	<0.81	<0.63	<0.69	570
6月15日	929	<0.75	<0.89	<1.7	580
6月16日	987	<0.75	<0.68	<1.9	570
6月17日	971	<0.88	<0.74	<2.0	570
6月18日	938	<0.82	<0.71	<1.9	600
6月19日	701	<0.88	<0.75	<1.8	630
6月20日	619	<0.88	<0.75	<1.7	670
6月21日	686	<0.81	<0.89	<2.0	710
6月22日	663	<0.68	<0.90	<1.8	680
6月23日	637	<0.95	<0.84	<0.66	670
6月24日	670	<0.81	<0.68	<1.7	670
6月25日	637	<0.81	<0.82	<1.8	610
6月26日	609	<0.89	<0.73	<1.8	590
6月27日	586	<0.69	<0.65	<2.0	600
6月28日	815	<0.92	<0.62	<2.1	620
6月29日	997	<0.81	<0.77	<1.9	590
7月1日	875	<0.81	<0.86	<0.65	620
7月3日	849	<0.75	<0.71	<2.1	620
7月4日	867	<0.82	<0.92	<1.8	620
7月5日	880	<0.97	<0.85	<2.1	580
7月8日	811	<0.75	<0.63	<1.9	620
7月9日	853	<0.82	<0.82	<0.67	590
7月10日	754	<0.87	<0.69	<1.9	660
7月11日	398	<0.75	<0.96	<2.1	700
7月13日	765	<0.98	<0.96	<1.9	760

＜参考＞サブドレン排水実績

（令和7年度年間）

運用目標値	^{134}Cs	^{137}Cs	全β	^{3}H
	1Bq/L未満	1Bq/L未満	3Bq/L未満※	1500Bq/L未満

※（10日に1回程度の頻度で1Bq/L未満であること）

排水日	排水量【m^3】	^{134}Cs【Bq/L】	^{137}Cs【Bq/L】	全β【Bq/L】	^{3}H【Bq/L】
7月15日	725	<0.72	<0.64	<0.66	740
7月16日	792	<0.84	<0.59	<1.9	750
7月17日	1020	<0.58	<0.86	<2.0	710
7月19日	855	<0.67	<0.63	<1.9	740
7月20日	790	<0.82	<0.79	<1.9	730
7月22日	782	<0.82	<0.63	<0.72	750
7月23日	791	<0.68	<0.74	<1.9	720
7月25日	909	<0.58	<0.74	<2.2	630
7月26日	898	<0.81	<0.73	<2.0	630
7月28日	785	<0.92	<0.99	<1.7	700
7月29日	651	<0.84	<0.86	<0.56	710
7月31日	711	<0.91	<0.71	<1.9	540
8月2日	702	<0.77	<0.63	<1.9	580
8月4日	655	<0.75	<0.63	<2.0	750
8月8日	855	<0.84	<0.74	<0.65	710
8月9日	684	<0.88	<0.63	<0.64	710
8月10日	699	<0.67	<0.85	<1.9	730
8月11日	789	<0.67	<0.90	<1.8	770
8月12日	790	<0.77	<0.90	<1.7	700
8月13日	804	<0.77	<0.93	<1.9	700
8月15日	935	<0.75	<0.65	<1.9	680
8月16日	909	<0.84	<0.82	<1.9	630
8月17日	813	<0.84	<0.63	<0.62	610
8月19日	755	<0.77	<0.78	<1.8	670
8月20日	825	<0.84	<0.74	<1.8	610
8月22日	920	<0.84	<0.88	<1.9	570
8月23日	904	<0.67	<0.85	<1.8	600
8月26日	823	<0.84	<0.85	<0.63	620
8月27日	688	<0.68	<0.90	<1.8	600
8月28日	701	<0.75	<0.61	<1.9	590
8月29日	718	<0.75	<0.68	<1.8	560
8月31日	777	<0.58	<0.76	<1.7	680
9月1日	691	<0.76	<0.81	<1.7	690
9月3日	635	<0.82	<0.78	<0.57	810
9月4日	592	<0.84	<0.58	<1.8	820

＜参考＞サブドレン排水実績

（令和7年度年間）

運用目標値	^{134}Cs	^{137}Cs	全β	^{3}H
	1Bq/L未満	1Bq/L未満	3Bq/L未満※	1500Bq/L未満

※（10日に1回程度の頻度で1Bq/L未満であること）

排水日	排水量【m^3】	^{134}Cs【Bq/L】	^{137}Cs【Bq/L】	全β【Bq/L】	^{3}H【Bq/L】
9月6日	648	<0.65	<0.47	<0.56	760
9月7日	736	<0.68	<0.86	<1.9	780
9月9日	675	<0.87	<0.73	<2.0	610
9月10日	559	<0.69	<0.61	<1.9	770
9月12日	793	<0.68	<0.49	<1.9	690
9月13日	656	<0.62	<0.49	<0.67	760
9月15日	753	<0.75	<0.76	<1.7	770
9月16日	735	<0.67	<0.85	<1.7	740
9月18日	647	<0.93	<0.82	<1.8	640
9月19日	707	<0.88	<0.71	<1.9	700
9月21日	757	<0.75	<0.73	<2.0	670
9月22日	774	<0.75	<0.74	<0.65	680
9月25日	757	<0.75	<0.73	<1.9	630
9月26日	742	<0.75	<0.83	<1.7	630
9月27日	691	<0.75	<0.51	<1.9	660
9月28日	677	<0.68	<0.75	<1.9	630
9月30日	806	<0.84	<0.85	<2.0	670
10月2日	827	<0.75	<0.51	<0.69	630
10月3日	782	<0.84	<0.82	<1.6	680
10月4日	751	<0.94	<0.56	<1.8	650
10月6日	724	<0.76	<0.77	<0.66	710
10月7日	691	<0.58	<0.71	<1.7	650
10月9日	661	<0.66	<0.73	<1.8	700
10月10日	663	<0.88	<0.54	<1.9	600
10月12日	656	<0.92	<0.63	<1.5	730
10月13日	589	<0.64	<0.82	<2.0	660
10月15日	600	<0.62	<0.61	<0.65	720
10月16日	623	<0.75	<0.61	<2.1	610
10月18日	666	<0.67	<0.68	<1.9	690
10月19日	650	<0.93	<0.74	<1.9	640
10月21日	913	<0.82	<0.86	<1.6	610
10月22日	912	<0.69	<0.54	<0.64	590
10月24日	957	<0.68	<0.75	<1.9	600
10月25日	1016	<0.69	<0.61	<1.6	530
10月28日	1012	<0.75	<0.68	<1.6	490

＜参考＞サブドレン排水実績

（令和7年度年間）

運用目標値	^{134}Cs	^{137}Cs	全β	^{3}H
	1Bq/L未満	1Bq/L未満	3Bq/L未満※	1500Bq/L未満

※（10日に1回程度の頻度で1Bq/L未満であること）

排水日	排水量【m^3】	^{134}Cs【Bq/L】	^{137}Cs【Bq/L】	全β【Bq/L】	^{3}H【Bq/L】
10月29日	1014	<0.81	<0.47	<1.9	550
10月31日	1022	<0.81	<0.89	<0.59	440
11月1日	1009	<0.81	<0.77	<1.8	510
11月2日	868	<0.56	<0.51	<1.9	510
11月3日	1011	<0.62	<0.61	<1.9	530
11月4日	854	<0.69	<0.61	<1.8	470
11月5日	1020	<0.81	<0.82	<2.0	410
11月6日	856	<0.75	<0.82	<0.60	420
11月7日	992	<0.53	<0.56	<2.1	430
11月8日	720	<0.82	<0.62	<2.1	470
11月9日	1014	<0.75	<0.77	<1.7	340
11月10日	825	<0.81	<0.55	<2.1	410
11月11日	1008	<0.82	<0.74	<1.7	440
11月12日	1013	<0.75	<0.67	<1.9	460
11月13日	827	<0.69	<0.69	<1.8	490
11月14日	1009	<0.65	<0.59	<0.75	550
11月14日	1027	<0.87	<0.83	<1.8	490
11月15日	714	<0.75	<0.57	<1.8	480
11月16日	757	<0.56	<0.47	<1.8	500
11月18日	753	<0.75	<0.86	<2.0	620
11月19日	984	<0.57	<0.89	<2.0	620
11月19日	997	<0.81	<0.68	<1.8	440
11月20日	869	<0.62	<0.65	<1.9	630
11月20日	704	<0.81	<0.56	<2.0	620
11月21日	959	<0.75	<0.62	<2.0	550
11月22日	760	<0.82	<0.63	<1.8	560
11月23日	747	<0.67	<0.51	<0.67	510
11月25日	702	<0.69	<0.65	<1.9	520
11月26日	763	<0.62	<0.61	<1.9	590
11月27日	928	<0.81	<0.85	<1.8	550
11月28日	587	<0.72	<0.64	<2.1	550
11月30日	998	<0.62	<0.57	<0.56	570
12月1日	1010	<0.67	<0.59	<1.7	520
12月3日	580	<0.69	<0.57	<1.7	550
12月5日	799	<0.93	<0.92	<1.9	540

＜参考＞サブドレン排水実績

（令和7年度年間）

運用目標値	^{134}Cs	^{137}Cs	全β	^{3}H
	1Bq/L未満	1Bq/L未満	3Bq/L未満※	1500Bq/L未満

※（10日に1回程度の頻度で1Bq/L未満であること）

排水日	排水量【m^3】	^{134}Cs【Bq/L】	^{137}Cs【Bq/L】	全β【Bq/L】	^{3}H【Bq/L】
12月6日	758	<0.52	<0.57	<1.9	560
12月7日	507	<0.62	<0.57	<0.68	560
12月10日	642	<0.69	<0.86	<1.8	610
12月11日	524	<0.90	<0.82	<1.8	620
12月13日	514	<0.75	<0.82	<1.7	640
12月14日	499	<0.72	<0.59	<0.71	690
12月16日	487	<0.67	<0.56	<1.9	690
12月17日	462	<0.80	<0.57	<1.9	580
12月18日	720	<0.77	<0.81	<2.0	550
12月20日	645	<0.67	<0.72	<1.8	480
12月21日	438	<0.72	<0.71	<0.71	480
12月24日	510	<0.61	<0.61	<1.8	710
12月25日	514	<0.68	<0.67	<1.9	690
12月26日	491	<0.58	<0.79	<1.8	630
12月27日	474	<0.73	<0.56	<1.6	710
12月28日	668	<0.64	<0.74	<2.0	610
12月29日	752	<0.68	<0.68	<0.69	520
12月30日	715	<0.69	<0.51	<1.9	570
1月1日	712	<0.87	<0.73	<1.7	510
1月2日	708	<0.75	<0.77	<1.8	540
1月4日	740	<0.82	<0.67	<1.9	580
1月7日	998	<0.76	<0.82	<0.65	570
1月9日	1007	<0.72	<0.72	<1.8	530
1月14日	790	<0.62	<0.48	<0.65	560
1月15日	776	<0.62	<0.65	<1.9	540
1月17日	864	<0.62	<0.63	<1.8	530
1月20日	1018	<0.69	<0.59	<1.9	570
1月23日	862	<0.57	<0.82	<0.65	550
1月24日	517	<0.66	<0.69	<1.9	630
1月25日	514	<0.75	<0.82	<2.0	660
1月27日	424	<0.75	<0.67	<2.0	670
1月28日	685	<0.84	<0.68	<0.57	550
1月31日	674	<0.68	<0.77	<2.1	610
2月1日	716	<0.82	<0.79	<1.8	690
2月5日	894	<0.75	<0.71	<1.8	630

＜参考＞サブドレン排水実績

（令和7年度年間）

運用目標値	^{134}Cs	^{137}Cs	全β	^{3}H
	1Bq/L未満	1Bq/L未満	3Bq/L未満※	1500Bq/L未満

※（10日に1回程度の頻度で1Bq/L未満であること）

排水日	排水量【m^3】	^{134}Cs【Bq/L】	^{137}Cs【Bq/L】	全β【Bq/L】	^{3}H【Bq/L】
2月7日	440	<0.58	<0.79	<0.64	700
2月11日	467	<0.73	<0.63	<1.7	620
2月12日	443	<0.75	<0.73	<2.0	660
2月13日	434	<0.75	<0.85	<0.66	600
2月18日	202	<0.89	<0.66	<1.9	610
2月21日	443	<0.82	<0.71	<0.54	670
2月24日	766	<0.73	<0.77	<1.5	680
2月28日	574	<0.75	<0.78	<1.9	610
3月2日	505	<0.75	<0.78	<0.59	680
3月3日	697	<0.73	<0.61	<2.0	710
3月7日	472	<0.84	<0.61	<0.59	640
3月8日	442	<0.69	<0.61	<1.6	690
3月10日	253	<0.61	<0.65	<2.0	680
3月13日	240	<0.53	<0.51	<2.0	690
3月14日	253	<0.78	<0.66	<1.9	650
3月15日	489	<0.71	<0.64	<0.61	730
3月20日	758	<0.90	<0.64	<1.8	700
3月21日	392	<0.69	<0.56	<2.1	660
3月22日	507	<0.60	<0.58	<0.72	720
3月25日	515	<0.84	<0.86	<1.6	630
3月31日	478	<0.81	<0.75	<0.63	690

＜参考＞ALPS処理水排水実績

（放水立坑（上流水槽）上流海水配管）

（令和7年度年間）

運用の上限値	^{3}H※
	1500Bq/L未満

※（希釈後の^{3}H濃度）

排水日	排水量【m^3】	海水希釈水量【m^3】	^{3}H【Bq/L】※
4月1日	－	170064	－
4月2日	－	170064	－
4月3日	－	170064	－
4月4日	－	170064	－
4月5日	－	170064	－
4月6日	－	170064	－
4月7日	－	170064	－
4月8日	－	170064	－
4月9日	－	232539	－
4月10日	237	340128	430
4月11日	456	340128	430
4月12日	456	340128	450
4月13日	456	340128	410
4月14日	456	340128	430
4月15日	456	340128	440
4月16日	456	340128	420
4月17日	456	340128	420
4月18日	456	340128	440
4月19日	456	340128	430
4月20日	456	340128	420
4月21日	456	340128	440
4月22日	456	340128	430
4月23日	456	340128	420
4月24日	456	340128	440
4月25日	456	340128	440
4月26日	456	340128	420

＜参考＞ALPS処理水排水実績

（放水立坑（上流水槽）上流海水配管）

（令和7年度年間）

運用の上限値	^{3}H※
	1500Bq/L未満

※（希釈後の^{3}H濃度）

排水日	排水量【m^3】	海水希釈水量【m^3】	^{3}H【Bq/L】※
4月27日	296	340128	440
4月28日	25	188960	<6.2
5月26日	－	97432	－
5月27日	－	170064	－
5月28日	－	170064	－
5月29日	－	170064	－
5月30日	－	170064	－
5月31日	－	170064	－
6月1日	－	170064	－
6月2日	－	170064	－
6月3日	－	170064	－
6月4日	－	170064	－
6月5日	－	170064	－
6月6日	－	170064	－
6月7日	－	170064	－
6月8日	－	170064	－
6月9日	－	170064	－
6月10日	－	170064	－
6月11日	－	170064	－
6月12日	－	170064	－
6月13日	－	170064	－
6月14日	－	170064	－
6月15日	－	170064	－
6月16日	－	170064	－
6月17日	－	170064	－
6月18日	－	170064	－

＜参考＞ALPS処理水排水実績

（放水立坑（上流水槽）上流海水配管）

（令和7年度年間）

運用の上限値	^{3}H※
	1500Bq/L未満

※（希釈後の^{3}H濃度）

排水日	排水量【m^3】	海水希釈水量【m^3】	^{3}H【Bq/L】※
6月19日	－	170064	－
6月20日	－	170064	－
6月21日	－	170064	－
6月22日	－	170064	－
6月23日	－	170064	－
6月24日	－	170064	－
6月25日	－	170064	－
6月26日	－	170064	－
6月27日	－	170064	－
6月28日	－	170064	－
6月29日	－	170064	－
6月30日	－	170064	－
7月1日	－	170064	－
7月2日	－	170064	－
7月3日	－	170064	－
7月4日	－	170064	－
7月5日	－	170064	－
7月6日	－	170064	－
7月7日	－	170064	－
7月8日	－	170064	－
7月9日	－	170064	－
7月10日	－	170064	－
7月11日	－	241515	－
7月12日	－	340128	－
7月13日	－	340128	－
7月14日	236	340128	290

＜参考＞ALPS処理水排水実績

（放水立坑（上流水槽）上流海水配管）

（令和7年度年間）

運用の上限値	^{3}H※
	1500Bq/L未満

※（希釈後の^{3}H濃度）

排水日	排水量【m^3】	海水希釈水量【m^3】	^{3}H【Bq/L】※
7月15日	456	340128	310
7月16日	456	340128	290
7月17日	456	340128	290
7月18日	456	340128	290
7月19日	456	340128	270
7月20日	456	340128	310
7月21日	365	340128	290
7月22日	322	340128	320
7月23日	456	340128	320
7月24日	456	340128	310
7月25日	456	340128	310
7月26日	456	340128	310
7月27日	456	340128	320
7月28日	456	340128	300
7月29日	456	340128	300
7月30日	173	132863	300
8月1日	247	205022	310
8月2日	455	340128	300
8月3日	150	191440	<8.5
8月6日	－	144436	－
8月7日	241	340128	410
8月8日	456	340128	460
8月9日	456	340128	430
8月10日	456	340128	430
8月11日	456	340128	410
8月12日	456	340128	400

＜参考＞ALPS処理水排水実績

（放水立坑（上流水槽）上流海水配管）

（令和7年度年間）

運用の上限値	^{3}H※
	1500Bq/L未満

※（希釈後の^{3}H濃度）

排水日	排水量【m^3】	海水希釈水量【m^3】	^{3}H【Bq/L】※
8月13日	456	340128	390
8月14日	456	340128	420
8月15日	456	340128	420
8月16日	456	340128	390
8月17日	456	340128	440
8月18日	456	340128	410
8月19日	456	340128	430
8月20日	456	340128	460
8月21日	456	340128	420
8月22日	456	340128	430
8月23日	456	340128	400
8月24日	348	340128	410
8月25日	25	208210	<5.2
9月4日	－	67081	－
9月5日	－	170064	－
9月6日	－	170064	－
9月7日	－	170064	－
9月8日	－	170064	－
9月9日	－	170064	－
9月10日	－	239743	－
9月11日	239	340128	240
9月12日	456	340128	250
9月13日	456	340128	240
9月14日	456	340128	240
9月15日	456	340128	240
9月16日	456	340128	220

＜参考＞ALPS処理水排水実績

（放水立坑（上流水槽）上流海水配管）

（令和7年度年間）

運用の上限値	^{3}H※
	1500Bq/L未満

※（希釈後の^{3}H濃度）

排水日	排水量【m^3】	海水希釈水量【m^3】	^{3}H【Bq/L】※
9月17日	456	340128	240
9月18日	456	340128	220
9月19日	456	340128	260
9月20日	456	340128	220
9月21日	456	340128	250
9月22日	456	340128	210
9月23日	456	340128	240
9月24日	456	340128	230
9月25日	456	340128	240
9月26日	456	340128	240
9月27日	456	340128	240
9月28日	313	340128	250
9月29日	25	231358	<5.6
10月29日	－	149278	－
10月30日	240	340128	260
10月31日	456	340128	290
11月1日	456	340128	270
11月2日	456	340128	270
11月3日	456	340128	310
11月4日	456	340128	290
11月5日	456	340128	290
11月6日	456	340128	280
11月7日	456	340128	270
11月8日	456	340128	260
11月9日	456	340128	270
11月10日	456	340128	270

＜参考＞ALPS処理水排水実績

（放水立坑（上流水槽）上流海水配管）

（令和7年度年間）

運用の上限値	^{3}H※
	1500Bq/L未満

※（希釈後の^{3}H濃度）

排水日	排水量【m^3】	海水希釈水量【m^3】	^{3}H【Bq/L】※
11月11日	456	340128	270
11月12日	456	340128	280
11月13日	456	340128	280
11月14日	456	340128	280
11月15日	456	340128	260
11月16日	278	340128	240
11月17日	25	215414	<7.4
11月21日	－	64955	－
12月2日	－	189669	－
12月3日	－	340128	－
12月4日	242	340128	320
12月5日	456	340128	350
12月6日	456	340128	340
12月7日	456	340128	360
12月8日	450	338593	350
12月9日	179	148334	320
12月10日	456	340128	350
12月11日	456	340128	320
12月12日	456	340128	330
12月13日	456	340128	330
12月14日	456	340128	310
12月15日	456	340128	300
12月16日	456	340128	310
12月17日	456	340128	320
12月18日	456	340128	330
12月19日	456	340128	330

＜参考＞ALPS処理水排水実績

（放水立坑（上流水槽）上流海水配管）

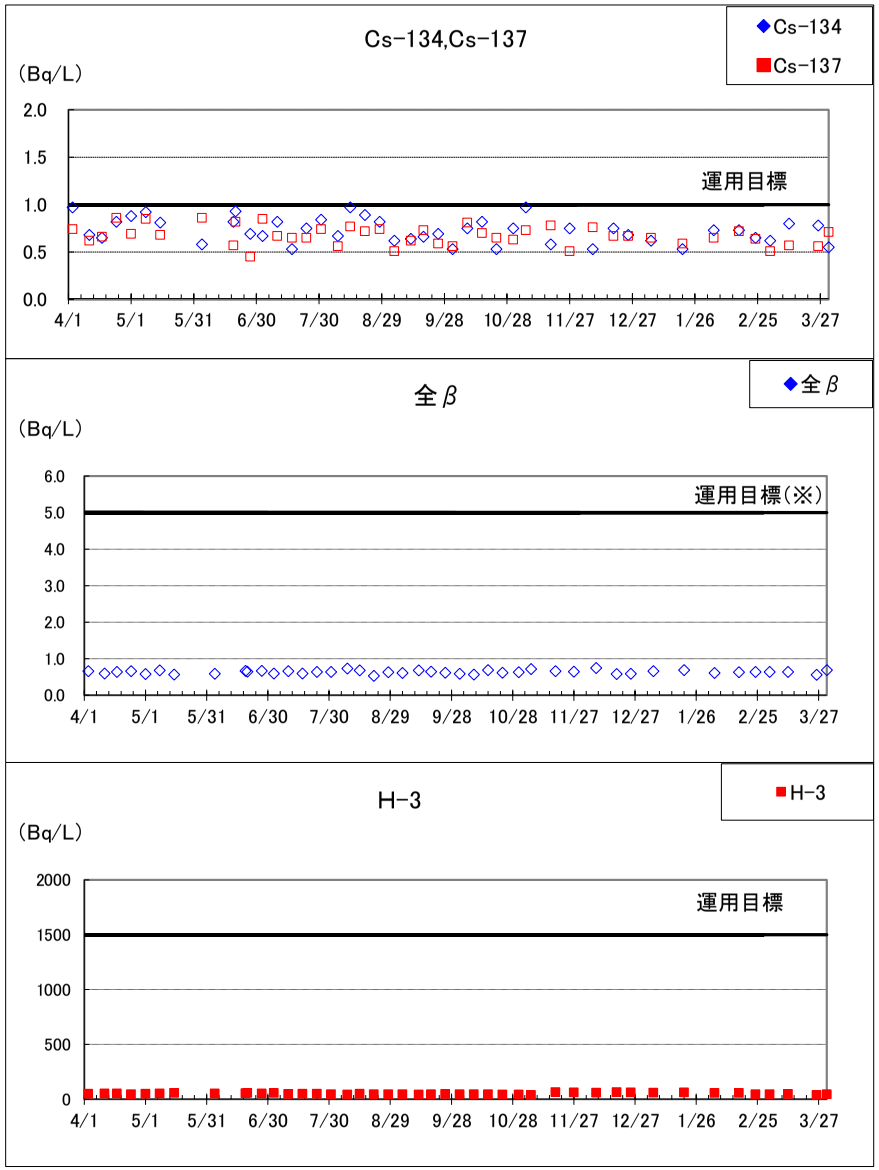
（令和7年度年間）

運用の上限値	^{3}H※
	1500Bq/L未満

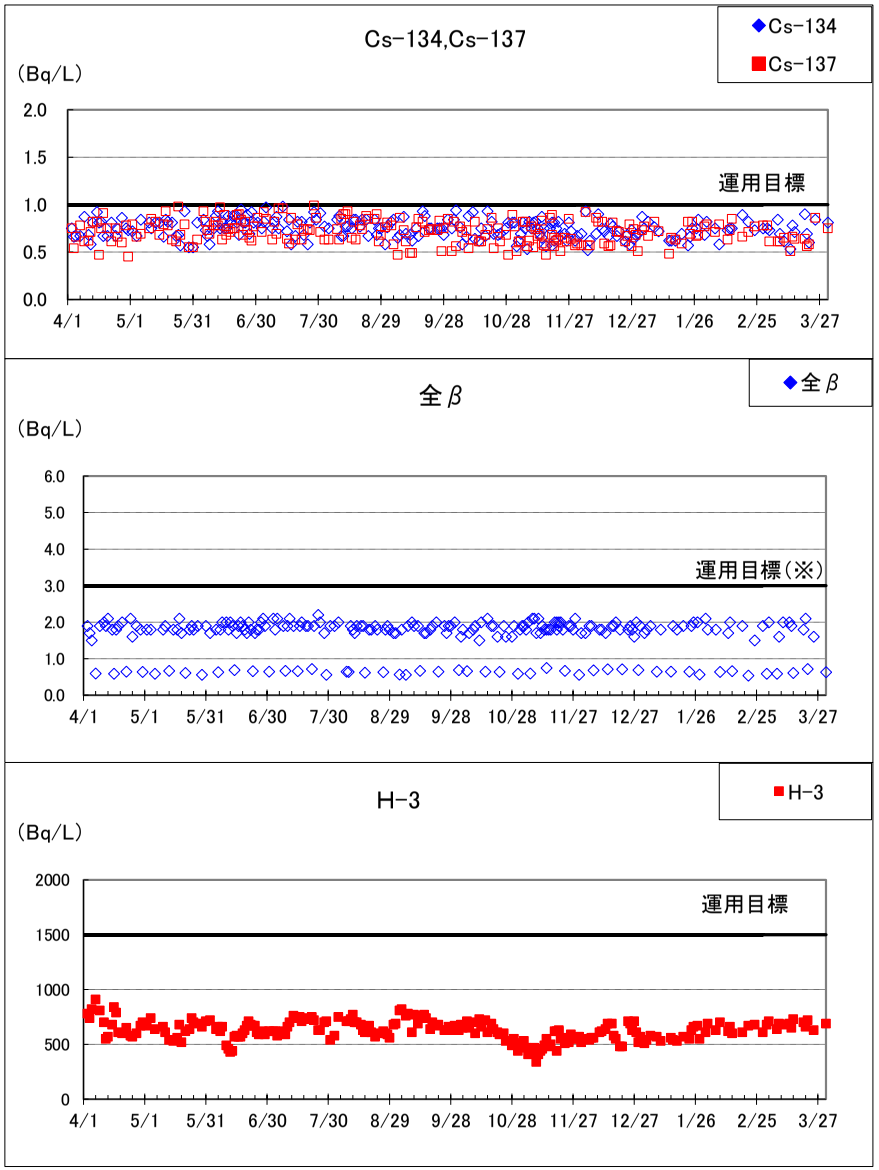
※（希釈後の^{3}H濃度）

排水日	排水量【m^3】	海水希釈水量【m^3】	^{3}H【Bq/L】※
12月20日	456	340128	320
12月21日	456	340128	320
12月22日	125	202778	<7.6
3月4日	－	1535	－
3月6日	261	193448	270
3月7日	454	340128	320
3月8日	454	340128	290
3月9日	454	340128	310
3月10日	454	340128	330
3月11日	454	340128	300
3月12日	454	340128	310
3月13日	454	340128	300
3月14日	454	340128	310
3月15日	454	340128	310
3月16日	454	340128	280
3月17日	454	340128	300
3月18日	454	340128	280
3月19日	454	340128	300
3月20日	454	340128	300
3月21日	454	340128	300
3月22日	454	340128	320
3月23日	288	340128	270
3月24日	25	179512	<6.7

地下水バイパス排水実績（令和7年度年間）



サブドレン排水実績（令和7年度年間）

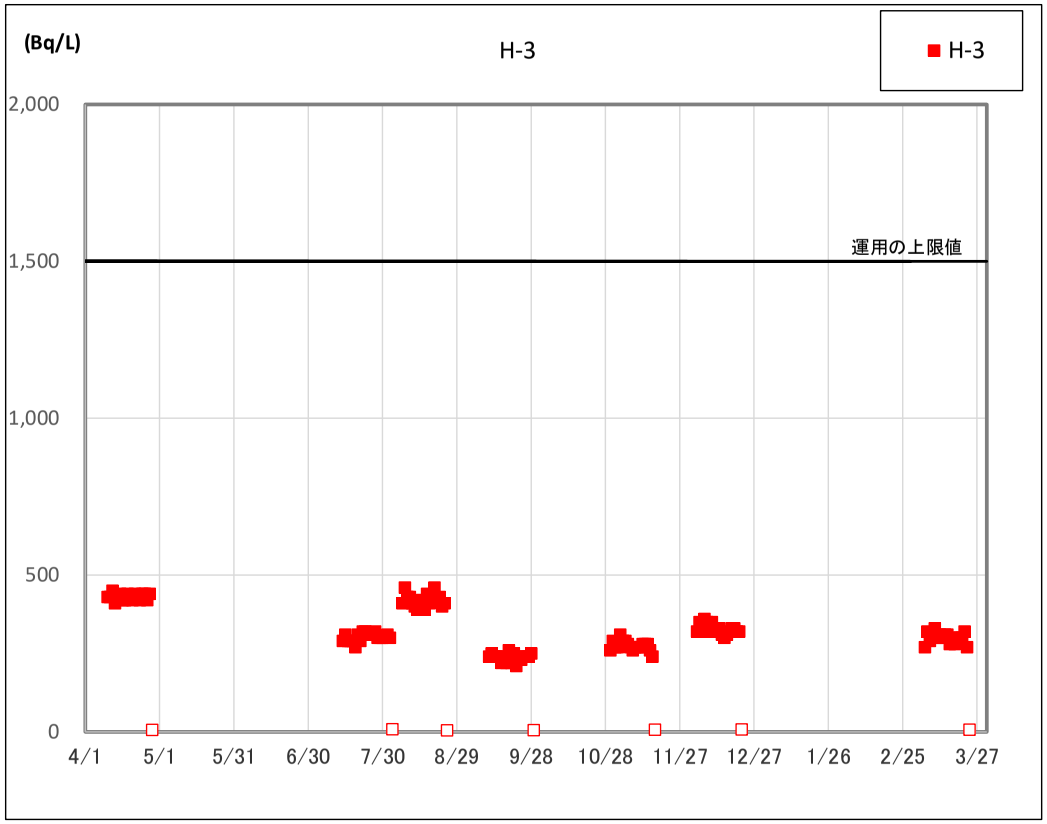


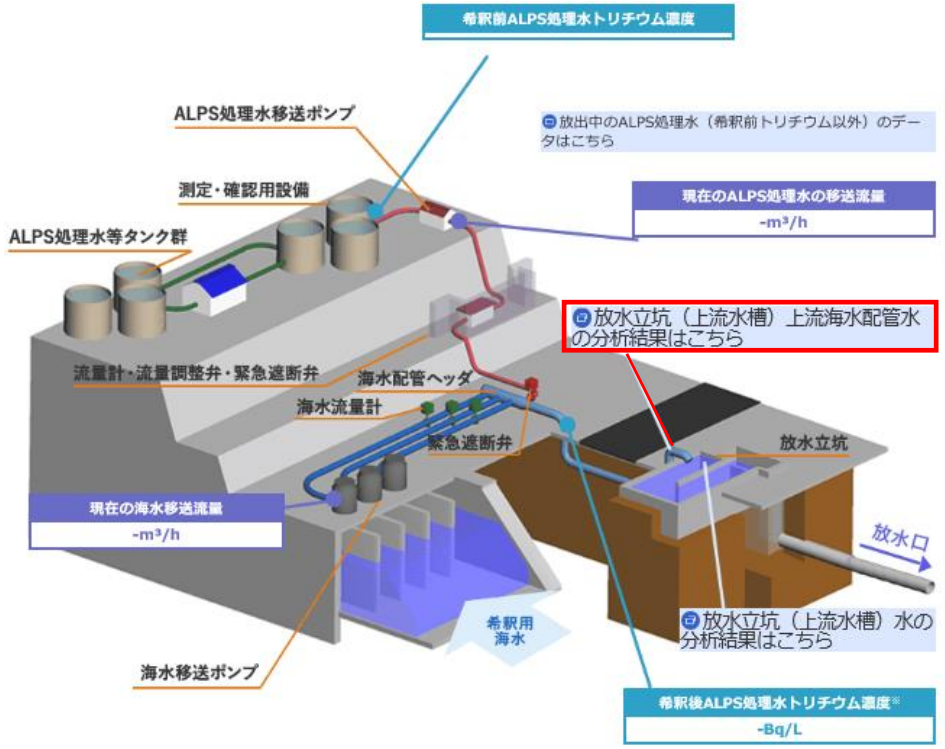
＊：白抜きのプロットは検出下限値未満であるため，検出下限値をプロットしている。

※：10日に1回程度の分析では，検出限界値を1Bq/Lに下げて実施

ALPS処理水排水実績（令和7年度年間）

（放水立坑（上流水槽）上流海水配管水）





モニタリングポスト周辺環境改善対策について（結果報告）

事故で環境中に放出され敷地内に沈積した放射性物質の影響により、空間放射線量率が上昇（事故前の 100～10,000 倍）しており、モニタリングポストの指示値が高い状態となっている。このため、放射性物質の異常な放出があった場合、線量率の上昇や自然界からの影響の程度によっては監視が困難な状況にある。

したがって、早期にプラントからの異常放出を検知できることを目的に、モニタリングポスト（以下「MP」という。）周辺の環境改善対策を実施した。（工期：平成 24 年2月 10 日～4月 18 日）

1. 対策内容

MP の設置場所はそれぞれ周辺環境が異なるため、環境改善対策は各 MP に応じて作業を実施。





・MP－3～7は周囲を森林に囲まれており、森林からの影響が大きい
・MP－2、8は地表からの影響が大きい（MP－8は近傍の展望台斜面の影響が大きい）

《計画》

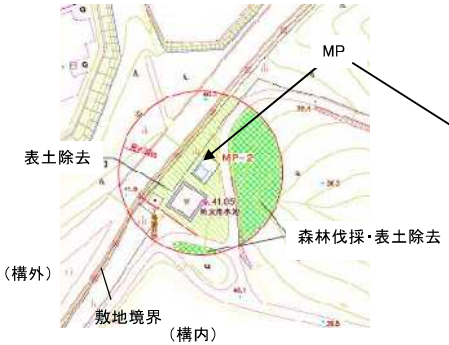
改善目標として、各 MP の指示値が 10 μSv/h※以下となるように対策を実施。

比較的線量が高い MP－2については、検出器から半径 30m以内にある森林を伐採し表土を除去する。比較的線量が低い MP－3～5については、検出器から半径 20m以内にある森林を伐採し、柵内の表土を除去する。MP－6～7については、表土除去及び森林伐採が広範囲となる恐れがあるため、検出器から半径 20m以内にある森林を伐採し、柵内の表土を除去するとともに、検出器周囲に遮へい壁を設置する。MP－8については、周囲に森林等が少ないため伐採は行わず、柵内の表土を除去するとともに、検出器周囲に遮へい壁を設置する。MP－1については指示値が4 μSv/h であるため、対策は不要とした。

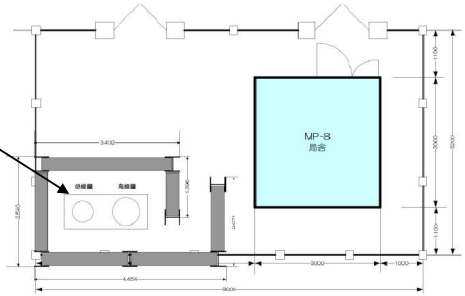
（※通常時のモニタリングポストの指示値は、降雨時に土壌からの放射線が雨により遮へいされる影響で 10%程度の変動がある。10 μSv/h であれば、1 μSv/h 程度の変動幅を超えて異常放出を検出することが可能。）

《対策例》

森林伐採、表土除去の例（MP-2）



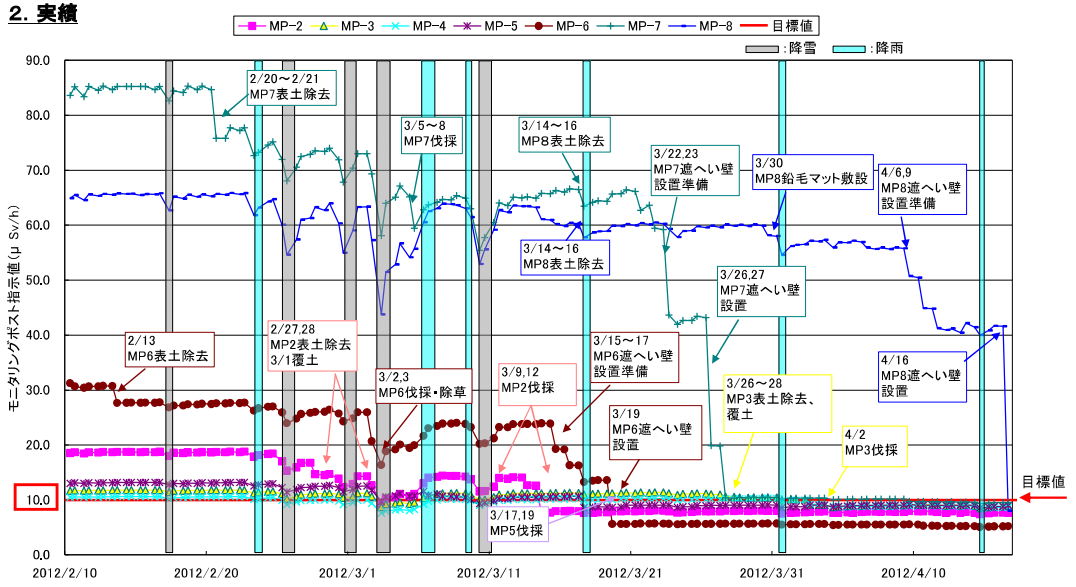
遮へい壁設置の例（MP-8）



遮へい壁（コンクリート質 厚さ：30cm、高さ：160～250cm）

なお、MP－7については、モニタリングポスト間の地上付近を通過するプルームの検出性を高めるため、隣接するモニタリングポスト（MP－6、MP－8）側の遮へい壁をできる限り低くすることとした。

2. 実績



（※降雨・降雪による MP 指示値の変動あり）

MP	MP 指示値「単位：μSv/h」		対策実績
	対策前（2/10）	対策後（達成日）	
MP-2	18．5	7．9 （3/14）	・森林伐採面積：約 690m²（半径 30m以内） ・表土除去面積：約 1450m²（半径 30m以内）
MP-3	11．7	9．1 （4/2）	・森林伐採面積：約 580m²（半径 20m 以内） ・表土除去面積：約 35m²（フェンス内）
MP-4	10．5	8．9 （4/2）	・表土除去面積：約 27m²（フェンス内）
MP-5	13．0	9．0 （3/19）	・森林伐採面積：約 1020m²（半径 20m以内） ・表土除去面積：約 36m²（フェンス内）
MP-6	31．3	5．7 （3/19）	・森林伐採面積：約 700m²（半径 20m以内） ・表土除去面積：約 14m²（フェンス内） ・遮へい壁を設置：四方向とも 160cm
MP-7	83．6	9．7 （4/9）	・森林伐採面積：約 1160m²（半径 20m以内） ・表土除去面積：約 15m²（フェンス内） ・遮へい壁を設置：南北方向 250cm、東西方向 160cm
MP-8	64．9	8．0 （4/16）	・表土除去面積：約 14m²（フェンス内） ・遮へい壁を設置：四方向とも 220cm

⇨ 目標値（10 μSv/h）を達成したため、現状では原子炉施設に起因する1 μSv/h を超える放射線の影響を適切に把握できるものと考える。

3. 今後の予定

今後、各対策における効果を評価し、次の段階の低減目標及びそのための方策を検討していく。